

竹富町人口ビジョン



平成28年3月

目 次

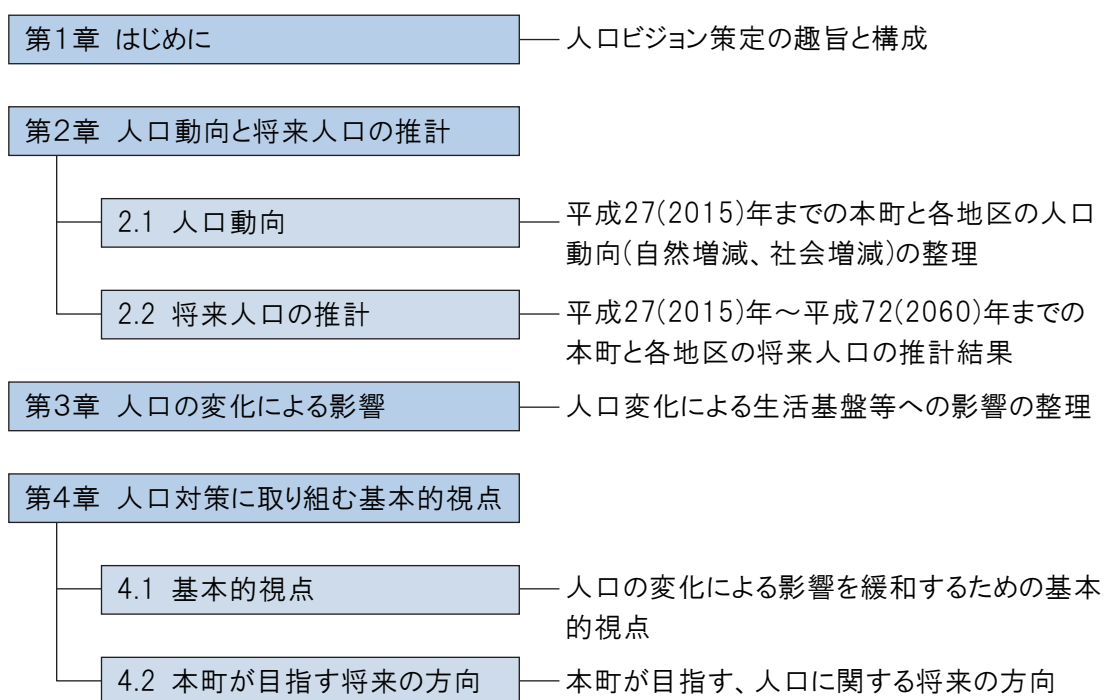
第1章 はじめに	1
第2章 人口動向と将来人口の推計	2
2.1 人口動向	2
2.2 将来人口推計	6
(1) 竹富町全域の将来人口	6
(2) 地区別の将来人口	8
第3章 人口の変化による影響	14
3.1 生活用水	14
3.2 子どもの保育・教育環境	16
3.3 医療・介護環境	18
3.4 産業(農業・観光業)	19
(1) 農業	19
(2) 観光業	20
3.5 地域コミュニティの維持、文化の継承	21
3.6 自然環境	22
第4章 人口対策に取り組む基本的視点	23
4.1 基本的視点	23
4.2 竹富町が目指す将来の方向	24
竹富町人口ビジョン全体像	25
用語解説	26
参考1 意識調査結果概要	参1-1
参考1.1 全世帯を対象とした意識調査	参1-1
参考1.2 中学3年生を対象とした意識調査	参1-3
参考2 統計資料	参2-1
資料編	資料-1

第1章 はじめに

- 「竹富町人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をふまえ、国が提供する「地域経済分析システム(R E S A S)^{用語解説}」のデータを活用しながら、本町の人口の現状を分析し、人口問題に関して町民と認識を共有するとともに、今後目指す将来の方向を示すものです。

【人口ビジョンの構成】

- 本人口ビジョンの構成は下記のとおりです。



第2章 人口動向と将来人口の推計

2.1 人口動向

人口は概ね4,000人で推移し、近年は微増傾向

- 本町の人口は、昭和49(1974)年頃から続いた横ばい傾向から、平成11(1999)年以降、移住ブーム、ＴＶドラマの影響などにより転入者が大きく増加し、近年は総人口4,000人程度で推移しています。〔図2.1-1〕
- 平成15(2003)年の各年齢区分の人口を100とした場合、年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)はプラス、老年人口(65歳以上)はマイナスで推移しているのが特徴です。〔図2.1-2〕

年少人口、生産年齢人口、老年人口の各割合はほぼ一定で推移

- 平成27(2015)年3月末時点の年齢構成は、年少人口16.7%、生産年齢人口61.9%、老年人口21.4%です。全国と比較すると、全国では年少人口割合が減少し老年人口割合が増加しているのに対し、本町では年少人口、生産年齢人口、老年人口の各割合がほぼ一定で推移しているのが特徴です。〔図2.1-3〕

子育て世代を中心とする女性の厚い層

- 本町の人口ピラミッドは「ひょうたん型」ですが、全国とは異なり生産年齢人口でも若い層と年少人口で2つの膨らみを形成しているのが特徴です。〔図2.1-4〕
- 特に、第2次ベビーブーム世代の層が男女とも厚く、生産年齢人口割合の高さにつながっています。また、本町には高等学校がないため、15～19歳層で進学による流出を要因として極端に少なくなっていますが、25～29歳の層で回復しているのが特徴です。
- これらの多くは、Ｉターンによる社会増加だと考えられますが、これらの子育て世代を中心とする女性の層が厚いため、安定した出生数が確保されています。このことが、本町が極端な少子化になっていない要因だと考えられます。

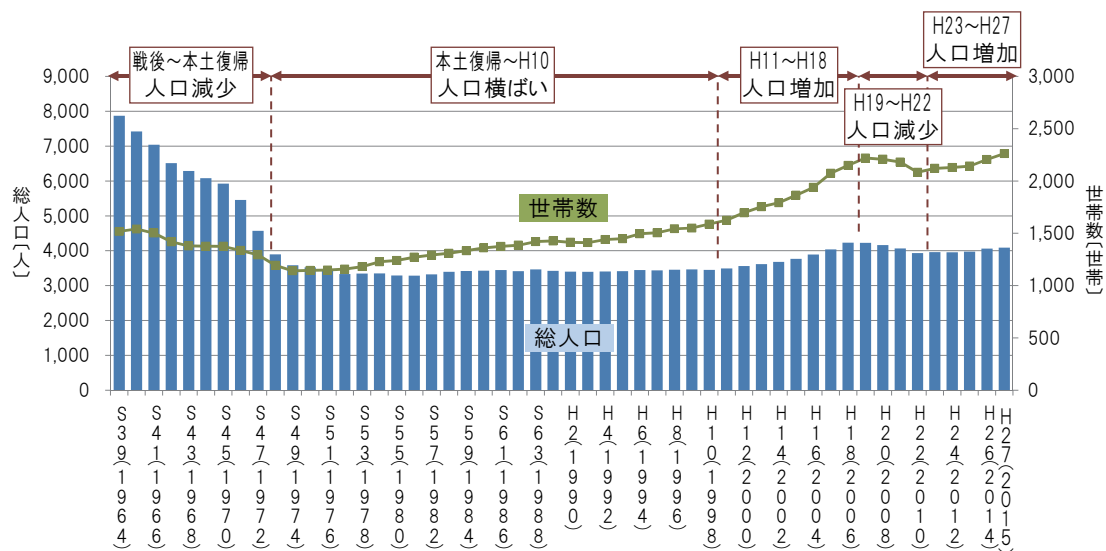


図 2.1-1 竹富町全体の総人口及び世帯数

出典：「竹富町住民基本台帳(各年3月末時点の人口)」竹富町

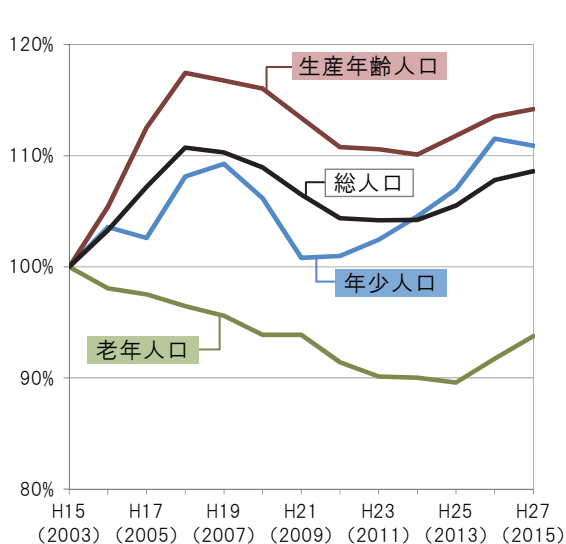


図2.1-2 平成15(2003)年の人口を100とした場合の各年齢区分の人口推移

出典：「竹富町住民基本台帳」竹富町

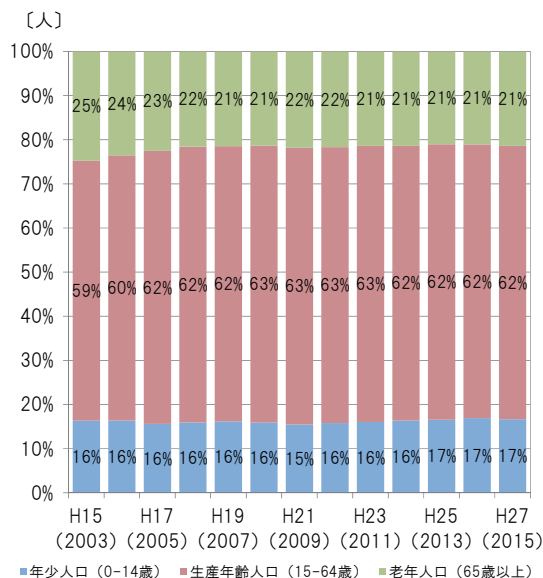


図 2.1-3 年齢3区分人口割合

出典：「竹富町住民基本台帳」竹富町

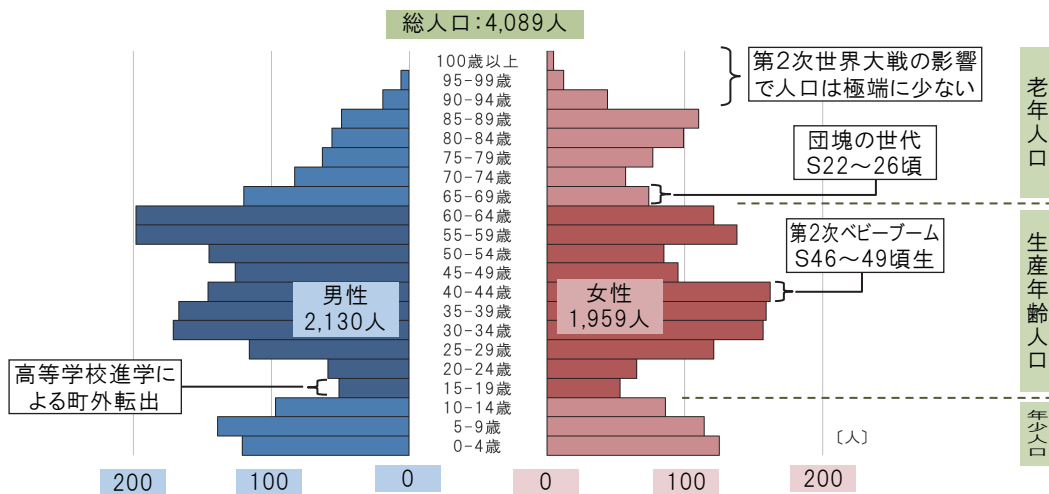


図 2.1-4 人口ピラミッド[平成 27(2015)年 3 月末現在]

出典：「竹富町住民基本台帳」竹富町

総人口の増減は、転入、転出(社会増減)による影響が大

- 平成11(1999)年以降の社会増加(転入-転出)の外部要因として移住ブーム、ＴＶドラマの影響などがありました。平成19(2007)年以降の社会減少の外部要因として世界金融危機以降の不景気などがありました。平成23(2011)年以降の社会増加の外部要因としてリゾート開発の他、ＬＣＣ^{用語解説}の参入や新石垣空港の開港など交通機関の整備などが挙げられます。〔図2.1-5〕
- 本町の自然増加(出生-死亡)は概ね0～50人の間で一定で推移している一方、社会増加は平成11(1999)年以降は△120～150人の間で大きく変動しています。特に近年は、社会増減の変動が大きく、本町の総人口に大きな影響を与えています。〔図2.1-6、2.1-7〕
- 5歳階級別の社会増減から、20～30歳代の若い世代の転入が多いことが伺えます。〔図2.1-8〕

観光業と農業の2大産業で就業者の4割以上を占める産業構造

- 本町の産業別就業者割合は、第1次産業18%、第2次産業7%、第3次産業75%で、このうち観光関連(飲食店・宿泊業)27.6%、農業16.3%が本町の2大就業産業となっています。〔図2.1-9〕

各地区の人口は増加傾向、波照間地区は一貫して減少傾向

- 西表島西部地区、西表島東部地区、小浜地区、竹富地区は増加傾向です。
- 新城地区、鳩間地区は人口が少ないため変動が大きくなっています。
- 黒島地区は、平成16(2004)年頃までは増加していましたが、これ以降は減少しています。波照間地区は、一貫して減少傾向で平成2(1990)年を100とすると平成27(2015)年は76まで減少しています。〔図2.1-10〕

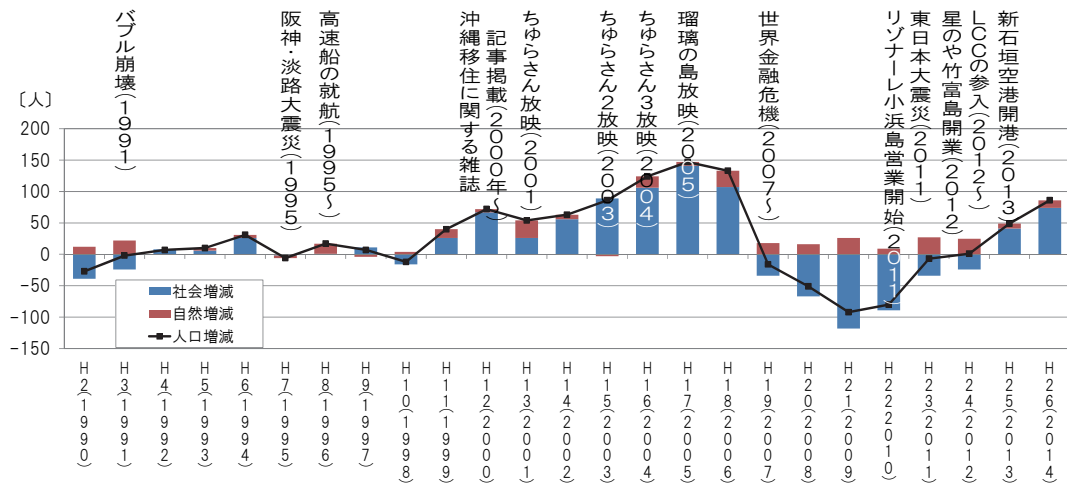


図 2.1-5 人口動態（人口増減、自然増減、社会増減の推移）

出典：「竹富町住民基本台帳」竹富町

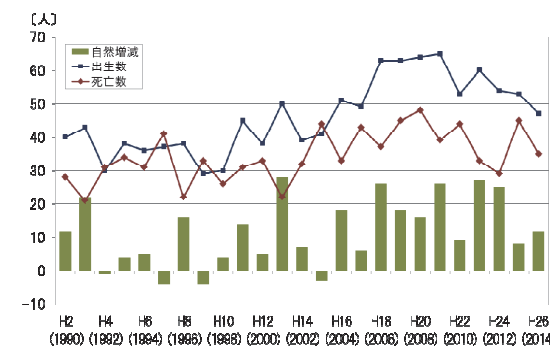


図 2.1-6 自然増減（出生数－死亡数）の推移

出典：「竹富町住民基本台帳」竹富町

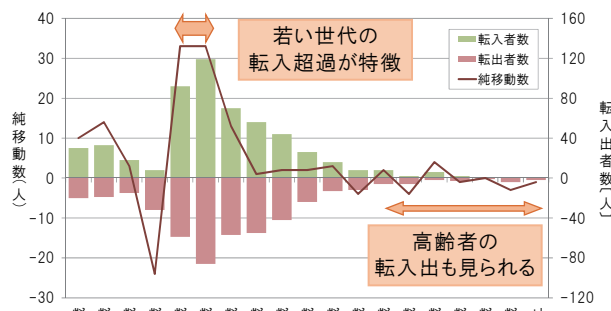


図2.1-8 5歳階級別の社会増減
（平成26(2014)～27(2015)年）

出典：「住民基本台帳人口移動報告」総務省統計局

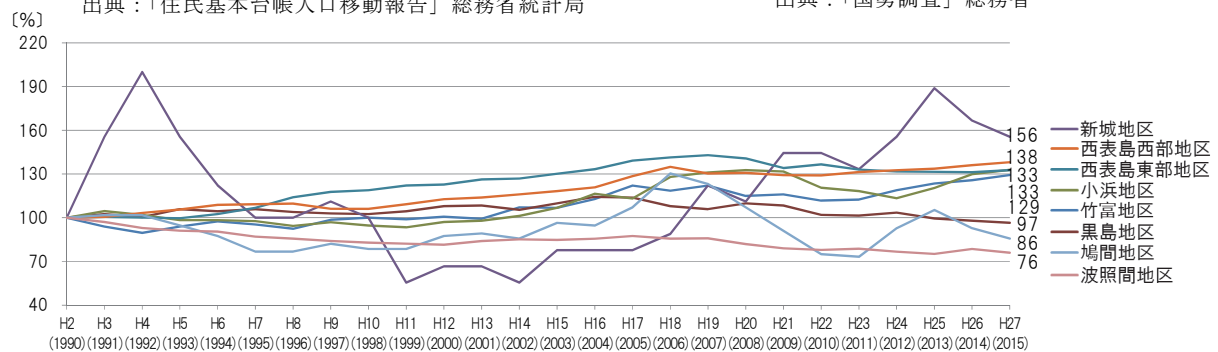


図2.1-9 地区別の産業別就業者数
〔平成22(2010)年〕

※分類不能な産業は第3次産業に含めた

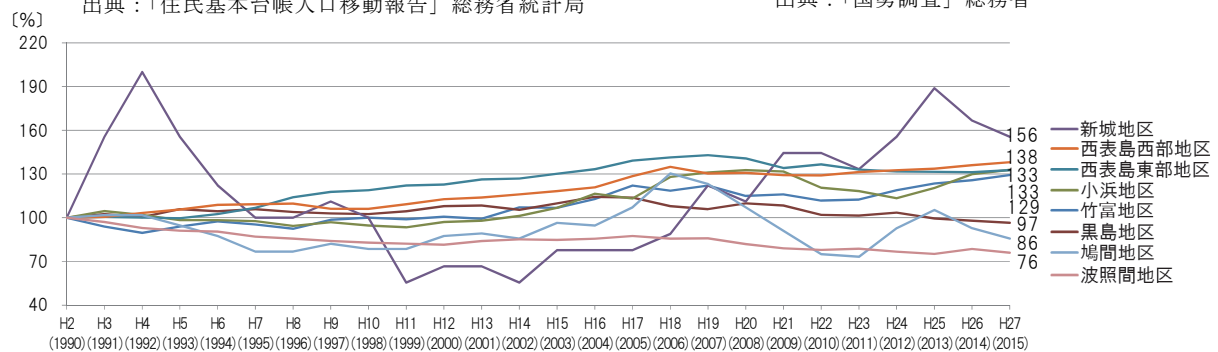


図2.1-10 平成2(1990)年の人口を100とした場合の地区別の人口推移

出典：「竹富町住民基本台帳」竹富町

2.2 将来人口推計

(1) 竹富町全域の将来人口

近年の人口動向を維持すると、平成72(2060)年の総人口は4,939人と推計されることから、約5,000人とします。

- 本町の総人口は、社会動向により変動する「社会増減(転入・転出)」に大きく影響されます。このため、社会増減の設定条件によって、将来人口の推計結果は大きく異なります(パターン①～③)。〔図2.2-1〕
- 社会増減の転換期である平成10(1998)年以降の傾向で人口が推移した場合【パターン③】、20代の若い世代の転入が多いことから、生産年齢人口及び年少人口が増加に転じ、総人口も少しずつ増加し、平成72(2060)年に4,939人になると推計されます。これより、平成72(2060)年の人口を約5,000人とします。〔図2.2-1〕

表2.2-1 人口推計パターン

	内 容
パターン①	国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による人口推計 ◆基準年：平成22(2010)年 ◆自然増減： ・子ども女性比 ^{用語解説} は、平成22(2010)年の31.9%を基準とし、全国の動向に併せて変化すると仮定。 ・生残率 ^{用語解説} は、平成17(2005)～22(2010)年の各年齢区分の生残率が、平成52(2040)年までに全国との格差が0.5倍に縮まっていくと仮定。 ◆社会増減： ・平成17(2005)～22(2010)年の移動率が、次の5年間に0.707倍、その次の5年間に0.5倍、その後は0.5倍のまま推移すると仮定。
パターン②	竹富町独自の人口推計：封鎖人口(社会増減を考慮しない) ◆基準年：平成27(2015)年 ◆自然増減： ・平成20(2008)～24(2012)年の5歳階級別の出生率のまま推移すると仮定*。 ・生残率はパターン①と同じ。 ◆社会増減： ・純移動はなし。
パターン③	竹富町独自の人口推計：平成10(1998)年以降の社会増減の傾向を踏まえた人口推計 ◆基準年：平成27(2015)年 ◆自然増減： ・平成20(2008)～24(2012)年の5歳階級別の出生率のまま推移すると仮定。 ・生残率はパターン①と同じ。 ◆社会増減：【パターン①の考え方と同じ】 ・平成22(2010)～27(2015)年の移動率が、次の5年間に0.707倍、その次の5年間に0.5倍、その後は0.5倍のまま推移すると仮定。

※本町の年齢構成は、20～30歳代女性などの若い層が多いという全国の傾向と異なる特徴があるため、社人研の設定条件である“子ども女性比率が全国の動向に併せて変化”するのではなく、本町の5歳階級別の出生率を用いて推計した。

高齢化率は上昇し、平成72(2060)年の高齢化率は約28%

- 将来の人口推計では、いずれの推計パターンでも高齢化率は上昇します。
- 社会増減の転換期である平成10(1998)年以降の傾向で人口が推移した場合【パターン③】、平成72(2060)年の総人口は4,939人、年少人口割合約16%、生産年齢人口割合約56%、老年人口割合約28%となります。〔図2.2-2〕

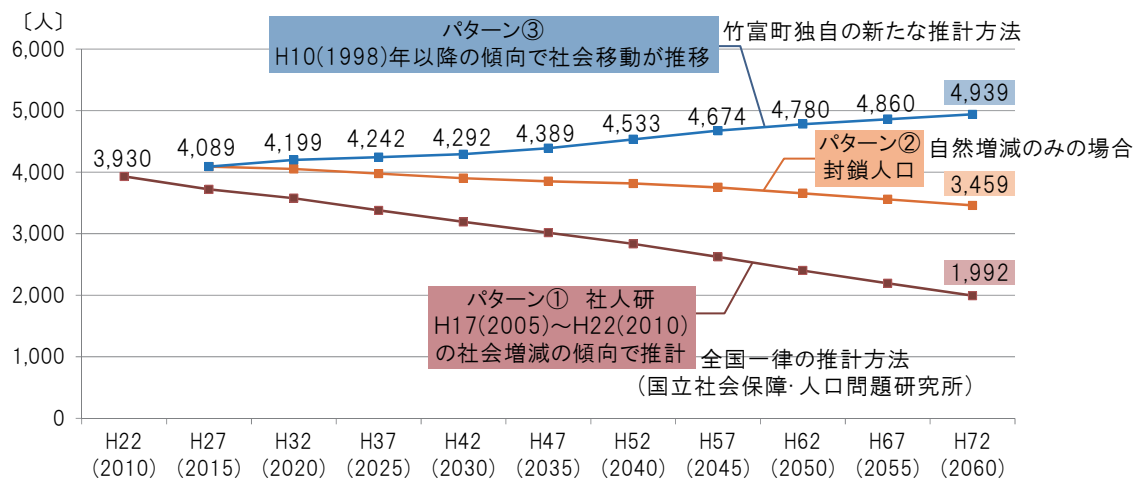
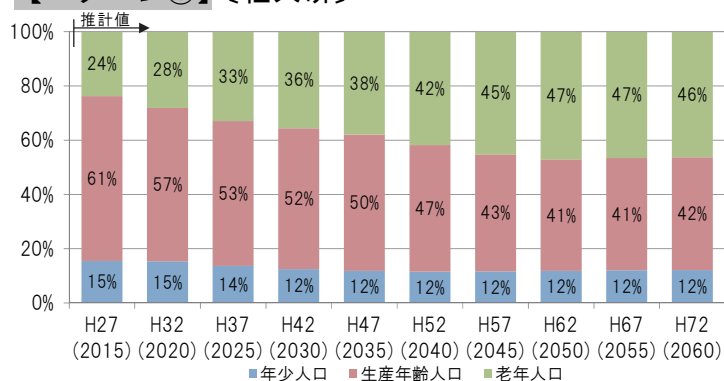


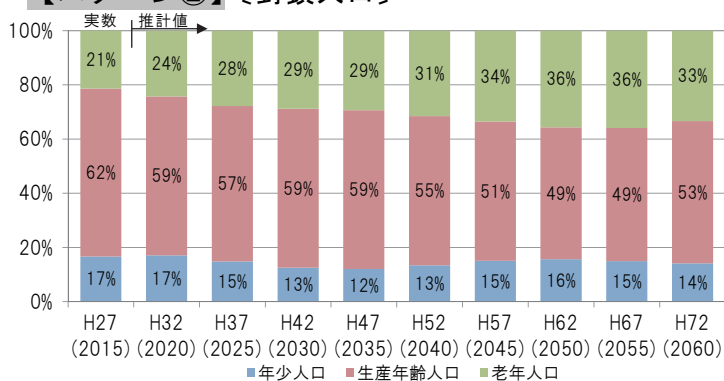
図 2.2-1 パターン別の将来人口推計

【パターン①】〔社人研〕



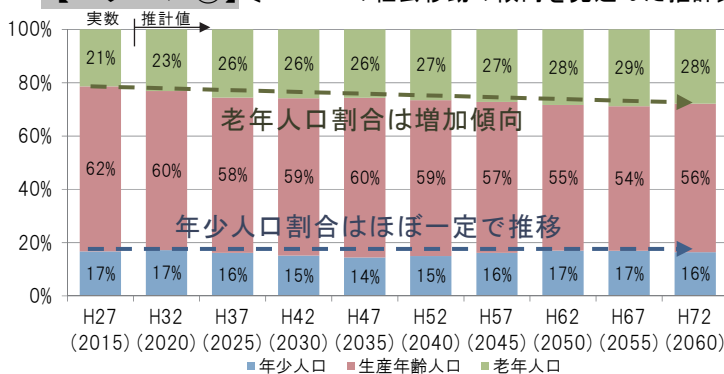
- 生産年齢人口割合の減少が著しく、それに伴って年少人口も減少します。
- 生産年齢人口が老年人口にシフトし、高齢化率は上昇が続きます。
- 平成72(2060)年には約半数が老年人口となります。

【パターン②】〔封鎖人口〕



- 年少人口は、緩やかな増減を繰り返しますが概ね14%で推移します。
- 生産年齢人口割合は減少傾向を示し、その分老年人口割合が増加します。
- 平成72(2060)年には1/3が老年人口となります。

【パターン③】〔H10~26の社会移動の傾向を見込んだ推計〕



- 生産年齢人口割合は微減傾向で、その分老年人口割合が増加します。
- 年少人口は、約15~17%でほぼ一定で推移します。
- パターン③は人口増加となりますが、高齢化率は現在よりも上昇する推計です。

図 2.2-2 年齢3区分別の人口推計

(2) 地区別の将来人口

平成27(2015)年予測では各地区の人口は増加・横ばい、波照間地区は減少

- 本町を8地区に分け地区別の将来人口推計を行いました。
- 社会増減の人口データが揃う平成2(1990)年～平成27(2015)年における各地区の人口動向をそれぞれ線形近似し、竹富町全体で推計した各年度の総人口と合うように按分して推計しました。
- 波照間地区の減少推計も含め、社会情勢などさまざまな要因によって、人口は増加/減少に転じる可能性があります。

表2.2-2 各地区の50年後の将来人口推計

地区名	概 要
竹富地区	◆ 竹富地区は、平成15(2003)年～平成17(2005)年頃の移住ブームでも大きな人口増はなく、人口は少しずつ増加してきています。 ◆ 今後も同様の傾向で増加すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の362人から約3割増の461人と推計</u>されます。
黒島地区	◆ 黒島地区の人口は毎年数名ずつ減少してきました。 ◆ 今後も同様の傾向で減少すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の195人から若干減少し180人と推計</u>されます。
小浜地区	◆ 小浜地区は、西表島西部地区と同様の傾向で人口が増加してきました。平成22(2010)年～平成24(2012)年には100人程度の人口減少もありましたが、平成27(2015)年には約650人まで回復しました。 ◆ 今後は、平成10(1998)年～平成27(2015)年の期間の伸びで増加すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の646人から約3割増の830人と推計</u>されます。
新城地区	◆ 新城地区は、8地区の中で最も人口が少なく、さまざまな要因によって人口が増加にも減少にも転じる可能性が最も大きい地区です。人口は、平成17(2005)年の7人から平成27(2015)年は14人に増加しています。 ◆ 今後も同様の傾向で増加すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の14人から横ばいで14人と推計</u>されます。
西表島 東部地区	◆ 西表島東部地区は、平成18(2007)年の952人をピークに一度減少し、平成23(2011)年からはほぼ横ばいで推移しています。 ◆ 今後は、平成10(1998)年～平成27(2015)年の期間の伸びで増加すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の884人から約4割増の1,257人と推計</u>されます。
西表島 西部地区	◆ 西表島西部地区は、移住ブーム後の平成19(2007)年に一度人口が減少するものの、一貫して増加傾向にあります。 ◆ 今後も同様の傾向で増加すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の1,419人から約3割増の1,880人と推計</u>されます。
鳩間地区	◆ 鳩間地区は、新城地区に次いで人口が少なく、さまざまな要因によって人口が増加にも減少にも転じる可能性が大きい地区です。人口は、平成20(2008)年以降は50人前後で推移しています。 ◆ 今後も同様の傾向で推移すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の48人から若干増加し51人と推計</u>されます。
波照間 地区	◆ 波照間地区は、黒島地区よりも顕著に人口が減少してきました。 ◆ 今後も同様の傾向で減少すると仮定した場合、<u>平成72(2060)年の人口は平成27(2015)年の521人から約半減の266人と推計</u>されます。

※新城地区と鳩間地区は、絶対数が少なく長期的推計が困難。

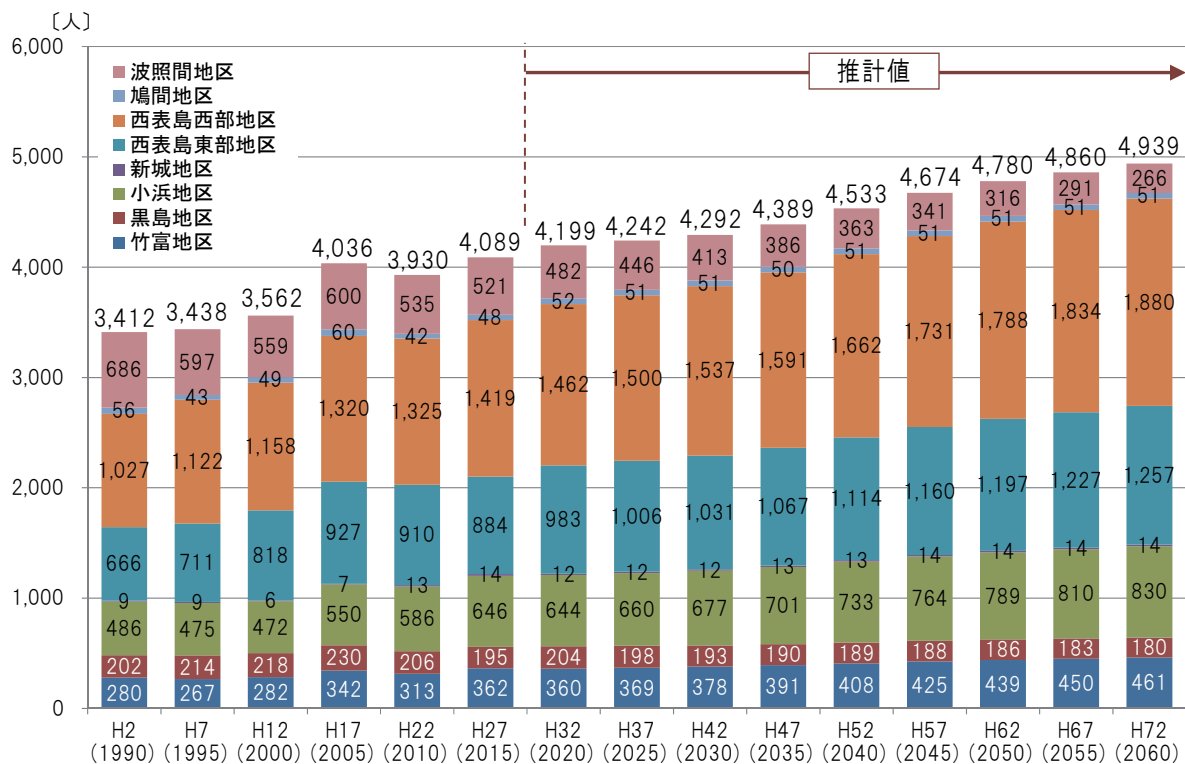


図2.2-3 各地区の人口動向及び人口推計 平成2(1990)年～平成72(2060)年

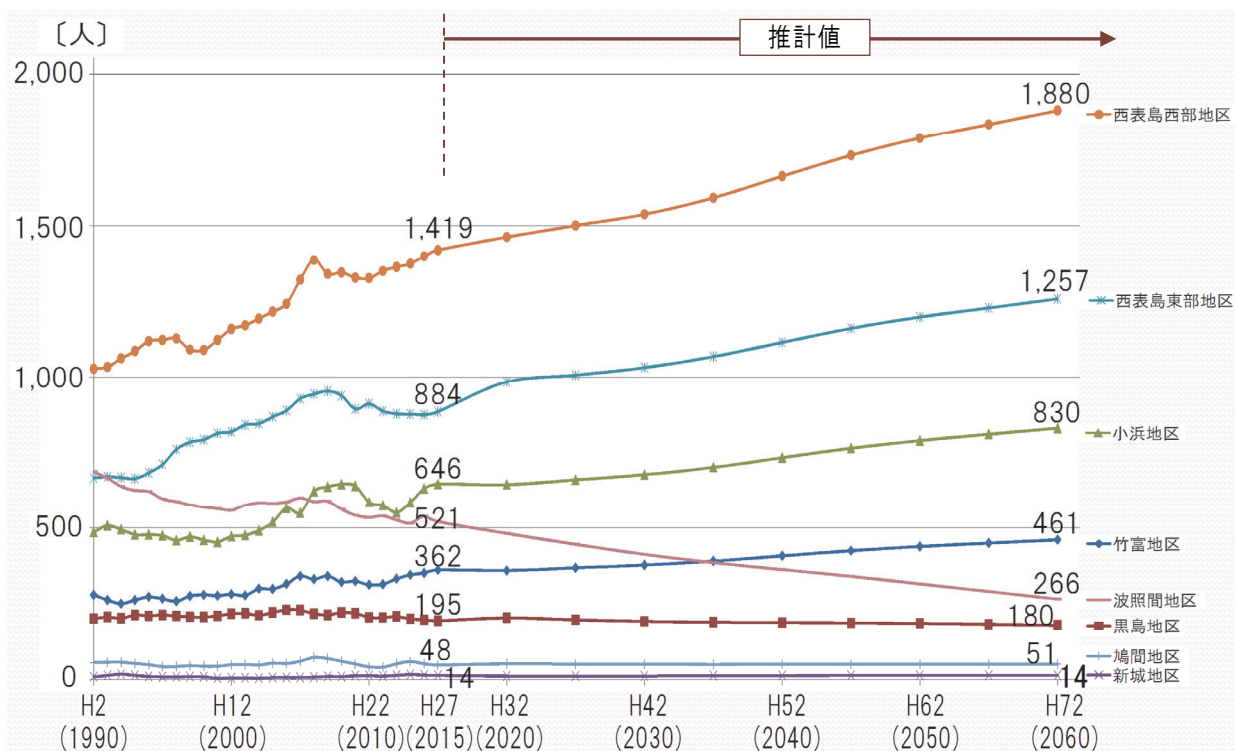


図2.2-4 各地区の人口動向及び人口推計 平成2(1990)年～平成72(2060)年

※いずれの地区についても、過去(平成2(1990)年～平成27(2015)年)の人口増減の傾向が続くと仮定した場合の人口推計です。波照間地区の人口減少も、過去の減少傾向が続くと仮定したことによるものですが、今後の社会情勢や人口対策によって人口推計値は変動します。

【参 考】将来人口は、状況によっては減少に転じます。

近年の傾向のまま人口が推移すると、平成72(2060)年には5,000人まで増加する予測です。

ただし、本町の総人口は社会状況の影響を受けやすいため、人口は減少に転じる可能性もあることに留意する必要があります。

- 本町における将来の人口は、「合計特殊出生率^{用語解説}は変化させない」、「社会増減は10年後までに半減するがその後は一定で推移する」という仮定において、平成72(2060)年には約5,000人まで増加すると推計されます。
- しかし、自然増減と社会増減にはそれぞれ以下の要因が関係することから、状況によっては人口が減少に転じる可能性もあることに留意する必要があります。

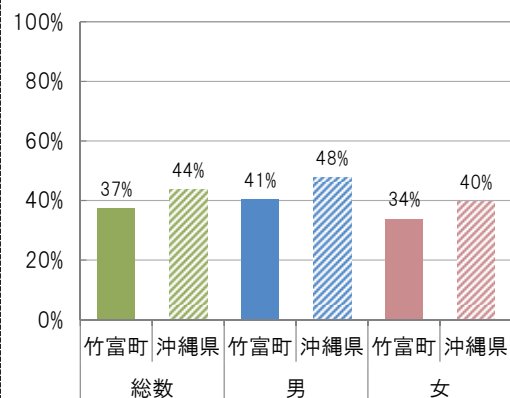
(1) 自然増減

① 合計特殊出生率の維持には、女性の有配偶率と有配偶出生率対策が重要

- ◆ 平成22(2010)年における本町の女性の未婚率は約34%で沖縄県平均の約40%を下回っていますが、10年前(平成12(2000)年)の約33%からは増加しています。また、有配偶率^{用語解説}の15～29歳層における減少や30～34歳層における増加等から、本町においても未婚・晩婚化の傾向がみられます。[参考図2-1、2-2]
- ◆ 一方、沖縄県の女性の年齢階級別有配偶出生率^{用語解説}は、いずれの年齢層でも増加傾向にあります。[参考図2-3]
- ◆ 合計特殊出生率を少なくとも現状維持するためには、2つの要因である女性の有配偶率と有配偶出生率を維持・増加させることが重要となります。

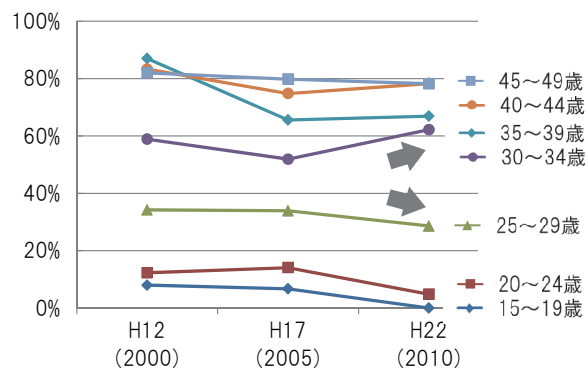
② 高齢者の死亡率に対する対策が必要

- ◆ 沖縄県の平成22(2010)年の平均寿命^{用語解説}は、男性が79.40歳、女性が87.02歳であり、平成12(2000)年と比較して、男性は1.76歳、女性は1.01歳伸びています。しかし、全国平均の伸びを下回ったことから、全国順位は男性が26位から30位、女性が1位から3位へ順位を下げています。[参考表2-1]
- ◆ 生残率は全国の人口推計における仮定の考え方と同様としているため、死亡者数が増加し自然減に向かわないようにするためには、高齢者が健康で長生きできる環境の整備が重要となります。



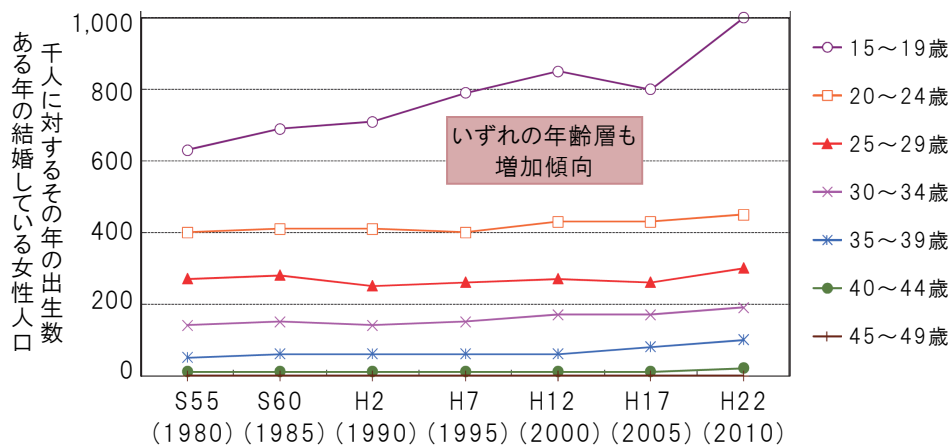
参考図2-1 未婚率〔平成22(2010)年〕

出典：「国勢調査」総務省



参考図2-2 本町の女性の年齢階級別有配偶率の推移

出典：「国勢調査」総務省



参考図2-3 沖縄県の年齢階級別有配偶出生率の推移

出典：「沖縄県人口増加計画(改訂版)」沖縄県をもとに作成

原典：「国勢調査」総務省、「人口動態調査」厚生労働省

参考表2-1 平均寿命と全国順位の推移〔全国及び沖縄県〕

		平成12(2000)年		平成17(2005)年		平成22(2010)年	
		平均寿命	順位	平均寿命	順位	平均寿命	順位
男性	沖縄県	77.64歳	26	78.64歳	25	79.40歳	30
	全 国	77.71歳	—	78.79歳	—	79.59歳	—
女性	沖縄県	86.01歳	1	86.88歳	1	87.02歳	3
	全 国	84.62歳	—	85.75歳	—	86.35歳	—

資料：「都道府県別生命表」厚生労働省

(2) 社会増減

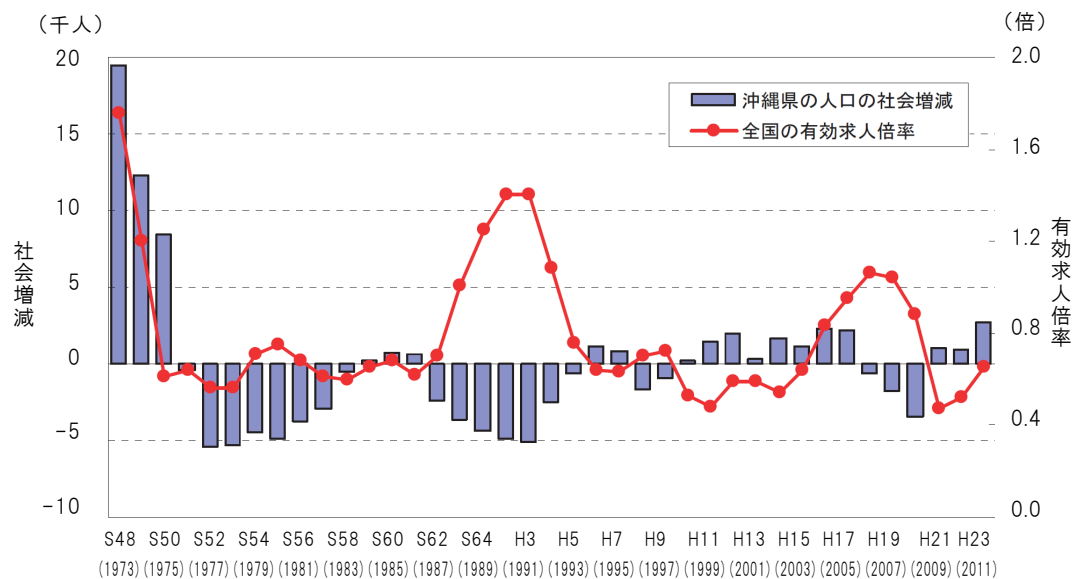
① 社会増減は、本土の景気の影響も一つの要因

- ◆ 本町の社会増減は、平成10(1998)年頃まではプラスマイナスゼロ、平成11(1999)年～平成18(2006)年までプラス、平成19(2007)年～平成24(2012)年までマイナス、平成25(2013)年以降プラスで推移しており、沖縄県全体の社会増減の傾向とよく似ています。
- ◆ 沖縄県人口増加計画では、県の社会増減は、平成15(2003)年～平成17(2005)年にかけての沖縄ブームによる県外からの移住者増加の時期を除いて、全国の有効求人倍率の変動の影響を強く受けている※としています。
- ◆ 社会増減の1つの要因として、本町でも本土の景気の影響を受けていると考えられます。〔参考図2-4〕

※全国の有効求人倍率の変動の影響：全国の有効求人倍率が上昇すれば県外への転出が増加し、不況で有効求人倍率が低下すれば転入超となる傾向。

② 社会増減の安定を図るためには、移住者の定着に対する対策が必要

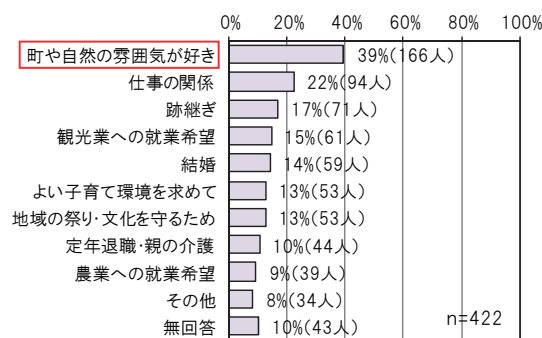
- ◆ 町民アンケートでは、本町に移住を決めた動機として「町や自然の雰囲気が好き」が約4割を占め、多様な自然環境、町民の人柄、のんびりとした時間の流れなどの環境にあこがれて来島する人が多いことが伺えます。〔参考図2-5〕
- ◆ 一方、移住してから苦勞したことは「収入が少ない」が半数を占め、「住居関連での苦勞」、「仕事が見つからない」、「子どもの保育・教育での苦勞」、「地元を受け入れられない」などの意見が挙げられています。〔参考図2-6〕
- ◆ 今後の竹富町への居住については、「状況によっては竹富町を出る可能性もある」と「いずれ出る予定である」を合わせて約4割の人が転出の可能性があると回答しています。転出を考えている理由として、約2割が「収入が少ないこと」を挙げています。〔参考図2-7、2-8〕
- ◆ 転入者数と転出者数の推移をみると3～4年程度で転入者と同数が転出している傾向が伺え、社会増減の安定を図るためには、移住者の定着に対する対策が重要となります。〔図2.1-7(前述)〕



参考図 2-4 沖縄県の人口の社会増減及び全国の有効求人倍率の推移

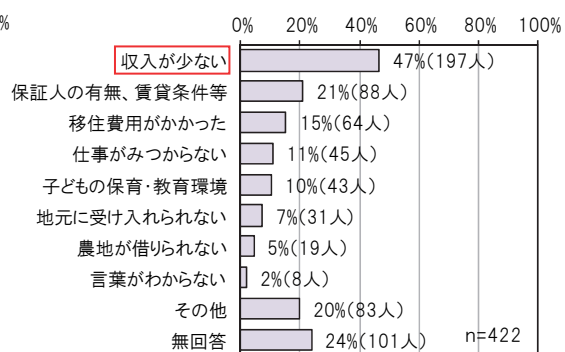
出典：「沖縄県人口増加計画(改訂版)」沖縄県

原典：「推計人口」沖縄県、「一般職業紹介状況」厚生労働省



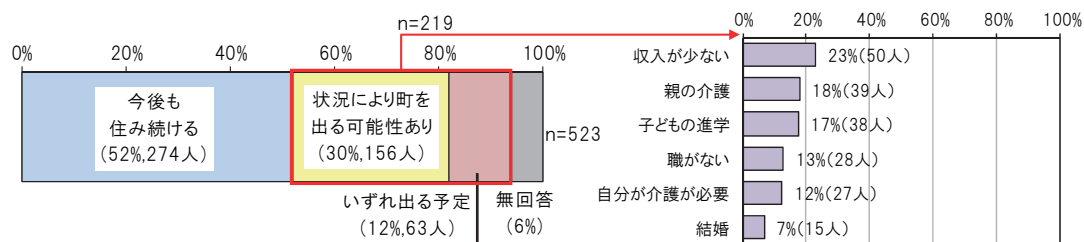
参考図 2-5 本町に移住を決めた動機〔町民アンケート〕(複数回答)

※U・Iターン者(422人)が対象

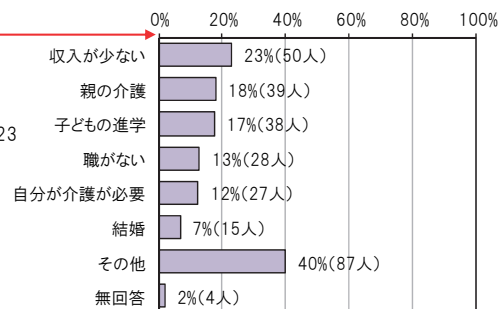


参考図 2-6 移住してから苦労したこと〔町民アンケート〕(複数回答)

※U・Iターン者(422人)が対象



参考図 2-7 今後の竹富町に居住する意向〔町民アンケート〕(単一回答)



参考図 2-8 竹富町からの転出を考えている理由〔町民アンケート〕(複数回答)

第3章 人口の変化による影響

離島という条件不利性から、人口増減により特に生活用水確保や保育教育・医療環境に係る影響が大きいと考えられます。

- 本町の人口は約4,000人であり、各離島に分散している条件不利性(遠隔性、散在性、狭小性等)という特徴をもつことから、人口増減によって特に生活用水確保や子どもの保育・教育環境に係る影響が大きいと考えられます。

3.1 生活用水

西表島・波照間島以外の各島は生活用水の水源がなく、今後も水源確保や施設の老朽化対策による生活用水の安定供給が課題となります。

- ◆ 生活用水は町民生活に欠かせない最も重要な基盤であるとともに、産業発展のための基幹施設として多大な役割を果たしています。
- ◆ 現在7地区の簡易水道施設を整備し、新城島、黒島、小浜島、由布島、鳩間島は西表島から、竹富島は石垣市からの海底送水管で生活用水を受水しています。平成17(2005)年には、波照間島に海水淡水化施設を整備し、町全域への給水体制が確立されています。〔表3.1-1、表3.1-2〕
- ◆ しかし、西表島・波照間島以外の各島は生活用水の水源がなく、干ばつ時には給水制限が行われるなど安定供給が課題となっています。また、施設の老朽化が進んでおり、西表島、石垣島からの海底送水施設と波照間島の海水淡水化装置の更新が緊急課題となっています。

☞ 海底送水施設の敷設替えなどの老朽化対策、海水淡水化施設の更新、西表島における安定した水源確保、各島での雨水利用など、生活用水の安定供給対策が必要です。

☞ 観光客に対する節水の徹底など、貴重な水に対する意識啓発が必要です。

表3.1-1 本町の簡易水道

No	簡易水道 事業区域	給水区域	計画給水 人口(人)	浄水場 設置数	備考
1	竹富簡易水道	竹富島	550	0箇所	海底送水管有り (石垣市水道から)
2	西表東部第1区 簡易水道	東部第1区	合計1,920	1箇所	海底送水管有り
		大原、豊原、大富	1,174		
		黒島	644		
		新城島	102		
3	西表東部第2区 簡易水道	東部第2区	合計1,240	1箇所	海底送水管有り
		古見、美原、由布、高那	150		
		小浜島	1,090		
4	上原簡易水道	上原地区	合計1,460	2箇所	海底送水管有り
		上原、中野、船浦、住吉、浦内	1,360		
		鳩間島	100		
5	西表西部簡易水道	祖納、干立、白浜	900	2箇所	
6	船浮簡易水道	船浮	110	1箇所	
7	波照間簡易水道	波照間島	640	1箇所	海水淡水化施設

出典：「竹富町水道事業概要」

「沖縄県の水道概要」平成26年度版(平成25年度データ)沖縄県保健医療部生活衛生課



■平成24(2016)年10月には、少雨による水不足により、石垣島から送水を受けている“竹富島”と海水淡水化施設を有する“波照間島”以外において、給水制限(断水)が実施されました。

写真3.1-1 通常時(左)と渇水時(右)の水源
〔西表島東部第2区相良川水源〕

写真：竹富町水道課

表3.1-2 施設施工年度

区分	施設名	施工年度
海底 送水管	石垣島～竹富島	昭和50～51 (1975～1976)年
	西表島～新城島 ～黒島	昭和47～49 (1972～1974)年
	西表島～小浜島	昭和52～53 (1977～1978)年
	西表島～鳩間島	昭和54～55 (1979～1980)年
海水 淡水化	波照間地区 海水淡水化施設	平成14～17 (2002～2005)年



写真3.1-2 海水淡水化施設
〔波照間島〕

3.2 子どもの保育・教育環境

子どもの人口はしばらく一定で推移すると予測されるため、小中学校の教育環境や保育サービスのあり方を今後も検討する必要があります。

- ◆平成27(2015)年の本町の子どもは、0～4歳が246人、5～9歳が253人、10～14歳が183人、合計682人で全体の約17%を占めています。〔図2.2-2(前述)〕
- ◆現状のまま人口が推移した場合、今後25年間は0～4歳の子どもの人口はほぼ変わらずに推移すると予測されます。このため、預かり保育のニーズなど、現在の保育所・幼稚園のサービス環境への影響が引き続き生じます。また、5～14歳もほぼ一定で推移すると予測されることから、地区によっては転出者が転入者を上回る「社会減」の状況への懸念、学校の存続と統廃合の問題等が依然残される状況です。
- ◆一方、各地区の公民館長を中心とした、地域を挙げた学力向上への取り組みにより、本町の小、中学生ともに全国学力テストの全教科で全国平均を上回っています。

現在の合計特殊出生率は1.87で、一人っ子世帯も多く、次世代の親が子どものいる幸せを感じられない社会となるおそれがあります。

- ◆本町の合計特殊出生率は、平成20(2008)年～平成24(2012)年の平均で1.87です。全国平均を上回り、沖縄県平均とほぼ同水準ですが、全国での人口置換水準^{用語解説}の2.07を下回っています。〔図3.2-1〕
- ◆兄弟姉妹の数が少なくなると、生涯にわたる人間形成の基礎が培われるのに重要な幼児期や少年期、青年期に乳幼児と接する機会がなくなり、次世代の親となる世代の有配偶率や有配偶出生率の低下につながるおそれがあります。
- ◆また、子どもがいない、兄弟姉妹がいないことが当たり前の社会になることは、子どものいる幸せを感じられない社会につながり、子育てに伴う負担感のみが強調され、少子化が進行するおそれがあります。

- 👉保育所・幼稚園については、町民のニーズに応え、安心して子どもを預けることのできる環境整備が必要です。
- 👉小中学校については、子どもの進学などによる家族転出を減らし、子どもを持つ家族に移住してもらうなど、子どもを増やす対策が必要です。
- 👉子どもの学力が高いまちの実現を一例に、地域ぐるみで子どもを育てる風土を守り、次世代の子どもたちにも継承していくことが重要です。

《参考》本町の人口は社会増減(転入出)の影響を大きく受けています。仮に社会増減がゼロと仮定した場合(封鎖人口(p7のパターン②))、平成72(2060)年に総人口5,000人とするためには、合計特殊出生率を2.40まで上げる必要があります。

表3.2-1 保育所の入所状況〔平成27(2015)年4月1日現在〕

施設名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	合計	定員
西表保育所	0	0	3	9	4	6	0	22	30
上原保育所	0	0	13	20	0	0	0	33	30
大富保育所	0	1	9	15	0	0	0	25	30
黒島保育所	0	0	3	0	5	0	0	8	30
小浜保育所	0	0	6	5	9	7	0	27	50
竹富保育所	0	0	5	4	3	5	0	17	30
波照間保育所	0	1	7	4	0	0	0	12	30
合 計	0	2	46	57	21	18	0	144	230

出典：竹富町介護福祉課

表3.2-2 幼稚園の入園状況〔平成27(2015)年5月1日現在〕

幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計	預かり保育	
					4歳児	5歳児
はてるま幼稚園		5	5	10	2	2
おおはら幼稚園		13	12	25	9	9
うえはら幼稚園		11	22	33	10	21
合 計		29	39	68	21	32

出典：竹富町教育委員会

表3.2-3 学校別学級数、児童生徒数(平成27(2015)年5月1日現在)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
竹富小学校	7	1	5	3	5	7	28
黒島小学校	3	1	2	0	2	1	9
小浜小学校	7	7	5	6	5	4	34
波照間小学校	8	9	6	6	4	9	42
大原小学校	11	8	15	11	7	3	55
古見小学校	1	4	0	4	0	3	12
上原小学校	10	16	13	6	6	6	57
西表小学校	5	3	2	3	3	2	18
白浜小学校	2	4	3	1	5	0	15
船浮小学校	0	1	0	1	0	2	4
鳩間小学校	1	0	1	1	0	1	4
合 計	55	54	52	42	37	28	278

中学校名	1年	2年	3年	合計
竹富中学校	5	4	4	13
黒島中学校	1	1	3	5
小浜中学校	7	3	3	13
波照間中学校	1	2	4	7
大原中学校	13	6	8	27
船浦中学校	4	11	12	27
西表中学校	4	4	4	12
船浮中学校	0	2	0	2
鳩間中学校	0	0	2	2
合 計	35	33	40	108

出典：竹富町教育委員会

※同じ着色同士が複式学級、着色なしが単式学級

※小浜小学校の特別支援学級に2名の生徒が在学

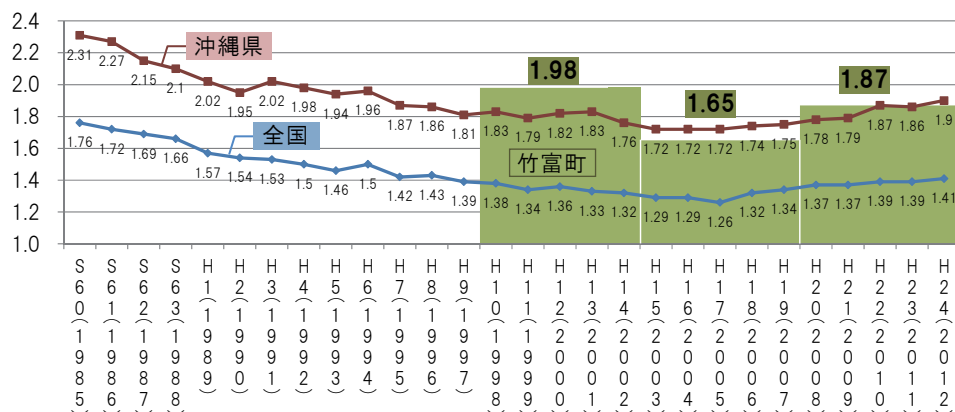


図 3.2-1 合計特殊出生率の推移※竹富町の値は5年毎

出典：「人口動態調査」厚生労働省、「RESAS(地域経済分析システム)」まち・ひと・しごと創生本部

3.3 医療・介護環境

人口の増減に関わらず、医療・介護需要はしばらく伸び続ける予測で、医療・介護環境はますます厳しくなります。

◆医療需要は、平成42(2030)年頃までは人口の増減に関わらず伸び続けると予測されます。また、人口の増減に関わらず高齢化率が上昇する推計のため、介護需要は伸び続けると予測されます。〔図3.3-1〕

◆町民アンケートでは、人口問題が社会へ与える影響として、半数以上が「保育・学校と併せて、医療・介護サービス維持の困難化」を懸念しており、自由回答でも医療の充実に関する意見が多く寄せられました。また、高齢者にやさしい地域づくりについては、約半数が「介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らせる、地域包括ケアシステムの構築」、「生きがいを持った暮らしへの支援」、「通院等の生活上の不便の解消」を求めています。

- 町民が安心して暮らしていく上でも、乳幼児医療から高齢者医療まで、現状の見直しを図る必要があります。
- 移住者も含めて、元気なうちから地域で助け合う仕組みづくり、医療体制の充実と併せて生活上の不便を解消していくことが必要です。

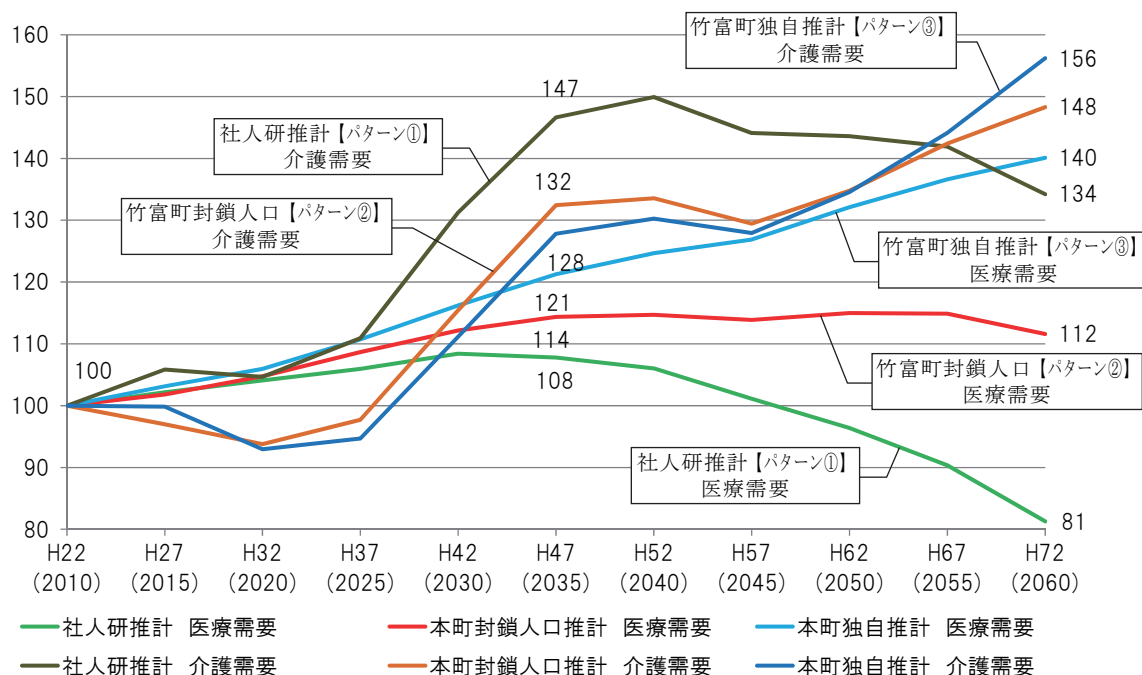


図3.3-1 医療・介護需要の将来推計〔平成22(2010)年を100〕

◆医療介護需要予測：各年の需要量を以下で計算し、2010年の介護需要量=100として指数化
 ・各年の医療需要量=14歳×0.6+15～39歳×0.4+40～64歳×1.0+65～74歳×2.3+75歳～×3.9
 ・各年の介護需要量=40～64歳×1.0+65～74歳×9.7+75歳～×87.3
 出典：国立社会保障・人口問題研究所（2013年3月推計）をもとに日医総研ワーキングペーパーNo. 323「地域の医療提供体制の現状と将来 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2014年度版）」の指数で推計

3.4 産業（農業・観光業）

（１）農業

農業就業人口は減少傾向で、今後も高齢化、後継者不足による労働力の低下が課題となります。

- ◆本町の農業就業人口^{用語解説}は、平成17(2005)年から5年間で大幅に減少し、平成22(2010)年は369人、総就業人口の17.3%となっており、生産農家の減少、高齢化、後継者不足による労働力の低下が課題となっています。〔表3.4-1〕
- ◆平成22(2010)年までは、パインアップル、水稻、肉用牛等の生産がほぼ横ばいで推移したこと、平成5年のウリミバエ根絶を契機に、県外への輸出野菜及び施設園芸の栽培にも取り組み、特にマンゴーやパッションフルーツ等の熱帯果樹が栽培されたこともあり、生産農業所得は伸びていましたが、平成24(2012)年の生産農業所得は約7億4千万円まで減少しました。〔表3.4-2〕

- ☞新規就農者の確保、地域の農家の同意のもと生産基盤整備の実施などに取り組む必要があります。
- ☞高収益や新規作目の導入など、若者に魅力ある農業を推進し、農業が安定した働く場となるような取り組みが必要です。
- ☞ふるさと納税^{用語解説}の返礼品の拡充により、本町の農畜産物PRも必要です。

表3.4-1 産業別農業就業人口の推移

〔人、(%)〕

	総就業人口	第1次	うち農業	第2次	第3次
平成12 (2000)年	2,036 (100.0)	584 (28.7)	524 (25.7)	212 (10.4)	1,240 (60.9)
平成17 (2005)年	2,513 (99.4)	555 (22.1)	505 (20.1)	224 (8.9)	1,719 (68.4)
平成22 (2010)年	2,131 (100.0)	407 (19.1)	369 (17.3)	150 (7.0)	1,574 (73.9)

※（ ）内は構成比。総就業人口には分類不能の産業を含むため、合計は100にならない。

出典：国勢調査、農業センサス

表3.4-2 産業別生産額の推移

〔百万円、(%)〕

	総生産額 ^{用語解説参照}	第1次	うち農業	第2次	第3次
平成18 (2006)年	10,563 (100.0)	946 (9.0)	777 (7.4)	2,037 (19.3)	7,580 (71.8)
平成20 (2008)年	10,959 (100.0)	897 (8.2)	776 (7.1)	2,241 (20.4)	7,821 (71.4)
平成22 (2010)年	10,597 (100.0)	1,048 (9.9)	937 (8.8)	1,677 (15.8)	7,872 (74.3)
平成24 (2012)年	11,800 (100.0)	866 (7.3)	738 (6.3)	2,415 (20.5)	8,519 (72.2)

※（ ）内は構成比。

出典：「沖縄県市町村所得」沖縄県

(2) 観光業

観光の数だけではなく、質の充実により関係産業に経済効果を波及させるしくみ作りが必要です。

- ◆沖縄県全体の観光客数の伸びにより、八重山圏域、本町の観光客数も増加しています。平成26(2014)年は約116万人の観光客が訪れました。〔図3.4-1、2〕
- ◆一方で、石垣市を中心とした周遊型観光が主流なことや消費先の乏しい等から、観光客1人あたりの現地消費金額は石垣市内に比べ、竹富町内は低いものとなっています。〔表3.4-3〕
- ◆入域観光客数だけでなく、町内消費額を底上げするため、特産品等の6次産業化推進や滞在観光メニューの創出が必要です。

観光客増加と一人当たり観光消費額増加に向けて、これまでの周遊型観光から滞在型観光への転換を図ることが必要です。

観光業に携わりながら本町に住みたいと考える人の収入を確保し、移住、定住の促進することが必要です。

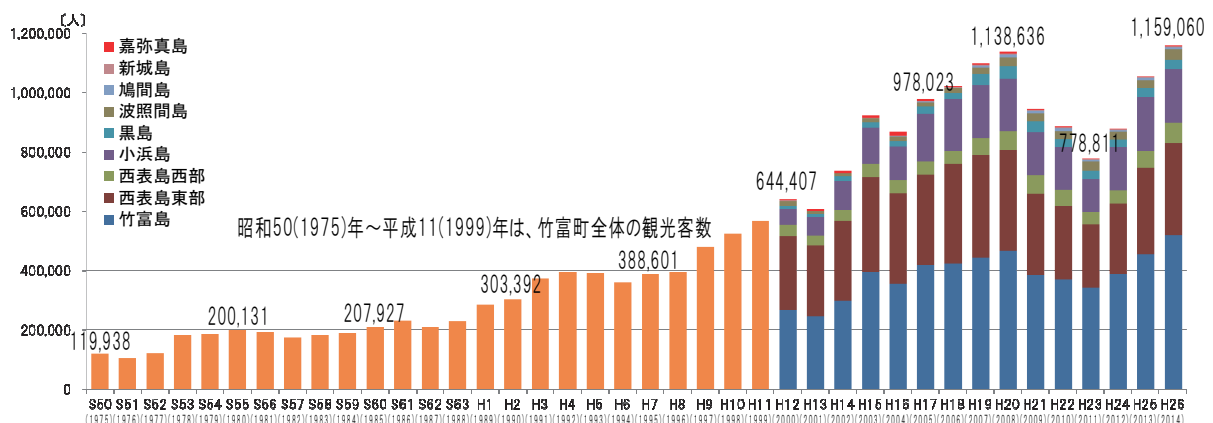


図3.4-1 本町の入域観光客数の推移

出典：竹富町商工観光課

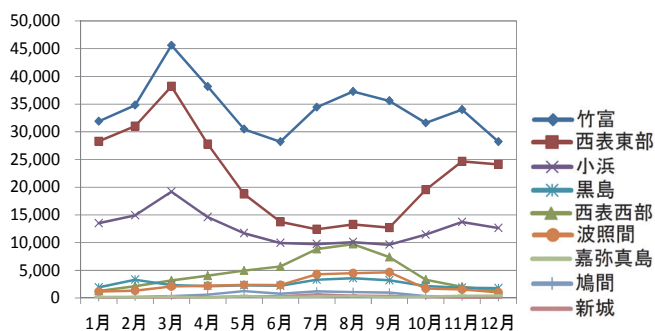


図3.4-2 島別・月別入域観光客数
〔平成21(2009)年～平成26(2014)年の平均〕

出典：竹富町商工観光課

表3.4-3 竹富町を訪れた観光客1人あたりの
の現地消費金額〔平成22(2010)年度〕

地域 時期	竹富町内 〔円〕	石垣市内 〔円〕
夏季 (9月)	10,493	22,283
秋季 (11月)	7,314	29,951
冬季 (2月)	8,987	17,648

出典：「竹富町入域観光統計調査」竹富町商工観光課
(平成23年3月)

3.5 地域コミュニティの維持、文化の継承

人口減少地区は、地域コミュニティ維持や文化の継承への影響が懸念されます。移住者に島のルールを理解を促すなど、共同調和が必要です。

- ◆本町では自治組織として公民館が組織され、住民生活の把握や町行政への意見や要望の集約、道路や海岸の清掃などの行政サービスの代行を行っています。しかし、組織の役割を兼任することが多く一人の負担が大きくなっているなど、公民館組織のあり方が今後の課題となっています。
- ◆また、本町は毎年多くの移住者が転入してきますが、公民館の会員になっていない人や地域社会活動にあまり積極的でない人も見られます。生活していくための島のルールを転入者や転入希望者に対して説明し、相互に理解した上で生活を始めるなど、島民と移住者が共同調和できる取り組みが必要です。
- ◆さらに本町には、先祖から引き継がれてきた祭事が多数あります。しかし、例えば鳩間島の豊年祭や竹富島の種子取祭では、祭事を実施するのに必要な人数が住民だけでは全ての役割を充当できないため、石垣島の郷友会など、地域外部からの人的サポートが不可欠な状況となっています。〔表3.5-1〕

- ☞人口減少によりコミュニティの維持や文化の継承が困難になってきている地区もあり、各地区で人口を安定して確保することが必要です。
- ☞一方で、新たに転入してくる移住者については、島民との共同調和が図られるルールづくり、意識啓発、祭事への参加促進など、移住者を含めて新しい地域社会のあり方を検討し、コミュニティの活性化を図っていくことが必要です。

表3.5-1 本町の主な祭事

時期	名称	島名
2月上旬〔旧暦1月1日〕	旧正月の大綱引き	黒島
2月下旬〔旧暦1月16日〕	十六日祭	各島
6月上旬〔旧暦5月4日〕	海神祭(ハーリー)	小浜島、西表島
6月〔旧暦5月〕	豊年祭	波照間島
7月下旬～8月上旬	豊年祭	竹富島、小浜島、西表島、黒島、鳩間島ほか
8月中旬〔旧暦7月13～15日〕	旧盆	各島
8月中旬〔旧暦7月14日〕	ムシャーマ	波照間島
9月中旬～10月中旬	結願祭	竹富島、小浜島、西表島、黒島、鳩間島ほか
9月中旬～10月中旬	節祭	西表島、波照間島ほか
10月中旬～12月中旬	種子取祭(タナドゥイ)	竹富島

出典：竹富町観光協会ホームページ

3.6 自然環境

マナー違反の観光客や移住者が増加することで、希少生物の事故発生やごみの排出量増大などへの影響が考えられます。

- ◆本町には貴重で豊かな自然環境が広がっており、町民アンケートでも、友人・知人に自慢したいところとして、ほとんどの人が「豊かな自然」を挙げており、多くの町民のこころのよりどころになっている本町の宝です。
- ◆町域のほとんどが「西表石垣国立公園」に指定され、自然公園法により開発に関して一定の制限が設けられています。〔図3.6-1〕
- ◆しかし、自然環境とのふれあいを求めて訪れる観光客や移住者の増加傾向と合わせて、希少動物の事故件数が増加するなど、生物の生息環境への影響もみられるようになっていきます。〔図3.6-2〕
- ◆また、本町のごみの排出量は、分別回収の徹底、生ごみの自家処理など、島民の日々の取り組みにより年々減少傾向にありましたが、平成24(2012)年は観光客や移住者の増加傾向に合わせて、総排出量が増加に転じており、環境への負荷が増大している状況です。〔図3.6-3〕

島民と移住者の共生が図られるルールづくりなどにより、町民が大事に思っている自然環境を守り、次世代に引き継いでいくことが必要です。

観光客に対するマナーの徹底など、貴重な自然に対するさらなる啓蒙が必要です。また、重要地域への入域制限や入域有料化導入の検討も必要です。

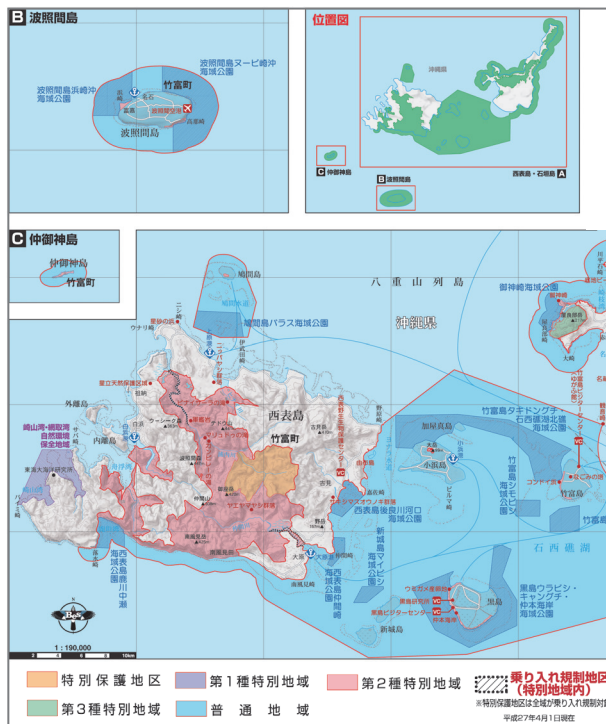


図3.6-1 西表石垣国立公園地種区分

出典：「国立公園マップ」一般財団法人自然公園財団

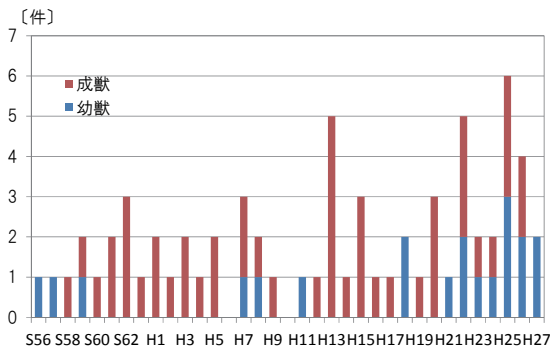


図3.6-2 イリオモテヤマネコの交通事故記録

出典：那覇自然環境事務所

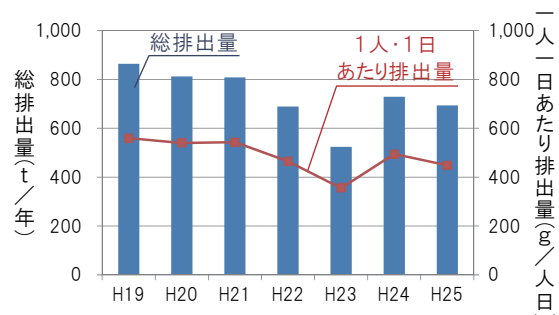


図3.6-3 本町のごみ排出量の推移

出典：「一般廃棄物処理実態調査」環境省



第4章 人口対策に取り組む基本的視点

4.1 基本的視点

- 平成10(1998)年～平成27(2015)年の長期の人口動向を今後も維持する場合、平成72(2060)年には総人口は約5,000人と推計されます。しかし、本町、特に各地区、各集落では非常に人口が少なく、移住者の転入出による影響を受けやすいため、状況によっては人口が減少する可能性もあることに留意する必要があります。
- 人口の変化による影響は、「第3章人口の変化による影響」でみたように、子どもの保育・教育・医療環境をはじめ、多くの生活基盤への影響が考えられます。
- 人口の変化による影響を緩和するため、次の3つを同時並行で進め、各地区で将来にわたり安定した人口を確保することが重要となります。
 - ①出生数を維持することで人口の安定化を図り、現状の人口構造を将来にわたり維持する
 - ②健康寿命^{用語解説}の延伸、安心して老後を迎えられるまちづくりを進める
 - ③転出者数を抑制し、Uターン及びIターンで、特に若い層の転入者の定住を促進する

自然増の促進

子育て、教育を支援する生活環境基盤の整備、若い世代の就労・雇用創出

- 子どもの人口層を安定させるために、若い世代の希望がかなうような結婚、妊娠・出産・子育て環境の充実、居住環境の確保、雇用・就労環境の確保などの取り組みが重要となります。
- 町民アンケートにおいても人口問題克服のための取り組みとして、「産業振興」と「結婚・出産・子育て支援」が上位に挙げられました。

健康長寿、健康寿命の延伸と定住環境の整備

- 今後、団塊の世代が高齢者に移行することから、元気な高齢者が健康を保ち積極的に社会と関わりつつ、地域ぐるみで守られながら住み続けていける環境整備が重要となります。

社会増減の安定

子育て世代、若者を中心とした生産年齢人口の流入、定住の促進

- 本町の人口構成の特徴である生産年齢人口の層の厚さを今後も確保するために、働く場づくりや生活環境基盤整備など魅力あるまちづくりを進め、IUターンの受入体制を整備することが重要となります。

4.2 竹富町が目指す将来の方向

平成72(2060)年の総人口5,000人を目指したまちづくりを進めます。

基本的視点をふまえ、本町が目指す将来の方向を示します。

①自然増の底上げにより、総人口の安定を図ります

- 本町の総人口は、本土の景気に左右される社会増ではなく、自然増の底上げによる人口安定を基本とします。まちの宝である「子ども」に視点をおき、年少人口の増加につながる取り組みを進めます。
- 自然増の要因となる結婚や出産は、個人自主的な選択によるものですが、持続的な人口増加を実現するためには、希望する人が安心して結婚、妊娠・出産、子育てができるまちとなっていることが必要です。
- 結婚、妊娠・出産、子育てに対する支援を充実することで、これまで希望しながらも実現することができなかった人が結婚、出産を選択できる環境をつくり、全国と比較しても高い本町の合計特殊出生率の底上げを図ります。
- 本町は、各地区で人口や環境が異なるため、本町独自の取り組みを進めつつ、沖縄県の取り組みとも連携し、結婚、妊娠・出産、子育てを取り巻く環境が全国でも優れたまちとなることを目指します。

②町外との交流を深めつつ、移住者の定着に向けた取り組みを進めます

- 本町の人口を自然増の底上げのみで維持するためには、現在の合計特殊出生率1.87を2.40まで上げる必要があります。この高い目標に対しては、沖縄県や八重山圏域の市町と連携しながら取り組みを進めます。
- 自然増の取り組みと併せて、本町出身のUターン者や本町に愛着を感じ定住を希望する移住者に対して、働く場づくりや生活環境基盤の整備など、定着を図る環境づくりを進め「竹富町に住みたい」を叶え、「竹富町に住み続けたい」を支えるまちを目指します。

③各地区の課題に応じた人口対策により、持続可能なまちを目指します

- 本町は、離島という条件不利性(遠隔性、散在性、狭小性等)という特徴から、生活基盤の脆弱性やコミュニティの維持などの課題が残されています。
- また、一町多島の島嶼町であり、島ごとに多様な自然、歴史、伝統、文化、産業などを有しています。このような本土にはない環境を求めて、多くの観光客が訪れるとともに、来島をきっかけとして移住を決める人も多く見られます。
- 本町の将来人口は、近年の人口動向を維持する前提条件のもと、全体的には少しずつ増加していく予測ですが、人口が減少すると予測される地区もあり、コミュニティの維持などの課題がさらに深刻になることが考えられます。
- このため、各地区の課題に応じた人口対策によりできる限り人口が維持される取り組みを進め、持続可能なコミュニティをつくります。公民館組織の円滑な活動や伝統・文化の継承など、島民と移住者が生活の様々な面での支え合い、共同調和が保たれ維持、発展していくまちを目指します。

竹富町人口ビジョン 全体像

《基準年》平成27(2015)年:総人口4,089人 《推計年》平成72(2060)年 ⇒ 竹富町全体の人口目標:5,000人

1. 人口動向 ◆総人口は、概ね4,000人で推移し近年は微増傾向 ◆子どもの割合はほぼ一定(約17%)、高齢化率は低下(約21%)

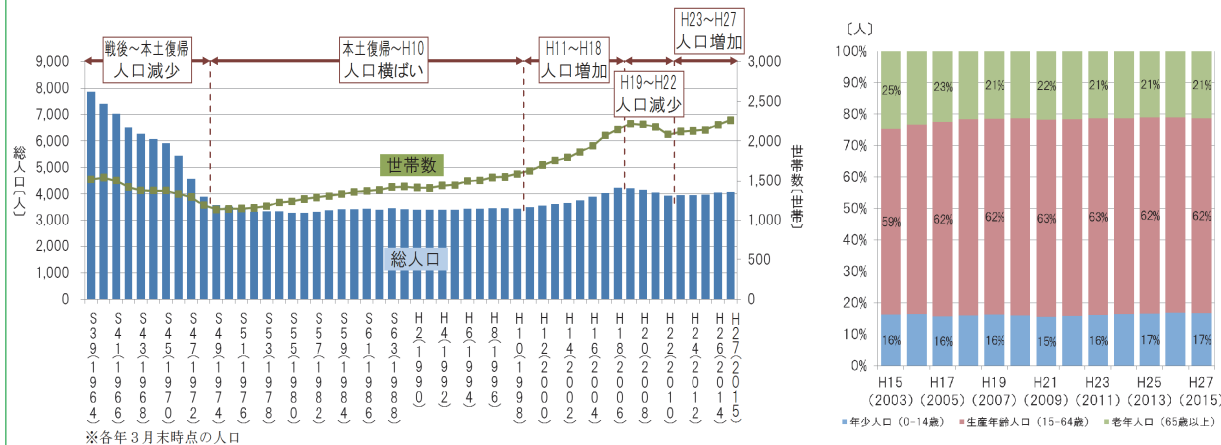


図1-1 本町全体の総人口と総世帯数の推移

図1-2 年齢3区分の人口割合

- ◆「ひょうたん型」のピラミッド
- ◆子育て世代を中心とする、20～30歳代女性の厚い層
- ◆0～14歳の子どもが多い
- ◆「15の春」による人口減少

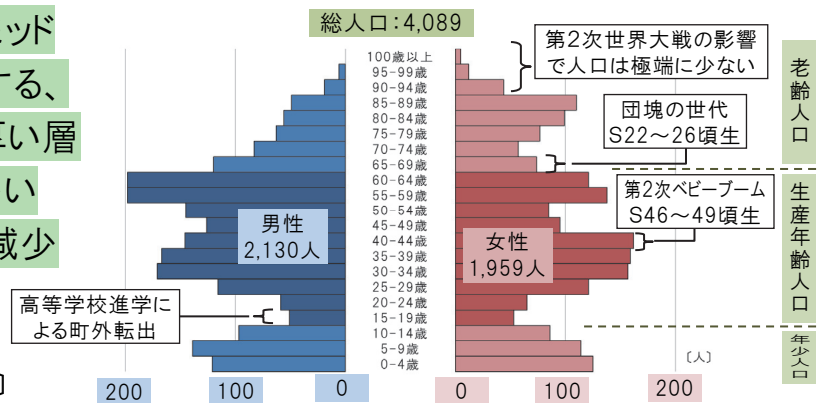
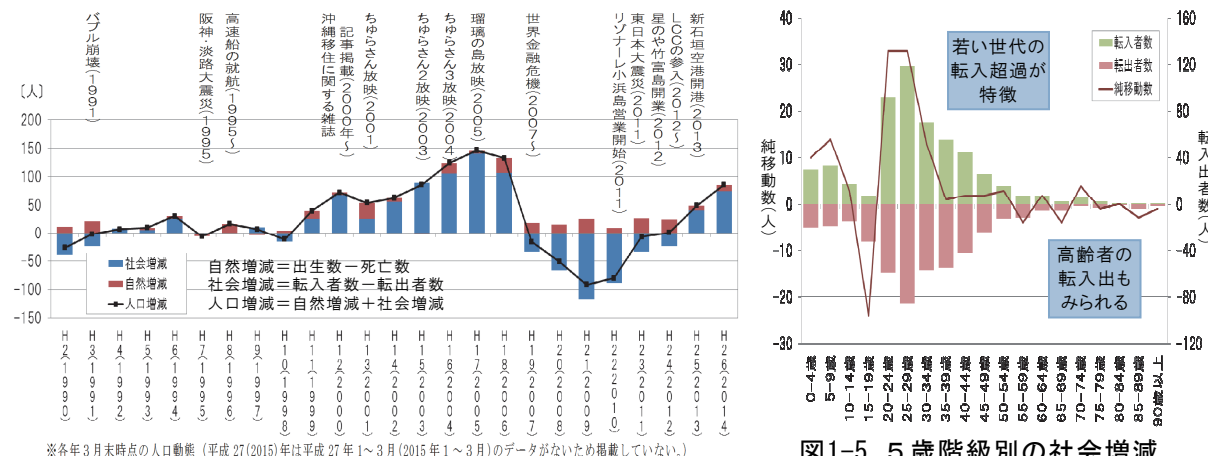


図1-3 人口ピラミッド
〔H27(2015)年3月末時点〕

◆総人口の増減は社会増減の影響大、近年は若い世代の転入超過



※各年3月末時点の人口動態(平成27(2015)年は平成27年1～3月(2015年1～3月)のデータがないため掲載していない。)

図1-4 人口動態(人口増減、自然増減、社会増減の推移)

図1-5 5歳階級別の社会増減
〔H26(2014)～H27(2015)〕

- ◆各地区の人口は概ね増加傾向
- ◆波照間地区は一貫して減少傾向

※新城地区と鳩間地区は人口が少ないため変動が大きい

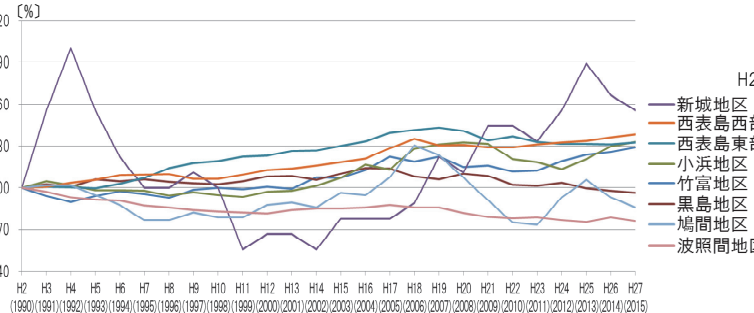


図1-6 地区別の人口増減割合〔H2(1990)年を100とする〕

2. 将来人口推計 ◆近年の人口動向を維持すると、平成72(2060)年の総人口は4,939人と推計されることから約5,000人とします。 ◆高齢化率は上昇傾向(平成72(2060)年に約28%)

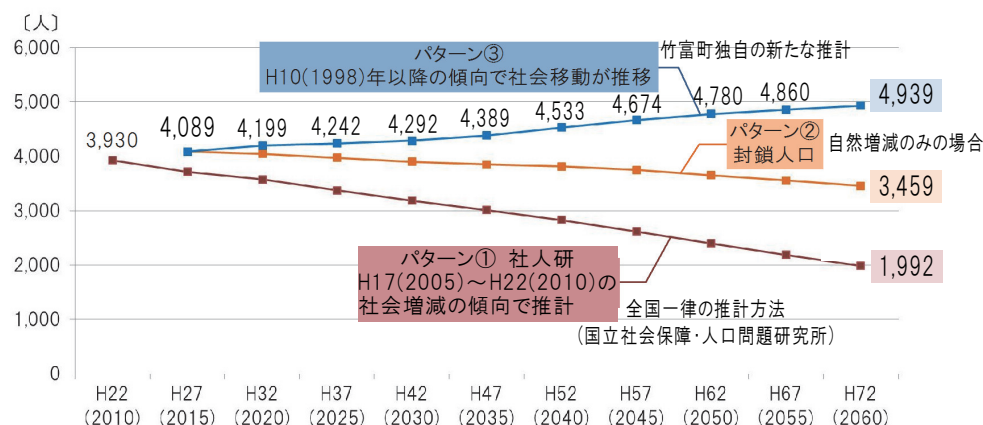


図2-1 パターン別の将来人口推計

◆各地区の人口は増加または横ばい、波照間地区は減少予測

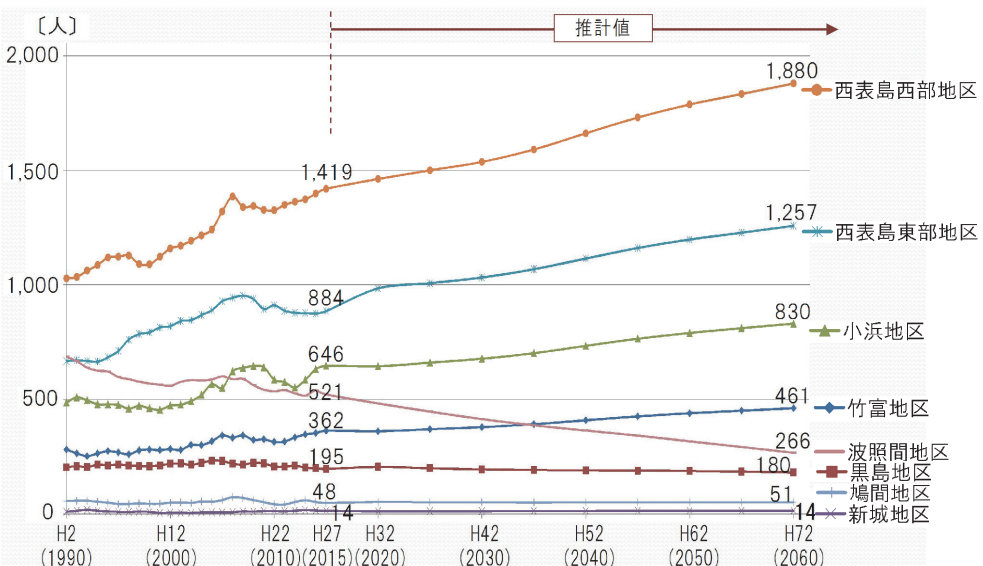


図2-2 各地区の将来人口推計

※いずれの地区についても、過去の人口増減の傾向が続くと仮定した場合の人口推計である。波照間地区の人口減少も、過去の減少傾向が続くと仮定したことによるものであるが、今後の社会情勢や人口対策により人口推計値は変動する。

◆本町の総人口は社会状況の影響を受けやすいため、状況により人口は減少に転じる可能性もあることに留意

自然増減

- ①女性の有配偶率と有配偶出生率対策が必要
- ②高齢者の死亡率対策が必要

社会増減

- ①本土の景気にも左右される〔図2-3参照〕
- ②移住者の定着対策が必要

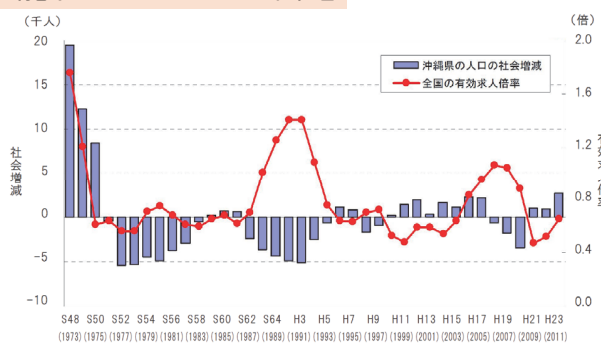


図2-3 沖縄県の社会増減と全国の有効求人倍率

3. 人口の変化による影響

- ◆生活用水
- ◆子どもの保育・教育環境
- ◆医療・介護環境
- ◆産業(農業・観光業)
- ◆地域コミュニティ維持・文化継承
- ◆自然環境 等

4. 人口対策に取り組む基本的視点

(1) 基本的視点

自然増の促進

- ◆子育て、教育を支援する生活環境基盤の整備、若い世代の就労・雇用創出
- ◆健康長寿、健康寿命の延伸と定住環境の整備

社会増減の安定

- ◆子育て世代、若者を中心とした生産年齢人口の流入、定住の促進

(2) 竹富町が目指す将来の方向

- ①自然増の底上げにより、総人口の安定を図ります
- ②町外との交流を深めつつ、移住者の定着に向けた取り組みを進めます
- ③各地区の課題に応じた人口対策により、持続可能なまちを目指します

◆平成72(2060)年の総人口の目標

約5,000人(年平均20人増)

※各地区の人口は減少しないようできる限り維持

用語解説

■地域経済分析システム(R E S A S)

- ・Regional Economy and Society Analyzing Systemの略で、内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部)が一般公開している、人口動態や企業間取引などに係わる様々なビッグデータ。

■L C C

- ・Low Cost Carrierの略で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社(格安航空会社)。

■子ども女性比

- ・15～49歳女性人口に対する0～4歳の子どもの人口の割合。

■生残率

- ・ある年齢(x 歳)の人が、5年後の年齢($x + 5$ 歳)になるまで生き残る確率。

■合計特殊出生率

- ・一人の女性が生涯に産む子どもの数を近似する指標。
- ・15～49歳の女性の年齢別の出生率(人口に対する出生数の割合)を特殊出生率といい、それを合計したものを合計特殊出生率という。

■有配偶率

- ・人口に対する、結婚している人(婚姻が解消していない人)の割合。

■有配偶出生率

- ・ある年の結婚している女性(有配偶女性)の千人に対する、その年の子どもの出生数。

■平均寿命

- ・平成22(2010)年の平均寿命：平成22(2010)年に生まれた0歳児の平均余命。
- ・本町の平成22(2010)年の平均寿命は、女性88.2歳(全国8位、県内4位)、男性79.7歳(県内15位)。

■人口置換水準

- ・人口が増加も減少もしない、均衡した状況となる合計特殊出生率。
- ・近年の我が国の人口置換水準は2.07。

■農業就業人口

- ・16歳以上で、過去1年間に「農業のみに従事した人」あるいは「兼業であるが農業の従事日数の方が他産業より多い人」の人口。

■ふるさと納税

- ・平成21(2009)年にスタートした制度で、自分が生まれ育った自治体や応援したい自治体への寄付。自己負担の2,000円を除いた寄付金の全額が所得税及び住民税から控除される。また、近年は各自治体からの返礼品(地元の農産物など)が送られることも増えている。

■純生産額

- ・生産額は、減価償却部分(生産に伴って減少する機械等の価値)と付加価値部分となっており、このうち付加価値部分のみを「純生産額」という。
- ・「減価償却部分を含むものを「総生産額」という。

■健康寿命

- ・平成12(2000)年にWHO(世界保健機関)が公表した指標で、日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存期間のこと。

参考 1 意識調査結果概要

参考1.1 全世帯を対象とした意識調査

1. 概 要

■調査目的

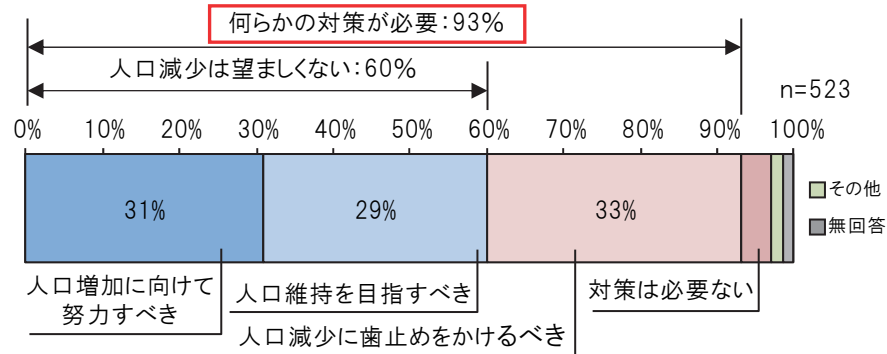
町民の人口や結婚・子育て、移住等に関する考えを伺い、「人口ビジョン」及び「竹富町総合戦略」に反映します。

■調査概要

項目	内容
調査対象	竹富町全世帯(2,351世帯)
配布・回収方法	各世帯へ配布、郵送による回収
回収率	22%(523部)

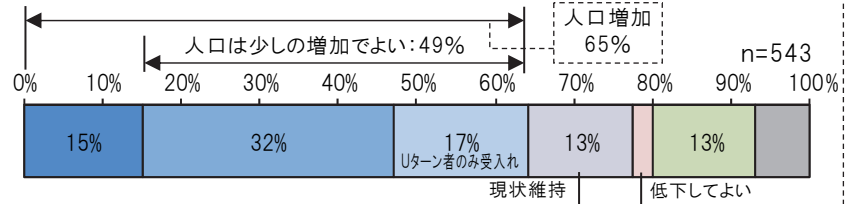
2. 人口減少（1）

■将来の人口減少に対して、約9割が何らかの対策が必要だと考えており、そのうち約6割が望ましくないと考えています。

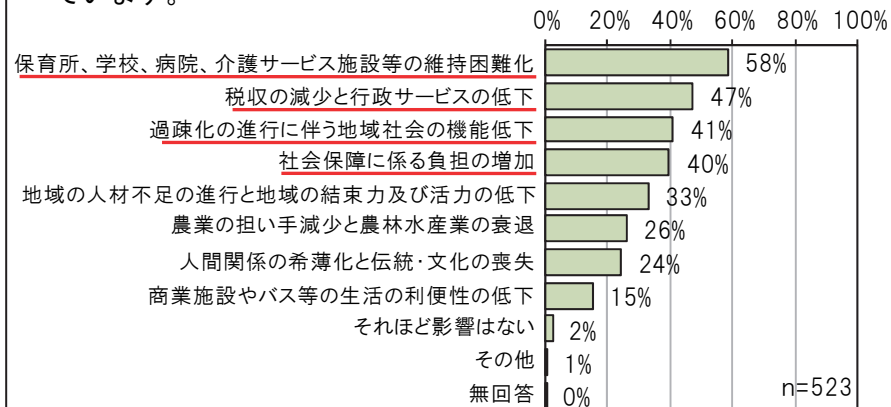


参考 1.1-1 将来の人口減少に対する考え方（単一回答）

■平成21年の将来人口についての考え方については、6割以上が「人口増加」だが、その内の5割は「少しの増加でよい」と考えています。



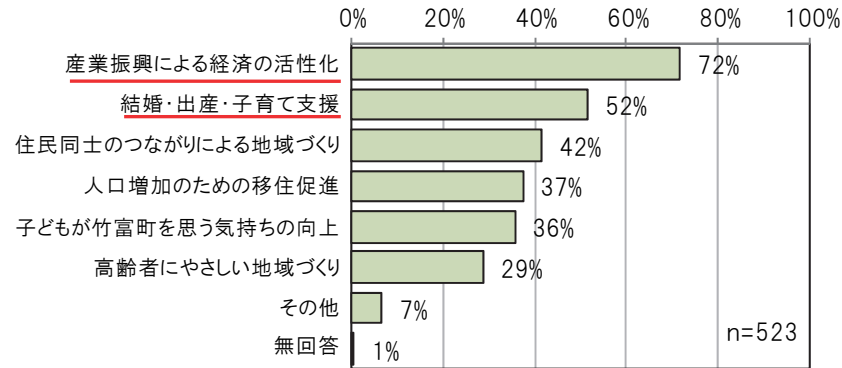
■人口減少による影響として、「保育所、学校、病院、介護サービス施設等の維持困難化」、「税収の減少とサービスの低下」、「社会保障に係る負担の増加」、「過疎化の進行に伴う地域社会」が多く挙げられています。



参考 1.1-2 人口減少による影響（複数回答）

2. 人口減少（2）

■人口問題克服のための取り組みは、「産業振興による経済の活性化」、「結婚・出産・子育て支援」、「住民同士のつながりによる地域づくり」、「人口増加のための移住促進」が多く挙げられています。



参考 1.1-3 人口問題克服のための取り組み（複数回答）

3. 産業振興

■地域経済の活性化のための取り組みについては、「農畜産物や海産物の加工・農業振興」、「自然、文化を利用した観光産業振興」が多く挙げられています。

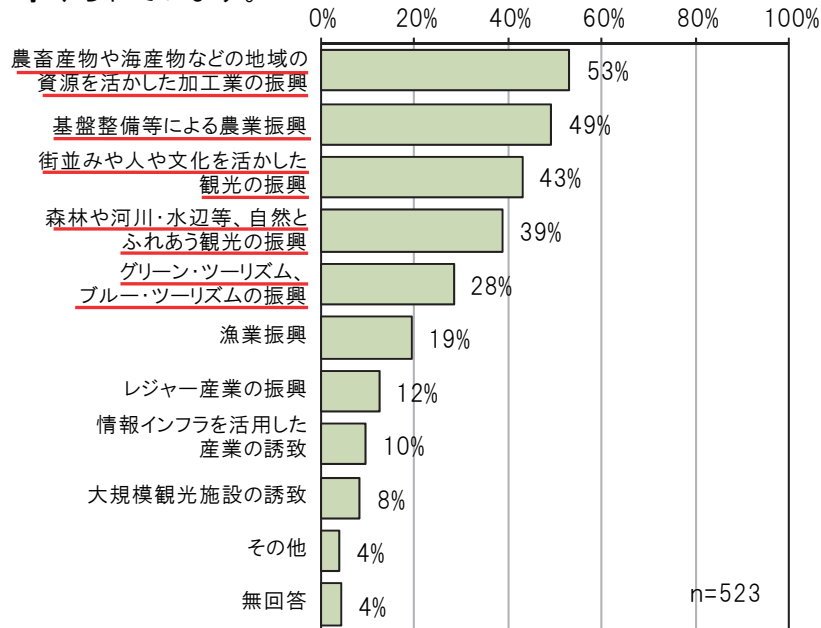
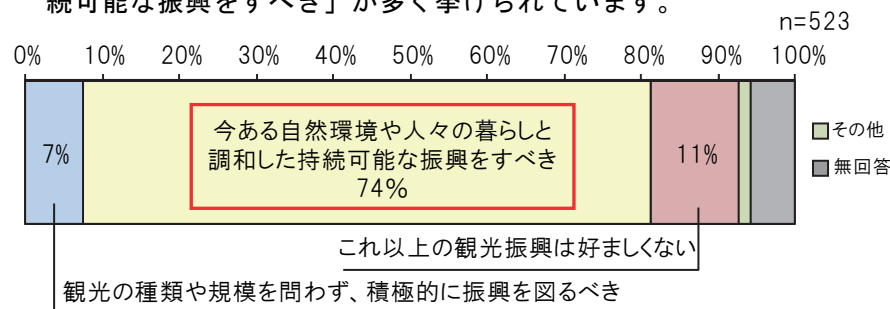


図 1.1-4 地域経済活性化のための取り組み（複数回答）

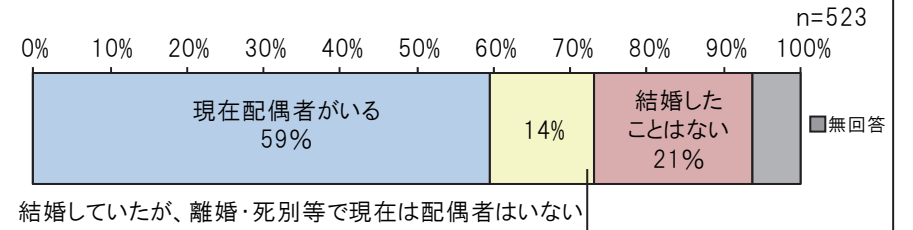
■観光産業の振興については、「自然環境や人々の暮らしと調和した持続可能な振興をすべき」が多く挙げられています。



参考 1.1-5 観光産業振興に対する考え方（単一回答）

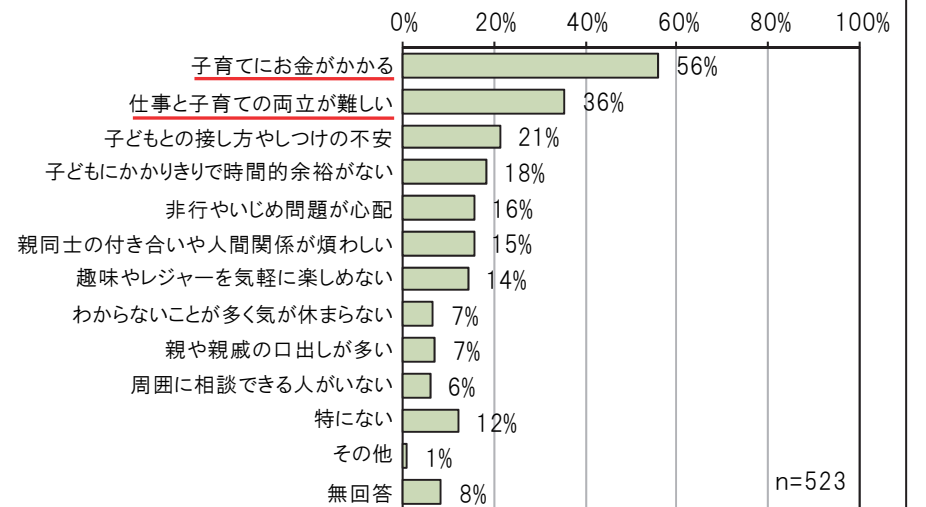
4. 結婚・出産・子育て

■回答者の約6割が結婚しており、約2割が未婚です。



参考 1.1-6 回答者の配偶者の有無（単一回答）

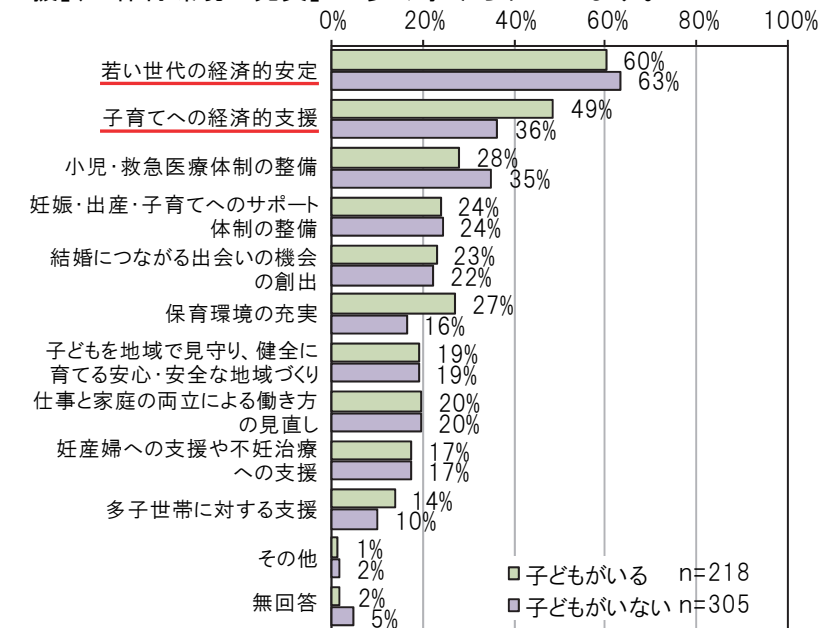
■子育てについて負担に感じることは、「子育てにお金がかかる」、「仕事や子育ての両立が難しい」が多く挙げられています。



参考 1.1-7 子育てについて負担に感じること（複数回答）

■少子化克服のための取り組みには、「若い世代の経済的安定」、「子育てへの経済的支援」、「医療体制の整備」が多く挙げられています。

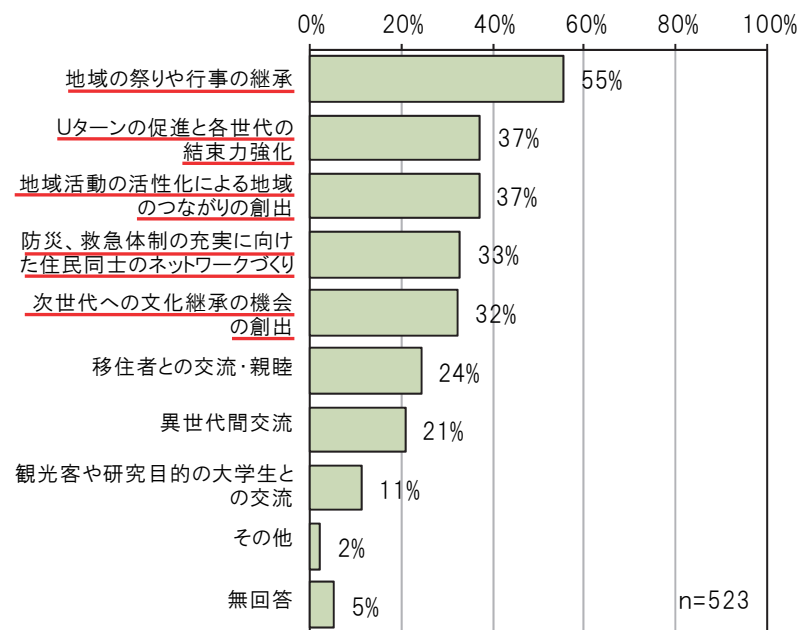
■子どもがいる方は子供がいない方に比べて「子育てへの経済的支援」、「保育環境の充実」が多く挙げられています。



参考 1.1-8 少子化克服のための取り組み（複数回答）

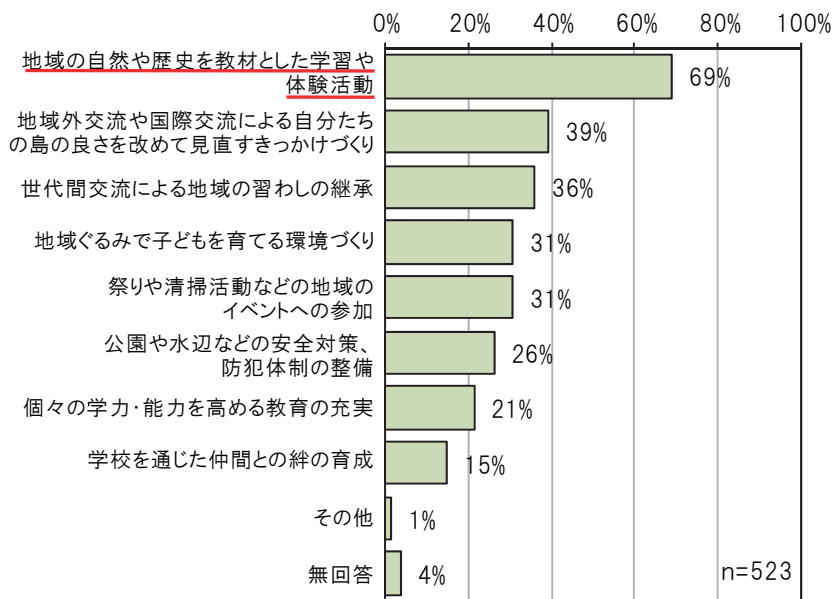
5. 地域づくり（１）

■地域コミュニティの活性化のための取り組みについては、「地域の祭りや行事の継承」、「Ｕターンの促進と各世代の結束力強化」、「地域活動の活性化による地域のつながりの創出」が多く挙げられています。



参考 1.1-9 地域コミュニティ活性化のための取り組み（複数回答）

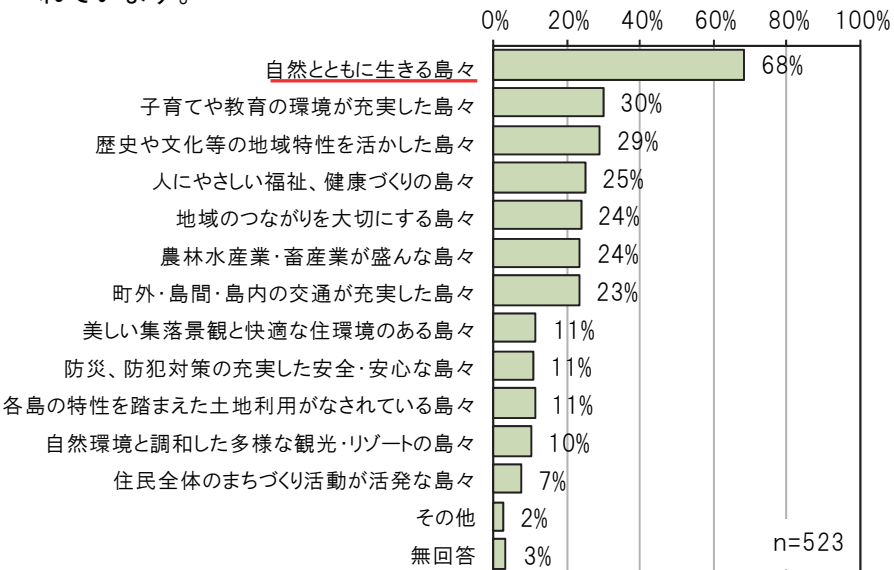
■子どもの竹富町を思う心の向上のための取り組みについては、「地域の自然や歴史を教材とした学習や体験活動」、「地域外交流や国際交流による、自分たちの島の良さを改めて見直すきっかけづくり」が多く挙げられています。



参考 1.1-10 子どもの竹富町を思う心の向上のための取り組み（複数回答）

5. 地域づくり（２）

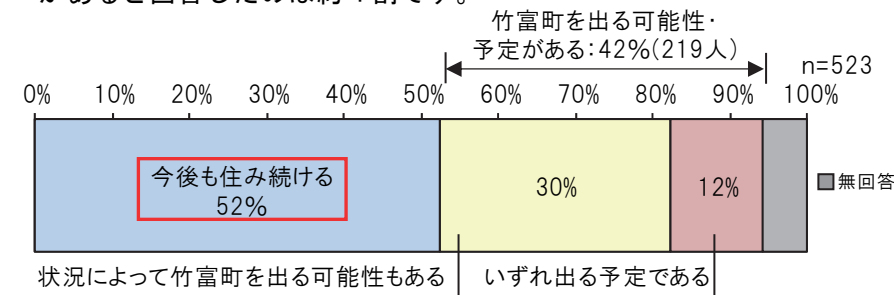
■地域の将来像については、「自然とともに生きる島々」が多く挙げられています。



参考 1.1-11 地域の将来像（複数回答）

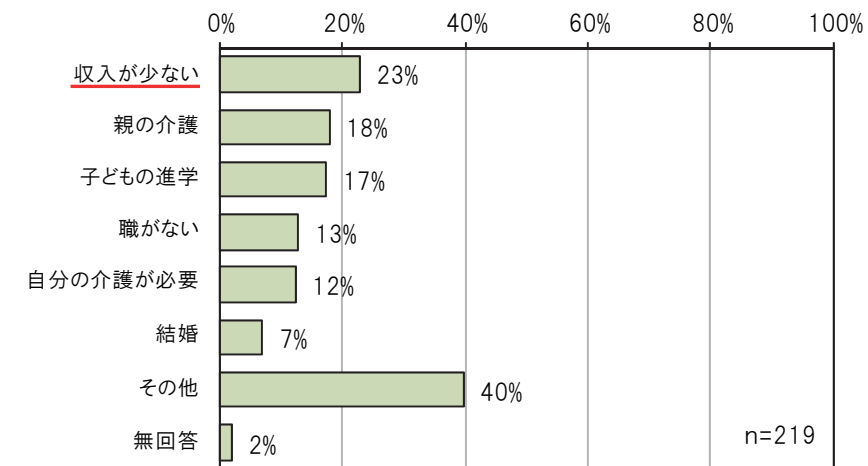
6. 転 出

■今後も住み続けるが半数以上いる反面、竹富町から出ていく可能性がある」と回答したのは約４割です。



参考 1.1-12 今後竹富町に居住する意向（単一回答）

■転出理由については、「収入が少ない」が多く挙げられています。

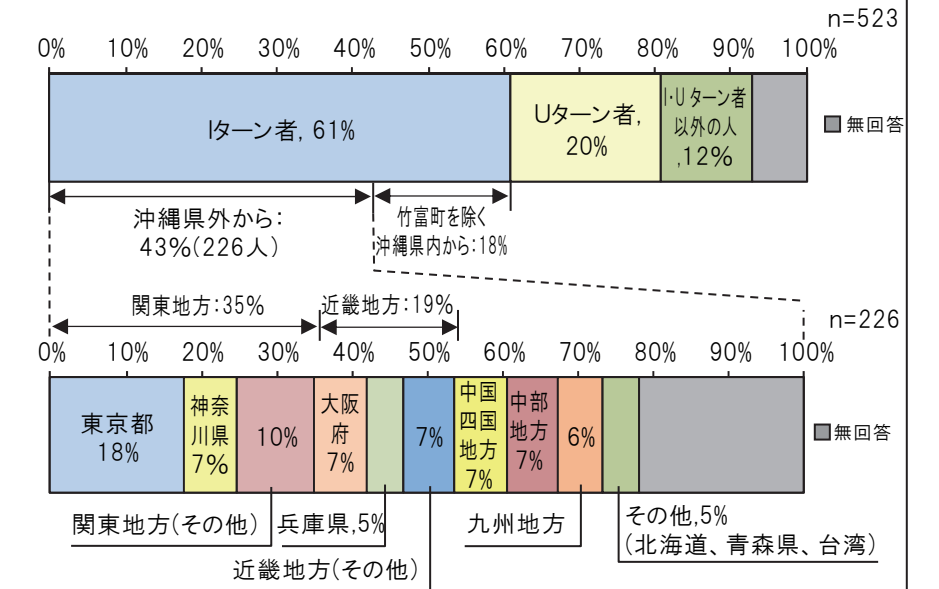


※その他の内訳は、約半数が「仕事・転勤」です。

参考 1.1-13 転出を考えている理由（複数回答）
※竹富町を出る可能性・予定のある人（219人）が対象

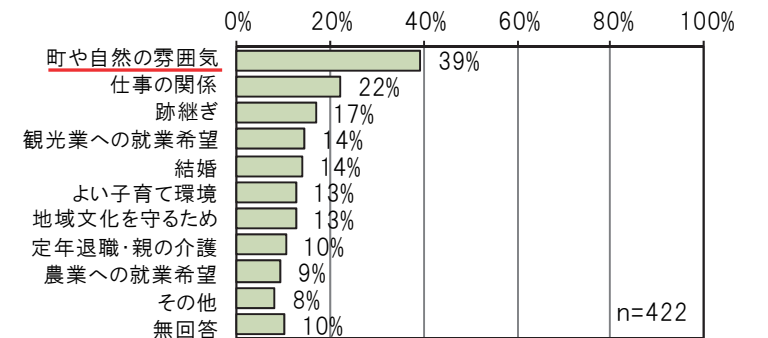
7. 移 住

■Ｉターン者が約６割、Ｕターン者が約２割です。
■Ｉターン者は関東地方や近畿地方出身の方が多いです。



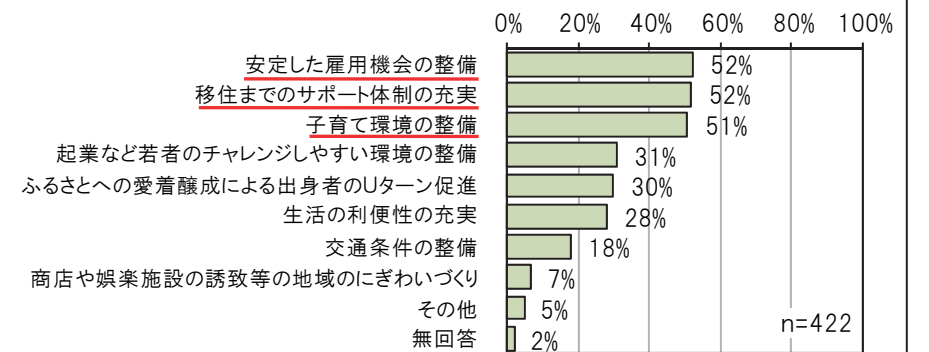
参考 1.1-14 回答者の出身地（単一回答）

■移住の動機については「町や自然の雰囲気」、「仕事の関係」、「跡継ぎ」が多く挙げられています。



参考 1.1-15 竹富町への移住の動機（複数回答）
※Ｕ・Ｉターン者（422人）が対象

■竹富町への転入経験者からみた、転入者の安定的な確保のための取り組みについては、「安定した雇用機会の整備」や「移住までのサポート体制の充実」、「子育て環境の整備」が多く挙げられています。



参考 1.1-16 竹富町への転入経験者からみた転入者の安定的確保のための取り組み（複数回答）
※Ｕ・Ｉターン者（422人）が対象

参考 1.2 中学3年生を対象とした意識調査

1. 概 要

■調査目的

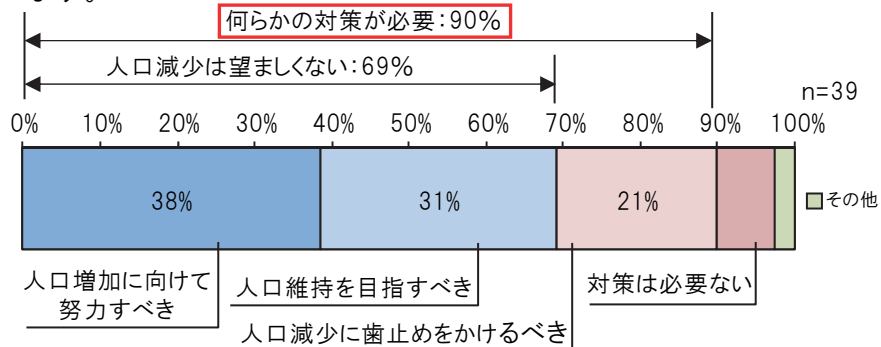
竹富町の中学生に竹富町の現在の姿や将来に望む姿についての考えを伺い、人口問題や将来のまちづくりの参考とします。

■調査概要

項目	内容
調査対象	竹富町内の中学3年生(40人)
配布・回収方法	各中学校で配布・回収
回収率	98%(39部)

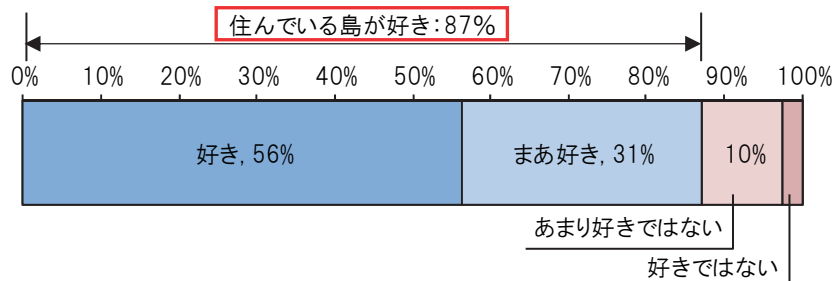
2. 島への考え

■将来の人口減少について、約9割が何らかの対策が必要だと考えています。また、約7割の生徒は人口減少は望ましくないと考えています。



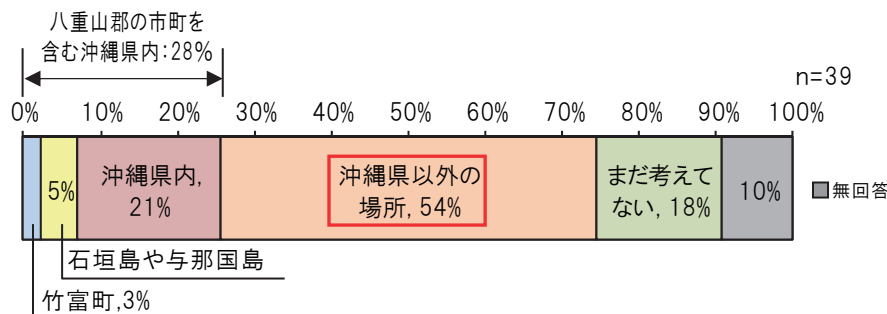
参考図 1.2-1 将来の人口減少に対する考え方(単一回答)

■回答者の約9割が今住んでいる島のことを好きだと考えています。



参考図 1.2-2 住んでいる島への好感度(単一回答)

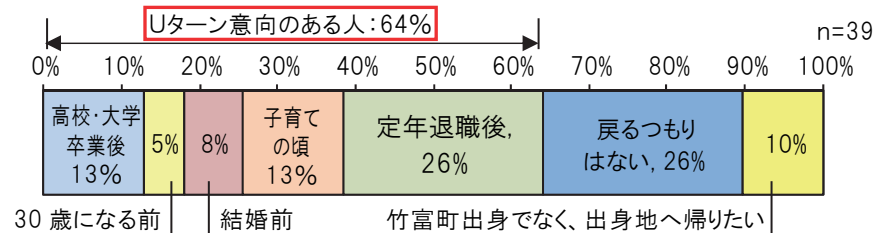
■将来の就職希望地域については、県外が約半数であり、八重山郡の市町を含む県内は約3割です。また、回答者の2割弱はまだ就職地域について考えていません。



参考図 1.2-3 将来の就職希望地域(単一回答)

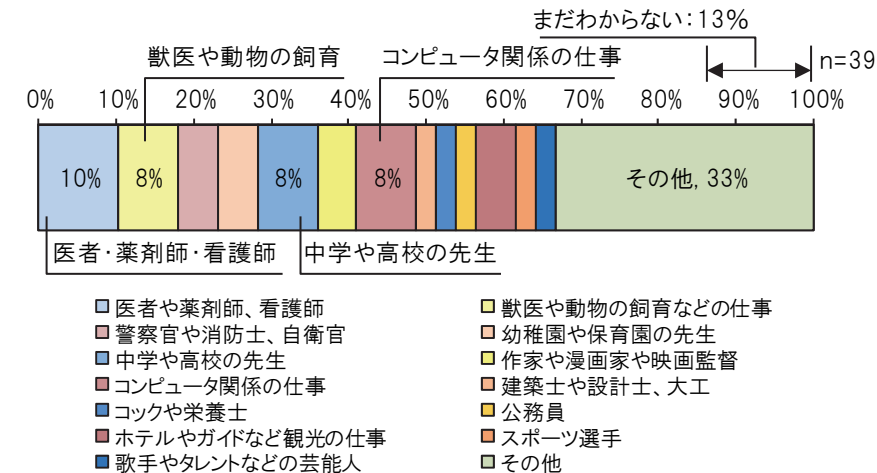
2. 島への考え

■進学・就職後のUターン意向は、竹富町へのUターン意向のある人が約6割です。一方で、戻るつもりのない人が約3割います。



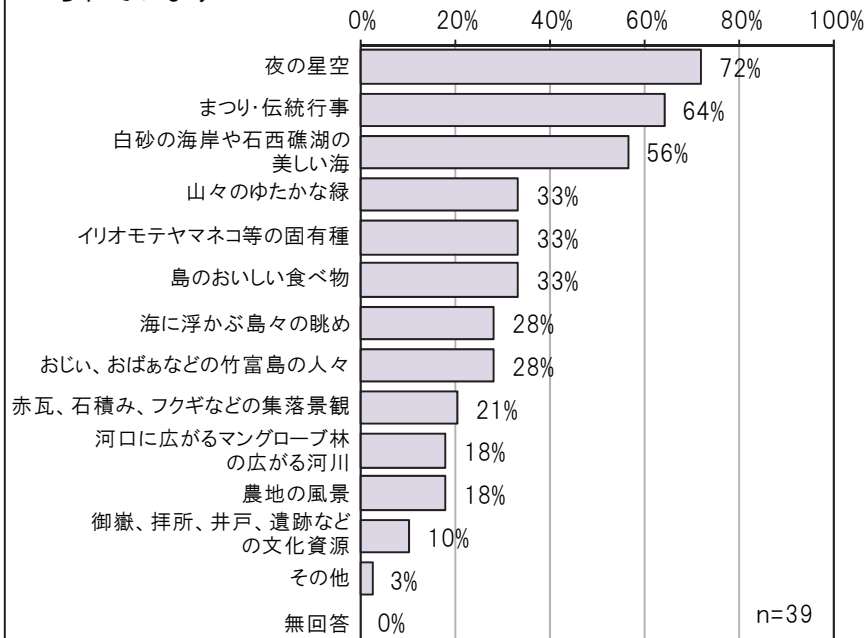
参考図 1.2-4 将来のUターン意向(単一回答)

■将来希望する職種については、「医者や薬剤師、看護師」や「獣医や動物の飼育」、「中学や高校の先生」、「コンピュータ関係の仕事」が多く、全体の約1割は「まだわからない」と回答しています。



参考図 1.2-5 将来希望する職業(単一回答)

■島の良いところ・自慢できるところについては、「夜の星空」や「まつり・伝統行事」、「白砂の海岸や石西礁湖の美しい海」が多く挙げられています

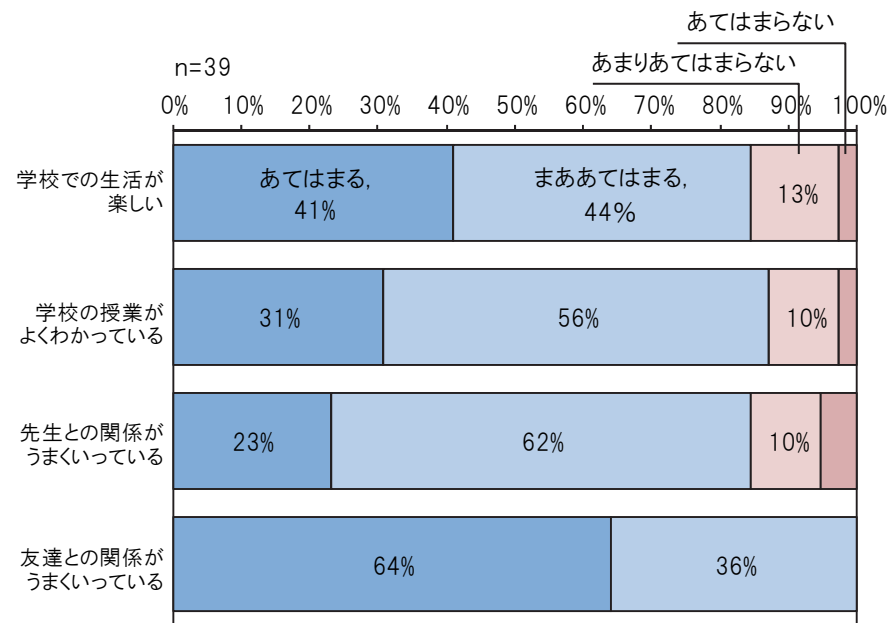


参考図 1.2-6 島の良いところ・自慢できるところ(複数回答)

3. 教育

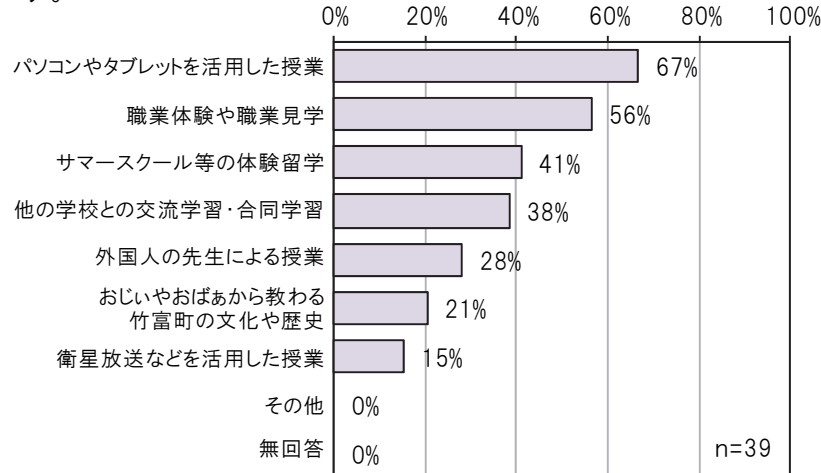
■多くの生徒は、学校生活が充実していることが伺えます。

- ・約8割が学校生活を楽しいと思っています。
- ・約8割が学校の授業をよく理解できています。
- ・約8割が先生との関係がうまくいっています。
- ・すべての回答者が友達との関係がうまくいっています。



参考図 1.2-7 学校生活について(単一回答)

■興味のある授業については、パソコンやタブレットを活用した授業や、学校外における体験・交流に関する授業が多く挙げられています。



参考図 1.2-8 興味のある授業(複数回答)

参考2 統計資料

第2章 人口動向と将来人口の推計

■竹富町全体の総人口及び世帯数	参2-2
■年齢3区分人口割合	参2-3
■平成15(2003)年の人口を100とした場合の各年齢区分の人口推移	参2-3
■人口動態(人口増減、自然増減、社会増減の推移)	参2-4
■自然増減(出生数-死亡数)の推移	参2-4
■社会増減(転入-転出)の推移	参2-4
■5歳階級別の社会増減〔平成26(2014)年～平成27(2015)年〕	参2-5
■人口ピラミッド〔平成27(2015)年3月末現在〕	参2-5
■地区別の産業別就業者数〔平成22(2010)年〕	参2-6
■平成2(1990)年の人口を100とした場合の地区別の人口推移	参2-7
■パターン別の将来人口推計	参2-8
■年齢3区分別の人口推計〔割合〕	参2-14
■年齢3区分別の人口推計〔各区分の人口〕	参2-14
■各地区の人口動向及び人口推計〔平成2(1990)年～平成72(2060)年〕	参2-15
■未婚率〔平成22(2010)年〕	参2-16
■年齢階級別の有配偶率の推移〔竹富町〕	参2-16
■沖縄県の年齢階級別有配偶出生率の推移	参2-17
■沖縄県の人口と社会増減及び全国の有効求人倍率の推移	参2-18
■沖縄県の平均寿命と全国順位の推移	参2-20

第3章 人口の変化による影響

■地区別簡易水道一覧	参2-22
■保育所の入所状況〔平成27(2015)年4月1日現在〕	参2-23
■幼稚園の入園状況〔平成27(2015)年5月1日現在〕	参2-23
■学校別学級数、児童生徒数〔平成27(2015)年5月1日現在〕	参2-24
■医療・介護需要の将来推計〔平成22(2010)年を100〕	参2-25
■産業別農業就業人口の推移	参2-27
■産業別生産額の推移	参2-28
■合計特殊出生率の推移	参2-29
■本町の入域観光客数の推移	参2-30
■島別・月別入域観光客数〔平成21(2009)年～平成26(2014)年の平均〕	参2-31
■八重山圏域で人手不足が生じている業種(有効求人倍率)	参2-36
■イリオモテヤマネコの交通事故記録	参2-37
■本町のごみ排出量の推移	参2-38

第2章 人口動向と将来人口の推計

■竹富町全体の総人口及び世帯数

年	人口 〔人〕	世帯数 〔世帯〕	年	人口 〔人〕	世帯数 〔世帯〕	年	人口 〔人〕	世帯数 〔世帯〕
昭和39年 (1964)	7,868	1,518	昭和56年 (1981)	3,283	1,271	平成10年 (1998)	3,450	1,588
昭和40年 (1965)	7,422	1,541	昭和57年 (1982)	3,321	1,292	平成11年 (1999)	3,490	1,625
昭和41年 (1966)	7,039	1,502	昭和58年 (1983)	3,395	1,309	平成12年 (2000)	3,562	1,697
昭和42年 (1967)	6,511	1,419	昭和59年 (1984)	3,416	1,333	平成13年 (2001)	3,616	1,754
昭和43年 (1968)	6,289	1,379	昭和60年 (1985)	3,427	1,360	平成14年 (2002)	3,679	1,792
昭和44年 (1969)	6,081	1,376	昭和61年 (1986)	3,447	1,374	平成15年 (2003)	3,765	1,864
昭和45年 (1970)	5,927	1,375	昭和62年 (1987)	3,413	1,386	平成16年 (2004)	3,889	1,939
昭和46年 (1971)	5,456	1,336	昭和63年 (1988)	3,466	1,420	平成17年 (2005)	4,036	2,074
昭和47年 (1972)	4,570	1,293	平成元年 (1989)	3,425	1,426	平成18年 (2006)	4,230	2,149
昭和48年 (1973)	3,897	1,194	平成2年 (1990)	3,398	1,413	平成19年 (2007)	4,226	2,219
昭和49年 (1974)	3,581	1,141	平成3年 (1991)	3,396	1,410	平成20年 (2008)	4,159	2,208
昭和50年 (1975)	3,524	1,145	平成4年 (1992)	3,403	1,440	平成21年 (2009)	4,063	2,181
昭和51年 (1976)	3,445	1,148	平成5年 (1995)	3,413	1,448	平成22年 (2010)	3,930	2,083
昭和52年 (1977)	3,332	1,157	平成6年 (1994)	3,444	1,495	平成23年 (2011)	3,957	2,121
昭和53年 (1978)	3,345	1,181	平成7年 (1995)	3,438	1,504	平成24年 (2012)	3,955	2,129
昭和54年 (1979)	3,351	1,228	平成8年 (1996)	3,455	1,543	平成25年 (2013)	3,973	2,142
昭和55年 (1980)	3,291	1,240	平成9年 (1997)	3,462	1,550	平成26年 (2014)	4,059	2,206
						平成27年 (2015)	4,089	2,262

出典：「竹富町住民基本台帳」（各年3月末時点の人口） 竹富町総務課

■ 年齢 3 区分人口割合

■ 平成15(2003)年の人口を100とした場合の各年齢区分の人口推移

年	年少人口 (0～14歳) 〔人(%)〕	生産年齢人口 (15～64歳) 〔人(%)〕	老年人口 (65歳以上) 〔人(%)〕	合計 〔人(%)〕	平成15(2003)年の人口を100 とした場合の割合		
					年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成15年 (2003)	615 (16.3)	2,218 (58.9)	932 (24.8)	3,765 (100.0)	100.0	100.0	100.0
平成16年 (2004)	637 (16.4)	2,338 (60.1)	914 (23.5)	3,889 (100.0)	103.6	105.4	98.1
平成17年 (2005)	631 (15.6)	2,496 (61.8)	909 (22.5)	4,036 (100.0)	102.6	112.5	97.5
平成18年 (2006)	665 (16.0)	2,605 (62.5)	899 (21.6)	4,169 (100.0)	108.1	117.4	96.5
平成19年 (2007)	672 (16.2)	2,590 (62.4)	891 (21.5)	4,153 (100.0)	109.3	116.8	95.6
平成20年 (2008)	653 (15.9)	2,574 (62.7)	875 (21.3)	4,102 (100.0)	106.2	116.1	93.9
平成21年 (2009)	620 (15.5)	2,515 (62.7)	875 (21.8)	4,010 (100.0)	100.8	113.4	93.9
平成22年 (2010)	621 (15.8)	2,457 (62.5)	852 (21.7)	3,930 (100.0)	101.0	110.8	91.4
平成23年 (2011)	630 (16.1)	2,453 (62.5)	840 (21.4)	3,923 (100.0)	102.4	110.6	90.1
平成24年 (2012)	643 (16.4)	2,442 (62.2)	839 (21.4)	3,924 (100.0)	104.6	110.1	90.0
平成25年 (2013)	658 (16.6)	2,480 (62.4)	835 (21.0)	3,973 (100.0)	107.0	111.8	89.6
平成26年 (2014)	686 (16.9)	2,518 (62.0)	855 (21.1)	4,059 (100.0)	111.5	113.5	91.7
平成27年 (2015)	682 (16.7)	2,533 (61.9)	874 (21.4)	4,089 (100.0)	110.9	114.2	93.8

出典：「竹富町住民基本台帳」（各年3月末時点の人口） 竹富町総務課

■人口動態(人口増減、自然増減、社会増減の推移)

■自然増減(出生数-死亡数)の推移

■社会増減(転入-転出)の推移

年	人口 ① 〔人〕	人口増減 ②=③+④ 〔人〕	自然増減 ③=⑤-⑥ 〔人〕	社会増減 ④=⑦-⑧ 〔人〕	出生数 ⑤ 〔人〕	死亡数 ⑥ 〔人〕	転入数 ⑦ 〔人〕	転出数 ⑧ 〔人〕
平成2年(1990)	3,398	△27	12	△39	40	28	331	370
平成3年(1991)	3,396	△2	22	△24	43	21	329	353
平成4年(1992)	3,403	7	△1	8	30	31	357	349
平成5年(1995)	3,413	10	4	6	38	34	370	364
平成6年(1994)	3,444	31	5	26	36	31	406	380
平成7年(1995)	3,438	△6	△4	△2	37	41	400	402
平成8年(1996)	3,455	17	16	1	38	22	385	384
平成9年(1997)	3,462	7	△4	11	29	33	416	405
平成10年(1998)	3,450	△12	4	△16	30	26	395	411
平成11年(1999)	3,490	40	14	26	45	31	397	371
平成12年(2000)	3,562	72	5	67	38	33	461	394
平成13年(2001)	3,616	54	28	26	50	22	434	408
平成14年(2002)	3,679	63	7	56	39	32	431	375
平成15年(2003)	3,765	86	△3	89	41	44	497	408
平成16年(2004)	3,889	124	18	106	51	33	544	438
平成17年(2005)	4,036	147	6	141	49	43	612	471
平成18年(2006)	4,230	133	26	107	63	37	608	501
平成19年(2007)	4,226	△16	18	△34	63	45	560	594
平成20年(2008)	4,159	△51	16	△67	64	48	542	609
平成21年(2009)	4,063	△92	26	△118	65	39	498	616
平成22年(2010)	3,930	△80	9	△89	53	44	412	501
平成23年(2011)	3,957	△7	27	△34	60	33	452	486
平成24年(2012)	3,955	1	25	△24	54	29	445	469
平成25年(2013)	3,973	49	8	41	53	45	503	462
平成26年(2014)	4,059	86	12	74	47	35	534	460

出典：「竹富町住民基本台帳」（3月末時点の人口） 竹富町総務課

■ 5 歳階級別の社会増減〔平成26(2014)年～平成27(2015)年〕

年齢階級	純移動数 ①=②-③〔人〕	転入者数 ②〔人〕	転出者数 ③〔人〕
0～4歳	10	30	20
5～9歳	14	33	19
10～14歳	3	18	15
15～19歳	△24	8	32
20～24歳	33	92	59
25～29歳	33	119	86
30～34歳	13	70	57
35～39歳	1	56	55
40～44歳	2	44	42
45～49歳	2	26	24
50～54歳	3	16	13
55～59歳	△4	8	12
60～64歳	2	8	6
65～69歳	△4	2	6
70～74歳	4	6	2
75～79歳	△1	2	3
80～84歳	0	1	1
85～89歳	△3	1	4
90歳以上	△1	1	2

出典：「住民基本台帳人口移動報告」 竹富町総務課

■ 人口ピラミッド〔平成27(2015)年3月末現在〕

年齢階級	男性〔人〕	女性〔人〕	合計〔人〕
0～4歳	121	125	246
5～9歳	139	114	253
10～14歳	97	86	183
15～19歳	51	53	104
20～24歳	59	65	124
25～29歳	116	121	237
30～34歳	171	157	328
35～39歳	167	159	326
40～44歳	146	162	308
45～49歳	126	95	221
50～54歳	145	85	230
55～59歳	198	138	336
60～64歳	198	121	319
65～69歳	120	74	194
70～74歳	83	57	140
75～79歳	63	77	140
80～84歳	56	99	155
85～89歳	49	110	159
90～94歳	19	44	63
95～99歳	6	12	18
100歳以上	0	5	5
合 計	2,130	1,959	4,089

出典：「竹富町住民基本台帳」（3月末時点の人口） 竹富町総務課

■ 地区別の産業別就業者数〔平成22(2010)年〕

	区 分	竹富島 〔人(%)〕	黒島 〔人(%)〕	小浜島 〔人(%)〕	新城島 〔人(%)〕	西表島 〔人(%)〕	鳩間島 〔人(%)〕	波照間島 〔人(%)〕	合 計 〔人(%)〕
第1次産業	小計	9 (5.7)	55 (45.1)	54 (14.8)	4 (80.0)	189 (14.3)	0 (0.0)	96 (35.4)	407 (17.9)
	農業	3 (1.9)	53 (43.4)	46 (12.6)	4 (80.0)	171 (12.9)	0 (0.0)	92 (33.9)	369 (16.3)
	林業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.1)
	漁業	6 (3.8)	2 (1.6)	8 (2.2)	0 (0.0)	15 (1.1)	0 (0.0)	4 (1.5)	35 (1.5)
第2次産業	小計	6 (3.8)	3 (2.5)	11 (3.0)	0 (0.0)	105 (7.9)	0 (0.0)	25 (9.2)	150 (6.6)
	鉱業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	建設業	2 (1.3)	0 (0.0)	2 (0.5)	0 (0.0)	70 (5.3)	0 (0.0)	1 (0.4)	75 (3.3)
	製造業	4 (2.5)	3 (2.5)	9 (2.5)	0 (0.0)	35 (2.6)	0 (0.0)	24 (8.9)	75 (3.3)
第3次産業	小計	142 (90.4)	64 (52.5)	301 (82.2)	1 (20.0)	1,030 (77.8)	23 (100.0)	150 (55.3)	1,771 (75.4)
	電気・ガス・ 熱供給・水道業	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (3.0)	9 (0.4)
	情報 通信業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.1)
	運輸業	33 (21.0)	3 (2.5)	13 (3.3)	0 (0.0)	140 (10.6)	1 (4.3)	10 (3.7)	200 (8.8)
	卸売 ・小売業	10 (6.4)	3 (2.5)	16 (4.4)	0 (0.0)	90 (6.8)	1 (4.3)	20 (7.4)	140 (6.2)
	金融 ・保険業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	不動産業	5 (3.2)	2 (1.6)	1 (0.3)	0 (0.0)	23 (1.7)	0 (0.0)	1 (0.4)	32 (1.4)
	学術研究・専門・技 術サービス業	0 (0.0)	2 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (1.1)
	飲食店・宿 泊業	59 (37.6)	20 (16.4)	173 (47.3)	0 (0.0)	320 (24.2)	10 (43.5)	43 (15.9)	625 (27.6)
	生活関連サービス業、 娯楽業	7 (4.5)	5 (4.1)	24 (6.6)	1 (20.0)	140 (10.6)	0 (0.0)	5 (1.8)	182 (8.0)
	教育、学習支 援業	6 (3.8)	14 (11.5)	15 (4.1)	0 (0.0)	109 (8.2)	9 (39.1)	22 (8.1)	175 (7.7)
	医療、福祉	6 (3.8)	5 (4.1)	7 (1.9)	0 (0.0)	56 (4.2)	0 (0.0)	12 (4.4)	86 (3.8)
	複合 サービス事業	0 (0.0)	3 (2.5)	1 (0.3)	0 (0.0)	9 (0.7)	1 (4.3)	3 (1.1)	17 (0.7)
	サービス業	11 (7.0)	2 (1.6)	18 (4.9)	0 (0.0)	30 (2.3)	0 (0.0)	2 (0.7)	63 (2.8)
	公務	1 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.5)	0 (0.0)	12 (0.9)	0 (0.0)	4 (1.5)	19 (0.8)
	分類不能	3 (1.9)	5 (4.1)	31 (8.5)	0 (0.0)	77 (5.8)	1 (4.3)	20 (7.4)	137 (6.0)
	総 数	157 (100.0)	122 (100.0)	366 (100.0)	5 (100.0)	1,324 (100.0)	23 (100.0)	271 (100.0)	2,268 (100.0)

出典：「国勢調査」 総務省

■平成2(1990)年の人口を100とした場合の地区別の人口推移

年	竹富島	黒島	小浜島	新城島	西表島 東部	西表島 西部	鳩間島	波照間島	合 計
平成2年(1990)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成3年(1991)	93.9	102.5	104.5	155.6	100.6	100.6	101.8	97.1	100.2
平成4年(1992)	89.6	100.5	101.9	200.0	100.2	103.3	101.8	93.0	99.4
平成5年(1995)	93.9	105.9	98.4	155.6	99.7	105.6	94.6	91.1	99.5
平成6年(1994)	97.5	104.5	98.4	122.2	102.6	108.9	87.5	90.5	100.9
平成7年(1995)	95.4	105.9	97.7	100.0	106.8	109.3	76.8	87.0	100.8
平成8年(1996)	92.5	104.0	94.4	100.0	114.1	109.7	76.8	85.7	101.3
平成9年(1997)	98.6	103.0	96.9	111.1	117.7	106.1	82.1	84.1	101.5
平成10年(1998)	100.0	102.5	94.7	100.0	118.9	106.0	78.6	82.9	101.1
平成11年(1999)	98.9	104.5	93.4	55.6	122.1	109.3	78.6	82.2	102.3
平成12年(2000)	100.7	107.9	97.1	66.7	122.8	112.8	87.5	81.5	104.4
平成13年(2001)	99.3	108.4	97.9	66.7	126.3	113.9	89.3	84.0	106.0
平成14年(2002)	107.1	105.4	101.2	55.6	126.9	116.1	85.7	85.1	107.8
平成15年(2003)	106.8	109.9	106.8	77.8	130.2	118.3	96.4	84.8	110.3
平成16年(2004)	112.9	114.4	116.5	77.8	133.3	120.8	94.6	85.6	114.0
平成17年(2005)	122.1	113.9	113.2	77.8	139.2	128.5	107.1	87.5	118.3
平成18年(2006)	118.6	107.9	128.0	88.9	141.4	135.0	130.4	85.7	122.2
平成19年(2007)	122.1	105.9	131.1	122.2	142.9	130.4	123.2	85.9	121.7
平成20年(2008)	115.0	109.9	132.7	111.1	140.7	130.9	107.1	81.9	120.2
平成21年(2009)	116.1	108.4	131.7	144.4	134.1	129.2	91.1	79.0	117.5
平成22年(2010)	111.8	102.0	120.6	144.4	136.6	129.0	75.0	78.0	115.2
平成23年(2011)	112.5	101.5	118.3	133.3	133.0	131.4	73.2	78.7	115.0
平成24年(2012)	118.9	103.5	113.4	155.6	131.7	132.6	92.9	76.7	115.0
平成25年(2013)	123.6	99.5	120.4	188.9	131.5	133.7	105.4	75.2	116.4
平成26年(2014)	125.7	98.0	129.8	166.7	131.2	136.1	92.9	78.6	119.0
平成27年(2015)	129.3	96.5	132.9	155.6	132.7	138.2	85.7	75.9	119.8

出典：「竹富町住民基本台帳」（3月末時点の人口） 竹富町総務課

※各地区の人口動向は、参2-15『各地区の人口動向及び人口推計』を参照

■ パターン別の将来人口推計

《社人研(パターン①)》総計

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	265	205	177	150	133	124	117	107	101	94	82
5～9歳	189	222	182	157	132	118	110	104	94	90	83
10～14歳	167	149	189	155	133	113	100	94	88	80	77
15～19歳	94	97	105	133	109	94	80	70	66	62	56
20～24歳	132	87	93	101	128	105	90	77	67	63	59
25～29歳	253	158	151	115	121	148	122	105	90	78	73
30～34歳	321	244	154	152	114	119	145	119	103	88	76
35～39歳	324	295	230	145	143	108	112	136	112	97	83
40～44歳	241	280	266	208	132	129	97	101	122	102	87
45～49歳	233	215	257	245	192	122	119	90	94	112	94
50～54歳	332	238	220	261	248	195	126	122	93	97	115
55～59歳	332	323	232	215	256	243	191	123	120	91	95
60～64歳	195	324	315	228	213	253	240	188	121	118	90
65～69歳	150	181	304	297	215	202	241	228	178	115	113
70～74歳	156	140	169	282	278	201	191	229	216	168	109
75～79歳	184	138	124	151	252	250	181	172	208	196	151
80～84歳	207	166	126	114	139	224	225	162	155	189	177
85～89歳	100	167	137	106	97	118	185	187	134	129	159
90歳以上	55	90	146	163	156	149	162	208	238	224	213
総計	3,930	3,719	3,577	3,378	3,191	3,015	2,834	2,622	2,400	2,193	1,992

《社人研(パターン①)》男性

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	141	105	91	77	68	64	60	55	52	48	42
5～9歳	104	114	91	79	66	59	55	52	47	45	41
10～14歳	88	77	93	74	64	54	48	45	42	38	37
15～19歳	47	49	53	64	51	44	37	33	31	29	26
20～24歳	67	42	46	50	60	48	41	35	31	29	27
25～29歳	136	81	68	57	59	70	56	48	41	36	34
30～34歳	163	139	83	75	60	61	72	58	50	42	37
35～39歳	151	151	132	79	71	57	58	68	55	47	40
40～44歳	128	134	138	121	73	65	52	53	62	51	43
45～49歳	138	120	128	132	115	70	62	50	51	59	49
50～54歳	196	147	128	136	139	121	76	67	54	55	64
55～59歳	211	187	141	123	131	134	117	73	65	52	53
60～64歳	122	205	181	138	122	129	132	115	72	64	51
65～69歳	87	111	189	167	128	113	120	123	107	67	60
70～74歳	75	76	99	169	150	115	102	108	111	97	61
75～79歳	76	62	64	85	145	129	99	88	93	96	84
80～84歳	71	60	50	52	70	119	107	82	73	77	79
85～89歳	31	49	43	36	38	52	89	80	61	54	57
90歳以上	15	22	35	39	38	38	47	71	79	73	66
総計	2,047	1,931	1,853	1,753	1,648	1,542	1,430	1,304	1,177	1,059	951

《社人研(パターン①)》女性

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	124	100	86	73	65	60	57	52	49	46	40
5～9歳	85	108	91	78	66	59	55	52	47	45	42
10～14歳	79	72	96	81	69	59	52	49	46	42	40
15～19歳	47	48	52	69	58	50	43	37	35	33	30
20～24歳	65	45	47	51	68	57	49	42	36	34	32
25～29歳	117	77	83	58	62	78	66	57	49	42	39
30～34歳	158	105	71	77	54	58	73	61	53	46	39
35～39歳	173	144	98	66	72	51	54	68	57	50	43
40～44歳	113	146	128	87	59	64	45	48	60	51	44
45～49歳	95	95	129	113	77	52	57	40	43	53	45
50～54歳	136	91	92	125	109	74	50	55	39	42	51
55～59歳	121	136	91	92	125	109	74	50	55	39	42
60～64歳	73	119	134	90	91	124	108	73	49	54	39
65～69歳	63	70	115	130	87	89	121	105	71	48	53
70～74歳	81	64	70	113	128	86	89	121	105	71	48
75～79歳	108	76	60	66	107	121	82	84	115	100	67
80～84歳	136	106	76	62	69	105	118	80	82	112	98
85～89歳	69	118	94	70	59	66	96	107	73	75	102
90歳以上	40	68	111	124	118	111	115	137	159	151	147
総計	1,883	1,788	1,724	1,625	1,543	1,473	1,404	1,318	1,223	1,134	1,041

《封鎖人口（パターン②）》総計

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	－	246	195	150	144	171	198	198	177	157	155
5～9歳	－	253	246	195	150	144	171	198	198	177	157
10～14歳	－	183	253	246	195	150	144	171	198	198	177
15～19歳	－	104	183	253	246	195	150	144	171	198	198
20～24歳	－	124	104	183	253	246	195	150	144	171	198
25～29歳	－	237	124	104	183	253	246	195	150	144	171
30～34歳	－	328	237	124	104	183	253	246	195	150	144
35～39歳	－	326	327	236	124	104	183	252	245	195	150
40～44歳	－	308	324	325	235	124	104	182	251	244	194
45～49歳	－	221	305	321	322	233	123	104	181	249	242
50～54歳	－	230	218	302	317	318	230	122	103	179	246
55～59歳	－	336	225	214	296	311	313	227	120	102	176
60～64歳	－	319	326	219	209	289	304	306	221	117	99
65～69歳	－	194	305	313	210	201	280	294	296	214	113
70～74歳	－	140	183	288	296	199	192	268	280	282	204
75～79歳	－	140	127	168	265	273	184	178	250	261	262
80～84歳	－	155	121	109	145	230	239	161	156	222	231
85～89歳	－	159	123	96	87	116	185	193	130	127	182
90歳以上	－	86	125	130	120	111	122	164	191	171	160
総計	－	4,089	4,051	3,976	3,901	3,851	3,816	3,753	3,657	3,558	3,459

《封鎖人口（パターン②）》男性

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	－	121	96	74	71	84	97	97	87	77	76
5～9歳	－	139	121	96	74	71	84	97	97	87	77
10～14歳	－	97	139	121	96	74	71	84	97	97	87
15～19歳	－	51	97	139	121	96	74	71	84	97	97
20～24歳	－	59	51	97	139	121	96	74	71	84	97
25～29歳	－	116	59	51	97	139	121	96	74	71	84
30～34歳	－	171	116	59	51	97	139	121	96	74	71
35～39歳	－	167	170	115	59	51	97	138	120	96	74
40～44歳	－	146	166	169	114	59	51	96	137	119	95
45～49歳	－	126	144	164	167	113	58	51	95	136	118
50～54歳	－	145	124	142	161	164	111	57	50	94	134
55～59歳	－	198	141	121	138	157	160	109	56	49	92
60～64歳	－	198	190	136	117	133	152	155	105	54	47
65～69歳	－	120	187	180	129	111	127	145	148	100	51
70～74歳	－	83	111	173	167	120	104	119	135	138	93
75～79歳	－	63	73	99	155	150	108	94	107	122	124
80～84歳	－	56	51	59	81	128	125	90	78	89	102
85～89歳	－	49	40	37	44	61	97	94	68	59	67
90歳以上	－	25	34	35	35	39	50	74	84	76	68
総計	－	2, 130	2, 110	2, 067	2, 016	1, 968	1, 922	1, 862	1, 789	1, 719	1, 654

《封鎖人口（パターン②）》女性

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	－	125	99	76	73	87	101	101	90	80	79
5～9歳	－	114	125	99	76	73	87	101	101	90	80
10～14歳	－	86	114	125	99	76	73	87	101	101	90
15～19歳	－	53	86	114	125	99	76	73	87	101	101
20～24歳	－	65	53	86	114	125	99	76	73	87	101
25～29歳	－	121	65	53	86	114	125	99	76	73	87
30～34歳	－	157	121	65	53	86	114	125	99	76	73
35～39歳	－	159	157	121	65	53	86	114	125	99	76
40～44歳	－	162	158	156	121	65	53	86	114	125	99
45～49歳	－	95	161	157	155	120	65	53	86	113	124
50～54歳	－	85	94	160	156	154	119	65	53	85	112
55～59歳	－	138	84	93	158	154	153	118	64	53	84
60～64歳	－	121	136	83	92	156	152	151	116	63	52
65～69歳	－	74	118	133	81	90	153	149	148	114	62
70～74歳	－	57	72	115	129	79	88	149	145	144	111
75～79歳	－	77	54	69	110	123	76	84	143	139	138
80～84歳	－	99	70	50	64	102	114	71	78	133	129
85～89歳	－	110	83	59	43	55	88	99	62	68	115
90歳以上	－	61	91	95	85	72	72	90	107	95	92
総計	－	1, 959	1, 941	1, 909	1, 885	1, 883	1, 894	1, 891	1, 868	1, 839	1, 805

《竹富町独自の推計(パターン③)》総計

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	－	246	240	216	206	224	260	284	284	272	270
5～9歳	－	253	244	239	215	205	223	259	282	282	270
10～14歳	－	183	237	233	229	205	195	213	247	269	269
15～19歳	－	104	123	182	179	176	158	150	164	190	207
20～24歳	－	124	120	136	201	199	196	175	167	182	211
25～29歳	－	237	198	170	193	286	283	279	249	238	259
30～34歳	－	328	295	232	199	226	335	331	327	292	279
35～39歳	－	326	357	313	247	211	240	357	351	347	310
40～44歳	－	308	324	356	311	245	210	239	356	348	344
45～49歳	－	221	297	316	348	303	238	204	233	348	339
50～54歳	－	230	227	301	321	354	308	242	207	237	354
55～59歳	－	336	237	231	307	328	361	315	248	212	242
60～64歳	－	319	331	233	227	302	324	356	311	245	209
65～69歳	－	194	308	319	226	220	293	314	345	302	238
70～74歳	－	140	179	286	298	211	207	277	296	325	285
75～79歳	－	140	124	161	259	271	192	189	254	271	297
80～84歳	－	155	117	103	135	219	231	163	161	219	233
85～89歳	－	159	121	92	80	106	174	185	130	129	178
90歳以上	－	86	120	123	111	98	105	142	168	152	145
総計	－	4,089	4,199	4,242	4,292	4,389	4,533	4,674	4,780	4,860	4,939

《竹富町独自の推計(パターン③)》男性

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	－	121	118	106	101	110	128	140	140	134	133
5～9歳	－	139	122	119	107	102	111	129	141	141	135
10～14歳	－	97	132	118	115	103	98	107	124	136	136
15～19歳	－	51	64	100	89	87	78	74	81	94	103
20～24歳	－	59	55	67	105	94	92	82	78	85	99
25～29歳	－	116	93	77	94	148	132	129	115	110	120
30～34歳	－	171	144	109	90	110	173	154	151	135	129
35～39歳	－	167	190	155	118	97	119	187	166	163	146
40～44歳	－	146	173	195	159	121	100	122	192	170	167
45～49歳	－	126	145	172	194	158	120	99	121	191	169
50～54歳	－	145	132	149	177	200	163	124	102	125	197
55～59歳	－	198	147	132	149	178	201	164	125	103	126
60～64歳	－	198	195	144	129	146	175	198	161	123	101
65～69歳	－	120	191	187	139	124	141	169	191	156	119
70～74歳	－	83	107	172	169	126	113	128	154	174	142
75～79歳	－	63	71	93	151	149	111	100	113	136	154
80～84歳	－	56	47	55	73	119	118	88	79	89	108
85～89歳	－	49	40	34	40	54	89	89	66	59	67
90歳以上	－	25	29	29	27	29	37	56	65	58	52
総計	－	2, 130	2, 195	2, 213	2, 226	2, 255	2, 299	2, 339	2, 365	2, 382	2, 403

《竹富町独自の推計(パターン③)》女性

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～4歳	－	125	122	110	105	114	132	144	144	138	137
5～9歳	－	114	122	120	108	103	112	130	141	141	135
10～14歳	－	86	105	115	114	102	97	106	123	133	133
15～19歳	－	53	59	82	90	89	80	76	83	96	104
20～24歳	－	65	65	69	96	105	104	93	89	97	112
25～29歳	－	121	105	93	99	138	151	150	134	128	139
30～34歳	－	157	151	123	109	116	162	177	176	157	150
35～39歳	－	159	167	158	129	114	121	170	185	184	164
40～44歳	－	162	151	161	152	124	110	117	164	178	177
45～49歳	－	95	152	144	154	145	118	105	112	157	170
50～54歳	－	85	95	152	144	154	145	118	105	112	157
55～59歳	－	138	90	99	158	150	160	151	123	109	116
60～64歳	－	121	136	89	98	156	149	158	150	122	108
65～69歳	－	74	117	132	87	96	152	145	154	146	119
70～74歳	－	57	72	114	129	85	94	149	142	151	143
75～79歳	－	77	53	68	108	122	81	89	141	135	143
80～84歳	－	99	70	48	62	100	113	75	82	130	125
85～89歳	－	110	81	58	40	52	85	96	64	70	111
90歳以上	－	61	91	94	84	69	68	86	103	94	93
総計	－	1, 959	2, 004	2, 029	2, 066	2, 134	2, 234	2, 335	2, 415	2, 478	2, 536

■ 年齢 3 区分別の人口推計〔割合〕

年	社人研(パターン①)			封鎖人口(パターン②)			竹富町独自の推計(パターン③)		
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成27年 (2015)	15.5%	60.8%	23.7%	16.7%	61.9%	21.4%	16.7%	61.9%	21.4%
平成32年 (2020)	15.3%	56.6%	28.1%	17.1%	58.6%	24.3%	17.2%	59.8%	23.1%
平成37年 (2025)	13.7%	53.4%	32.9%	14.9%	57.4%	27.8%	16.2%	58.2%	25.6%
平成42年 (2030)	12.5%	51.9%	35.6%	12.5%	58.7%	28.8%	15.1%	59.0%	25.8%
平成47年 (2035)	11.8%	50.3%	37.9%	12.1%	58.6%	29.3%	14.4%	59.9%	25.6%
平成52年 (2040)	11.5%	46.6%	41.8%	13.4%	55.1%	31.5%	15.0%	58.5%	26.5%
平成57年 (2045)	11.6%	43.1%	45.2%	15.1%	51.4%	33.5%	16.2%	56.7%	27.2%
平成62年 (2050)	11.8%	41.2%	47.0%	15.7%	48.7%	35.6%	17.0%	54.7%	28.3%
平成67年 (2055)	12.0%	41.4%	46.6%	15.0%	49.2%	35.9%	16.9%	54.3%	28.8%
平成72年 (2060)	12.1%	41.6%	46.3%	14.1%	52.6%	33.3%	16.4%	55.8%	27.9%

■ 年齢 3 区分別の人口推計〔各区分の人口〕

年	社人研(パターン①) 〔人〕				封鎖人口(パターン②) 〔人〕				竹富町独自の推計(パターン③) 〔人〕			
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	合計	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	合計	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	合計
平成27年 (2015)	576	2,261	882	3,719	682	2,533	874	4,089	682	2,533	874	4,089
平成32年 (2020)	548	2,023	1,006	3,577	694	2,373	984	4,051	721	2,509	969	4,199
平成37年 (2025)	462	1,803	1,113	3,378	591	2,281	1,104	3,976	688	2,470	1,084	4,242
平成42年 (2030)	398	1,656	1,137	3,191	489	2,289	1,123	3,901	650	2,533	1,109	4,292
平成47年 (2035)	355	1,516	1,144	3,015	465	2,256	1,130	3,851	634	2,630	1,125	4,389
平成52年 (2040)	327	1,322	1,185	2,834	513	2,101	1,202	3,816	678	2,653	1,202	4,533
平成57年 (2045)	305	1,131	1,186	2,622	567	1,928	1,258	3,753	756	2,648	1,270	4,674
平成62年 (2050)	283	988	1,129	2,400	573	1,781	1,303	3,657	813	2,613	1,354	4,780
平成67年 (2055)	264	908	1,021	2,193	532	1,749	1,277	3,558	823	2,639	1,398	4,860
平成72年 (2060)	242	828	922	1,992	489	1,818	1,152	3,459	809	2,754	1,376	4,939

■各地区の人口動向及び人口推計〔平成2(1990)年～平成72(2060)年〕《人口動向》

年	竹富島	黒島	小浜島	新城島	西表島東部	西表島西部	鳩間島	波照間島	合 計
平成2年(1990)	280	202	486	9	666	1,027	56	686	3,412
平成3年(1991)	263	207	508	14	670	1,033	57	666	3,418
平成4年(1992)	251	203	495	18	667	1,061	57	638	3,390
平成5年(1995)	263	214	478	14	664	1,085	53	625	3,396
平成6年(1994)	273	211	478	11	683	1,118	49	621	3,444
平成7年(1995)	267	214	475	9	711	1,122	43	597	3,438
平成8年(1996)	259	210	459	9	760	1,127	43	588	3,455
平成9年(1997)	276	208	471	10	784	1,090	46	577	3,462
平成10年(1998)	280	207	460	9	792	1,089	44	569	3,450
平成11年(1999)	277	211	454	5	813	1,122	44	564	3,490
平成12年(2000)	282	218	472	6	818	1,158	49	559	3,562
平成13年(2001)	278	219	476	6	841	1,170	50	576	3,616
平成14年(2002)	300	213	492	5	845	1,192	48	584	3,679
平成15年(2003)	299	222	519	7	867	1,215	54	582	3,765
平成16年(2004)	316	231	566	7	888	1,241	53	587	3,889
平成17年(2005)	342	230	550	7	927	1,320	60	600	4,036
平成18年(2006)	332	218	622	8	942	1,386	73	588	4,169
平成19年(2007)	342	214	637	11	952	1,339	69	589	4,153
平成20年(2008)	322	222	645	10	937	1,344	60	562	4,102
平成21年(2009)	325	219	640	13	893	1,327	51	542	4,010
平成22年(2010)	313	206	586	13	910	1,325	42	535	3,930
平成23年(2011)	315	205	575	12	886	1,349	41	540	3,923
平成24年(2012)	333	209	551	14	877	1,362	52	526	3,924
平成25年(2013)	346	201	585	17	876	1,373	59	516	3,973
平成26年(2014)	352	198	631	15	874	1,398	52	539	4,059
平成27年(2015)	362	195	646	14	884	1,419	48	521	4,089

出典：「竹富町住民基本台帳」（3月末時点の人口） 竹富町総務課

《人口推計》

年	竹富島	黒島	小浜島	新城島	西表島東部	西表島西部	鳩間島	波照間島	合 計
平成27年(2015)	362	195	646	14	884	1,419	48	521	4,089
平成32年(2020)	360	204	644	12	983	1,462	52	482	4,199
平成37年(2025)	369	198	660	12	1,006	1,500	51	446	4,242
平成42年(2030)	378	193	677	12	1,031	1,537	51	413	4,292
平成47年(2035)	391	190	701	13	1,067	1,591	50	386	4,389
平成52年(2040)	408	189	733	13	1,114	1,662	51	363	4,533
平成57年(2045)	425	188	764	14	1,160	1,731	51	341	4,674
平成62年(2050)	439	186	789	14	1,197	1,788	51	316	4,780
平成67年(2055)	450	183	810	14	1,227	1,834	51	291	4,860
平成72年(2060)	461	180	830	14	1,257	1,880	51	266	4,939

■未婚率〔平成22(2010)年〕

	竹富町			八重山郡			沖縄県		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
未婚率	37.3%	40.5%	33.9%	39.6%	43.2%	36.0%	43.7%	47.8%	39.7%
有配偶率	48.4%	49.0%	47.7%	47.2%	48.0%	46.3%	43.8%	44.4%	43.1%

出典：「国勢調査」 総務省

【参考】年齢階級別の未婚率の推移〔竹富町〕

	平成12(2000)年			平成17(2005)年			平成22(2010)年		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
15～19歳	93.8%	95.0%	92.0%	94.6%	96.2%	93.3%	96.7%	94.1%	100.0%
20～24歳	87.9%	89.6%	86.2%	85.2%	86.2%	84.4%	84.1%	82.4%	85.5%
25～29歳	68.0%	74.3%	63.7%	63.6%	61.1%	65.6%	64.3%	58.9%	69.3%
30～34歳	45.0%	51.0%	40.3%	45.3%	46.6%	44.2%	37.2%	40.9%	33.5%
35～39歳	12.8%	21.1%	5.0%	30.3%	32.7%	28.1%	29.9%	35.5%	24.9%
40～44歳	23.1%	32.0%	8.8%	22.1%	27.7%	16.0%	21.6%	26.5%	16.5%
45～49歳	15.8%	21.9%	6.3%	18.6%	26.6%	5.9%	19.6%	25.0%	11.9%
(参考)15～49歳	—	—	—	—	—	—	40.9%	42.5%	39.4%

出典：「国勢調査」 総務省

■年齢階級別の有配偶率の推移〔竹富町〕

	平成12(2000)年			平成17(2005)年			平成22(2010)年		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
15～19歳	6.2%	5.0%	8.0%	5.4%	3.8%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
20～24歳	11.4%	10.4%	12.3%	13.5%	12.9%	14.1%	6.6%	8.8%	4.8%
25～29歳	30.4%	24.8%	34.2%	35.0%	36.4%	33.9%	32.3%	36.4%	28.6%
30～34歳	53.6%	46.9%	58.9%	51.6%	51.1%	51.9%	55.1%	47.8%	62.2%
35～39歳	80.5%	73.7%	87.0%	63.5%	61.3%	65.6%	62.7%	58.1%	66.9%
40～44歳	71.2%	63.5%	83.3%	64.3%	54.6%	74.8%	71.1%	64.1%	78.3%
45～49歳	73.3%	67.7%	82.0%	70.7%	65.1%	79.8%	66.9%	59.0%	78.2%
(参考)15～49歳	55.3%	51.2%	59.8%	49.0%	47.6%	50.4%	51.3%	48.0%	54.5%

出典：「国勢調査」 総務省

■ 沖縄県の年齢階級別有配偶出生率の推移

[単位：その年に結婚している女性人口千人に対するその年の出生数]

	昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)
15～19歳	630	690	710	790	850	800	1,000
20～24歳	400	410	410	400	430	430	450
25～29歳	270	280	250	260	270	260	300
30～34歳	140	150	140	150	170	170	190
35～39歳	50	60	60	60	60	80	100
40～44歳	10	10	10	10	10	10	20
45～50歳	0	0	0	0	0	0	0

出典：「沖縄県人口増加計画(改訂版)」沖縄県をもとに作成

原典：「国勢調査」総務省、「人口動態調査」厚生労働省

■ 沖縄県の人口と社会増減及び全国の有効求人倍率の推移

年	沖縄県の人口 社会増減 〔千人〕	全国有効 求人倍率 (年平均) 〔倍〕	年	沖縄県の人口 社会増減 〔千人〕	全国有効 求人倍率 (年平均) 〔倍〕	年	沖縄県の人口 社会増減 〔千人〕	全国有効 求人倍率 (年平均) 〔倍〕
昭和48年 (1973)	19,434	1.76	昭和61年 (1986)	594	0.62	平成11年 (1999)	1,477	0.48
昭和49年 (1974)	12,290	1.20	昭和62年 (1987)	△2,398	0.70	平成12年 (2000)	1,943	0.59
昭和50年 (1975)	8,430	0.61	昭和63年 (1988)	△3,597	1.01	平成13年 (2001)	355	0.59
昭和51年 (1976)	△424	0.64	平成元年 (1989)	△4,323	1.25	平成14年 (2002)	1,666	0.54
昭和52年 (1977)	△5,387	0.56	平成2年 (1990)	△4,930	1.40	平成15年 (2003)	1,102	0.64
昭和53年 (1978)	△5,295	0.56	平成3年 (1991)	△5,141	1.40	平成16年 (2004)	2,294	0.83
昭和54年 (1979)	△4,457	0.71	平成4年 (1992)	△2,459	1.08	平成17年 (2005)	2,200	0.95
昭和55年 (1980)	△4,931	0.75	平成5年 (1995)	△659	0.76	平成18年 (2006)	△623	1.06
昭和56年 (1981)	△3,715	0.68	平成6年 (1994)	1,195	0.64	平成19年 (2007)	△1,768	1.04
昭和57年 (1982)	△2,924	0.61	平成7年 (1995)	791	0.63	平成20年 (2008)	△3,418	0.88
昭和58年 (1983)	△524	0.60	平成8年 (1996)	△1,625	0.70	平成21年 (2009)	994	0.47
昭和59年 (1984)	241	0.65	平成9年 (1997)	△914	0.72	平成22年 (2010)	922	0.52
昭和60年 (1985)	714	0.68	平成10年 (1998)	171	0.53	平成23年 (2011)	2,712	0.65
						平成24年 (2012)	1,478	0.80

出典：「沖縄県人口増加計画(改訂版)」沖縄県、「一般職業紹介状況」厚生労働省

【参考】平成12(2000)年、平成17(2005)年、平成22(2010)年の未婚・有配偶者数〔竹富町〕

年齢階級	平成12(2000)年						平成17(2005)年						平成22(2010)年					
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳
15歳未満	599	599	0	0	0	—	651	651	0	0	0	—	601	601	0	0	0	0
15～19歳	65	61	4	0	0	—	56	53	3	0	0	—	30	29	0	0	0	1
20～24歳	132	116	15	0	1	—	244	208	33	0	3	—	151	127	10	0	0	14
25～29歳	247	168	75	0	4	—	354	225	124	0	5	—	269	173	87	0	5	4
30～34歳	222	100	119	0	3	—	382	173	197	0	12	—	323	120	178	1	16	8
35～39歳	195	25	157	2	10	—	310	94	197	1	13	—	324	97	203	1	13	10
40～44歳	295	68	210	2	11	—	249	55	160	1	30	—	232	50	165	2	11	4
45～49歳	329	52	241	6	27	—	311	58	220	4	22	—	245	48	164	1	26	6
50～54歳	201	28	144	6	18	—	338	47	237	14	36	—	330	54	231	10	31	4
55～59歳	153	12	109	12	18	—	242	31	163	13	30	—	339	52	231	12	37	7
60～64歳	189	15	141	14	16	—	165	15	112	16	19	—	213	29	148	14	22	0
65～69歳	213	16	160	29	8	—	174	14	128	13	13	—	141	19	88	16	13	5
70～74歳	278	8	192	64	12	—	195	8	137	42	6	—	153	12	109	17	8	7
75～79歳	156	2	103	48	2	—	243	11	158	65	5	—	165	9	97	52	3	4
80～84歳	107	0	61	41	4	—	130	0	72	53	1	—	193	8	100	78	3	4
85～89歳	75	0	41	34	0	—	69	0	27	41	1	—	77	0	30	40	2	5
90～94歳	0	0	0	0	0	—	31	1	10	19	0	—	29	0	8	18	1	2
95～99歳	0	0	0	0	0	—	6	0	0	6	0	—	10	0	2	7	0	1
100歳以上	0	0	0	0	0	—	3	0	0	3	0	—	0	0	0	0	0	0
合 計	3,523	1,296	1,779	287	138	—	4,153	1,644	1,978	291	196	—	3,825	1,428	1,851	269	191	86

出典：「国勢調査」 総務省

【参考】竹富町、八重山郡(竹富、石垣、与那国)、沖縄県の未婚・有配偶者数〔平成22(2010)年〕

年齢階級	竹富町						八重山郡						沖縄県					
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳
15歳未満	601	601	0	0	0	0	9,506	9,506	0	0	0	0	245,706	245,706	0	0	0	0
15～19歳	30	29	0	0	0	1	2,360	2,317	22	0	6	15	81,394	80,404	672	5	55	258
20～24歳	151	127	10	0	0	14	1,894	1,473	329	0	37	55	75,004	64,432	8,659	22	771	1,120
25～29歳	269	173	87	0	5	4	3,226	1,778	1,272	0	117	59	85,281	51,358	29,438	40	2,618	1,827
30～34歳	323	120	178	1	16	8	4,109	1,529	2,282	5	211	82	94,106	36,140	50,897	117	4,920	2,032
35～39歳	324	97	203	1	13	10	3,968	1,059	2,574	12	251	72	104,413	30,066	64,735	269	7,121	2,222
40～44歳	232	50	165	2	11	4	3,372	713	2,264	22	312	61	91,100	21,620	58,950	484	8,011	2,035
45～49歳	245	48	164	1	26	6	3,383	556	2,339	39	379	70	87,698	16,574	59,439	955	8,821	1,909
50～54歳	330	54	231	10	31	4	3,983	520	2,852	79	477	55	90,825	15,372	61,976	1,807	9,824	1,846
55～59歳	339	52	231	12	37	7	4,074	450	2,944	143	461	76	97,081	13,924	66,906	3,265	10,795	2,191
60～64歳	213	29	148	14	22	0	3,098	280	2,284	166	318	50	79,606	8,982	56,149	4,165	8,656	1,654
65～69歳	141	19	88	16	13	5	1,978	122	1,413	223	182	38	57,509	4,353	41,460	5,431	5,104	1,161
70～74歳	153	12	109	17	8	7	2,102	92	1,473	354	151	32	59,407	3,468	41,742	9,066	3,994	1,137
75～79歳	165	9	97	52	3	4	1,841	51	1,213	468	69	40	48,001	1,985	31,133	11,249	2,596	1,038
80～84歳	193	8	100	78	3	4	1,499	37	763	614	39	46	32,131	870	16,828	12,085	1,475	873
85～89歳	77	0	30	40	2	5	806	9	276	459	20	42	16,523	267	5,874	9,192	541	649
90～94歳	29	0	8	18	1	2	301	2	73	206	7	13	7,389	83	1,691	4,961	209	445
95～99歳	10	0	2	7	0	1	101	0	22	63	1	15	1,855	23	299	1,368	41	124
100歳以上	0	0	0	0	0	0	11	0	0	9	1	1	309	9	19	249	7	25
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	123	0	0	0	0	123	8,027	0	0	0	0	8,027
合 計	3,825	1,428	1,851	269	191	86	51,735	20,494	24,395	2,862	3,039	945	1,363,365	595,636	596,867	64,730	75,559	30,573

出典：「国勢調査」 総務省

■沖縄県の平均寿命と全国順位の推移

《男性》

平成7(1995)年			平成12(2000)年			平成17(2005)年		
順位	都道府県	平均寿命	順位	都道府県	平均寿命	順位	都道府県	平均寿命
…	全 国	77.71	…	全 国	78.79	…	全 国	79.59
1	長 野	78.90	1	長 野	79.84	1	長 野	80.88
2	福 井	78.55	2	滋 賀	79.60	2	滋 賀	80.58
3	奈 良	78.36	3	神奈川	79.52	3	福 井	80.47
4	熊 本	78.29	4	福 井	79.47	4	熊 本	80.29
5	神奈川	78.24	5	東 京	79.36	5	神奈川	80.25
6	滋 賀	78.19	6	静 岡	79.35	6	京 都	80.21
7	京 都	78.15	7	京 都	79.34	7	奈 良	80.14
8	静 岡	78.15	8	石 川	79.26	8	大 分	80.06
9	岐 阜	78.10	9	奈 良	79.25	9	山 形	79.97
10	埼 玉	78.05	10	熊 本	79.22	10	静 岡	79.95
11	千 葉	78.05	11	岡 山	79.22	11	岐 阜	79.92
12	富 山	78.03	12	富 山	79.07	12	広 島	79.91
13	愛 知	78.01	13	広 島	79.06	13	千 葉	79.88
14	香 川	77.99	14	愛 知	79.05	14	東 京	79.82
15	東 京	77.98	15	埼 玉	79.05	15	岡 山	79.77
16	石 川	77.96	16	岐 阜	79.00	16	香 川	79.73
17	大 分	77.91	17	大 分	78.99	17	愛 知	79.71
18	三 重	77.90	18	千 葉	78.95	18	石 川	79.71
19	山 梨	77.90	19	香 川	78.91	19	富 山	79.71
20	群 馬	77.86	20	三 重	78.90	20	宮 崎	79.70
21	岡 山	77.80	21	山 梨	78.89	21	三 重	79.68
22	広 島	77.76	22	群 馬	78.78	22	宮 城	79.65
23	宮 城	77.71	23	新 潟	78.75	23	埼 玉	79.62
24	山 形	77.69	24	兵 庫	78.72	24	兵 庫	79.59
25	新 潟	77.66	25	沖 縄	78.64	25	山 梨	79.54
26	沖 縄	77.64	26	宮 崎	78.62	26	島 根	79.51
27	兵 庫	77.57	27	宮 城	78.60	27	新 潟	79.47
28	北海道	77.55	28	山 形	78.54	28	徳 島	79.44
29	島 根	77.54	29	島 根	78.49	29	群 馬	79.40
30	宮 崎	77.42	30	茨 城	78.35	30	沖 縄	79.40
31	鳥 取	77.39	31	福 岡	78.35	31	福 岡	79.30
32	愛 媛	77.30	32	佐 賀	78.31	32	佐 賀	79.28
33	長 崎	77.21	33	北海道	78.30	33	鹿児島	79.21
34	福岡	77.21	34	鳥 取	78.26	34	北海道	79.17
35	茨 城	77.20	35	愛 媛	78.25	35	愛 媛	79.13
36	徳 島	77.19	36	大 阪	78.21	36	茨 城	79.09
37	福 島	77.18	37	長 崎	78.13	37	和歌山	79.07
38	栃 木	77.14	38	山 口	78.11	38	栃 木	79.06
39	岩 手	77.09	39	徳 島	78.09	39	山 口	79.03
40	山 口	77.03	40	栃 木	78.01	40	鳥 取	79.01
41	和歌山	77.01	41	和歌山	77.97	41	大 阪	78.99
42	鹿児島	76.98	42	福 島	77.97	42	高 知	78.91
43	大 阪	76.97	43	鹿児島	77.97	43	長 崎	78.88
44	佐 賀	76.95	44	高 知	77.93	44	福 島	78.84
45	高 知	76.85	45	岩 手	77.81	45	岩 手	78.53
46	秋 田	76.81	46	秋 田	77.44	46	秋 田	78.22
47	青 森	75.67	47	青 森	76.27	47	青 森	77.28

出典：「都道府県別生命表」厚生労働省

《女性》

平成7(1995)年			平成12(2000)年			平成17(2005)年		
順位	都道府県	平均寿命	順位	都道府県	平均寿命	順位	都道府県	平均寿命
…	全 国	84.62	…	全 国	85.75	…	全 国	86.35
1	沖 縄	86.01	1	沖 縄	86.88	1	長 野	87.18
2	福 井	85.39	2	島 根	86.57	2	島 根	87.07
3	長 野	85.31	3	熊 本	86.54	3	沖 縄	87.02
4	熊 本	85.30	4	岡 山	86.49	4	熊 本	86.98
5	島 根	85.30	5	長 野	86.48	5	新 潟	86.96
6	岡 山	85.25	6	石 川	86.46	6	広 島	86.94
7	富 山	85.24	7	富 山	86.32	7	福 井	86.94
8	山 梨	85.21	8	鳥 取	86.27	8	岡 山	86.93
9	新 潟	85.19	9	新 潟	86.27	9	大 分	86.91
10	石 川	85.18	10	広 島	86.27	10	富 山	86.75
11	宮 崎	85.09	11	福 井	86.25	11	石 川	86.75
12	広 島	85.09	12	山 梨	86.17	12	滋 賀	86.69
13	佐 賀	85.07	13	滋 賀	86.17	13	山 梨	86.65
14	静 岡	84.95	14	宮 崎	86.11	14	京 都	86.65
15	滋 賀	84.92	15	大 分	86.06	15	神奈川	86.63
16	鳥 取	84.91	16	静 岡	86.06	16	宮 崎	86.61
17	香 川	84.85	17	佐 賀	86.04	17	奈 良	86.60
18	北海道	84.84	18	神奈川	86.03	18	佐 賀	86.58
19	長 崎	84.81	19	京 都	85.92	19	愛 媛	86.54
20	京 都	84.81	20	香 川	85.89	20	福 岡	86.48
21	奈 良	84.80	21	高 知	85.87	21	高 知	86.47
22	高 知	84.76	22	長 崎	85.85	22	東 京	86.39
23	神奈川	84.74	23	福 岡	85.84	23	宮 城	86.39
24	宮 城	84.74	24	奈 良	85.84	24	香 川	86.34
25	大 分	84.69	25	北海道	85.78	25	北海道	86.30
26	鹿児島	84.68	26	宮 城	85.75	26	長 崎	86.30
27	福 岡	84.62	27	山 形	85.72	27	鹿児島	86.28
28	山 口	84.61	28	東 京	85.70	28	山 形	86.28
29	岩 手	84.60	29	鹿児島	85.70	29	岐 阜	86.26
30	愛 媛	84.57	30	徳 島	85.67	30	三 重	86.25
31	山 形	84.57	31	愛 媛	85.64	31	愛 知	86.22
32	千 葉	84.51	32	山 口	85.63	32	静 岡	86.22
33	徳 島	84.49	33	兵 庫	85.62	33	徳 島	86.21
34	三 重	84.49	34	三 重	85.58	34	千 葉	86.20
35	群 馬	84.47	35	岐 阜	85.56	35	兵 庫	86.14
36	東 京	84.38	36	千 葉	85.49	36	鳥 取	86.08
37	埼 玉	84.34	37	岩 手	85.49	37	山 口	86.07
38	兵 庫	84.34	38	群 馬	85.47	38	福 島	86.05
39	岐 阜	84.33	39	福 島	85.45	39	秋 田	85.93
40	秋 田	84.32	40	愛 知	85.40	40	大 阪	85.93
41	和歌山	84.23	41	和歌山	85.34	41	群 馬	85.91
42	愛 知	84.22	42	埼 玉	85.29	42	埼 玉	85.88
43	福 島	84.21	43	茨 城	85.26	43	岩 手	85.86
44	茨 城	84.21	44	大 阪	85.20	44	茨 城	85.83
45	栃 木	84.04	45	秋 田	85.19	45	和歌山	85.69
46	大 阪	84.01	46	栃 木	85.03	46	栃 木	85.66
47	青 森	83.69	47	青 森	84.80	47	青 森	85.34

出典：「都道府県別生命表」厚生労働省

第3章 人口の変化による影響

■地区別簡易水道一覧

事業区別

平成25(2013)年3月現在

地区名	給水区域	竣工年月	計画 給水人口 〔人〕	現在 給水人口 〔人〕	給水戸数 〔戸〕	原水の 種類	年間 給水量 〔m ³ 〕	年間 有収水量 〔m ³ 〕	有収率
竹富	竹富	S51.10.20	550	352	259	受水	106,639	97,591	91.5%
西表東部 第一地区	大富・大原・豊 原・黒島・新城	S50.3.22	1,920	973	764	表流水	244,293	171,191	70.1%
西表東部 第二地区	古見・美原・由 布・高那・小浜	S52.11.22	1,240	683	392	表流水	315,833	269,180	85.2%
西表西部	祖納・千立 ・白浜	S52.11.22	900	374	267	表流水	74,845	48,191	64.4%
上原	船浦・上原・中 野・住吉・鳩間	S53.3.24	1,460	1,041	526	表流水	286,157	199,714	69.8%
船浮	船浮・崎山	S56.3.16	110	34	31	表流水	8,038	6,573	81.8%
波照間	波照間	S51.3.30	640	516	335	海水	122,247	83,981	68.7%
合 計		—	6,820	3,973	2,574	—	1,158,052	876,421	75.7%

資料：竹富町水道課

島別

島しょ名	行政区域内人口 ① 〔人〕	計画給水人口 ② 〔人〕	現在の給水人口 ③ 〔人〕	普及率 ④=③÷① 〔%〕	備 考
竹富島	337	550	337	100.0	海底送水
黒島	189	644	189	100.0	海底送水
新城島 (上地)	13	102	13	100.0	海底送水
新城島 (下地)	2	上地に含む	2	100.0	海底送水
西表島	2,147	3,670	2,132	99.3	
由布島	11	24	11	100.0	海底送水
小浜島	600	1,090	600	100.0	海底送水 (由布島へ分岐)
鳩間島	50	100	50	100.0	海底送水
嘉弥真島	2	小浜に含む	0	0.0	
波照間島	513	640	513	100.0	海水淡水化
合 計	3,864	6,820	3,847	—	

資料：「沖縄県の水道概要」平成26年度版(平成25年度データ)沖縄県保健医療部生活衛生課

■ 保育所の入所状況〔平成27(2015)年4月1日現在〕

施設名	項 目	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児
西表保育所	定員数	30	30	0	0	0	0	0	0
	受付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	決定数	22	0	0	3	9	4	6	0
	空き数	8	30	0	△3	△9	△4	△6	0
上原保育所	定員数	30	30	0	0	0	0	0	0
	受付数	2	0	0	1	0	1	0	0
	決定数	33	0	0	13	20	0	0	0
	空き数	-3	30	0	△13	△20	0	0	0
大富保育所	定員数	30	30	0	0	0	0	0	0
	受付数	2	1	0	0	0	1	0	0
	決定数	25	0	1	9	15	0	0	0
	空き数	5	30	△1	△9	△15	0	0	0
黒島保育所	定員数	30	30	0	0	0	0	0	0
	受付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	決定数	8	0	0	3	0	5	0	0
	空き数	22	30	0	△3	0	△5	0	0
小浜保育所	定員数	50	50	0	0	0	0	0	0
	受付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	決定数	27	0	0	6	5	9	7	0
	空き数	23	50	0	△6	△5	△9	△7	0
竹富保育所	定員数	30	30	0	0	0	0	0	0
	受付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	決定数	17	0	0	5	4	3	5	0
	空き数	13	30	0	△5	△4	△3	△5	0
波照間保育所	定員数	30	30	0	0	0	0	0	0
	受付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	決定数	12	0	1	7	4	0	0	0
	空き数	18	30	△1	△7	△4	0	0	0

資料：竹富町介護福祉課

■ 幼稚園の入園状況〔平成27(2015)年5月1日現在〕

幼稚園名	3歳児		4歳児		5歳児		計		預かり保育	
	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	4歳児	5歳児
はてるま幼稚園			5	1	5	1	10	2	2	2
おおはら幼稚園			13	1	12	1	25	2	9	9
うえはら幼稚園			11	1	22	1	33	2	10	21
計	0	0	29	3	39	3	68	6	21	32

資料：竹富町教育委員会教育課

■学校別学級数、児童生徒数〔平成27(2015)年5月1日現在〕

《小学校》

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計
	児童数 〔人〕	学級数	児童数 〔人〕	学級数	児童数 〔人〕	学級数	児童数 〔人〕	学級数	児童数 〔人〕	学級数	児童数 〔人〕	学級数	児童数 〔人〕
竹富小学校	7	0.5	1	0.5	5	0.5	3	0.5	5	0.5	7	0.5	28
黒島小学校	3	0.5	1	0.5	2	1.0	0	0.0	2	0.5	1	0.5	9
小浜小学校	7	1.0	7	1.0	5	0.5	6	0.5	5	0.5	4	0.5	36
波照間小学校	8	1.0	9	1.0	6	0.5	6	0.5	4	0.5	9	0.5	42
大原小学校	11	1.0	8	1.0	15	1.0	11	1.0	7	0.5	3	0.5	55
古見小学校	1	0.5	4	5.0	0	0.0	4	0.5	0	0.0	3	0.5	12
上原小学校	10	1.0	16	1.0	13	1.0	6	1.0	6	0.5	6	0.5	57
西表小学校	5	0.5	3	0.5	2	0.5	3	0.5	3	0.5	2	0.5	18
白浜小学校	2	0.5	4	0.5	3	0.5	1	0.5	5	1.0	0	0.0	15
船浮小学校	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.5	0	0.0	2	1.0	4
鳩間小学校	1	0.5	0	0.0	1	0.5	1	0.5	0	0.0	1	0.5	4
計	55	7.0	54	7.0	52	6.0	42	6.0	37	4.5	38	5.5	280

※合計は、小浜小学校の特別支援学級児童数2名を含む

資料：竹富町教育委員会教育課

《中学校》

学校名	1年		2年		3年		合計
	生徒数 〔人〕	学級数	生徒数 〔人〕	学級数	生徒数 〔人〕	学級数	生徒数 〔人〕
竹富中学校	5	1.0	4	0.5	4	0.5	5
黒島中学校	1	0.5	1	0.5	3	1.0	1
小浜中学校	7	1.0	3	0.5	3	0.5	7
波照間中学校	1	0.5	2	0.5	4	1.0	1
大原中学校	13	1.0	6	1.0	8	1.0	13
船浦中学校	4	1.0	11	1.0	12	1.0	4
西表中学校	4	0.5	4	0.5	4	1.0	4
船浮中学校	0	0.0	2	1.0	0	0.0	0
鳩間中学校	0	0.0	0	0.0	2	1.0	0
計	35	5.5	33	5.5	40	7.0	35

資料：竹富町教育委員会教育課

■医療・介護需要の将来推計〔平成22(2010)年を100〕

		平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
医療 需要	社人研	100	102	104	106	108	108	106	101	96	90	81
	封鎖人口	100	102	105	109	112	114	115	114	115	115	112
	竹富独自	100	103	106	111	116	121	125	127	132	137	140
介護 需要	社人研	100	106	105	111	131	147	150	144	144	142	134
	封鎖人口	100	97	94	98	115	132	134	129	135	142	148
	竹富独自	100	100	93	95	111	128	130	128	135	144	156

《医療需要》

◆社人研(パターン①)

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～14歳	361	341	322	274	232	202	179	169	161	154	141
15～39歳	440	344	265	221	203	224	216	199	172	147	132
40～64歳	1,361	1,392	1,295	1,176	1,065	885	719	565	477	435	473
65～74歳	683	761	1,143	1,343	1,155	936	978	1,056	936	713	370
75歳以上	1,950	2,059	1,966	2,067	2,543	2,921	2,991	2,859	2,874	2,882	2,781
合 計	4,795	4,898	4,991	5,081	5,197	5,168	5,083	4,847	4,620	4,331	3,897

◆封鎖人口(パターン②)

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～14歳	373	409	416	355	293	279	307	338	338	310	282
15～39歳	450	448	390	360	364	392	411	395	362	343	343
40～64歳	1,333	1,414	1,398	1,381	1,379	1,275	1,074	941	876	891	957
65～74歳	704	768	1,122	1,382	1,164	920	1,086	1,293	1,325	1,141	729
75歳以上	2,129	2,040	1,899	1,942	2,395	2,839	2,843	2,714	2,835	3,046	3,257
合 計	4,988	5,079	5,226	5,420	5,595	5,706	5,721	5,681	5,737	5,731	5,567

◆竹富町独自の推計(パターン③)

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～14歳	373	409	433	413	389	380	406	450	479	479	467
15～39歳	450	448	437	413	408	439	484	516	502	498	502
40～64歳	1,333	1,414	1,416	1,437	1,514	1,532	1,441	1,356	1,355	1,390	1,489
65～74歳	704	768	1,120	1,392	1,205	991	1,150	1,359	1,474	1,442	1,203
75歳以上	2,129	2,106	1,880	1,868	2,282	2,707	2,738	2,648	2,781	3,007	3,327
合 計	4,988	5,145	5,286	5,523	5,798	6,049	6,219	6,329	6,591	6,816	6,988

《介護需要》

◆社人研（パターン①）

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～14歳	1,361	1,392	1,295	1,176	1,065	885	719	565	477	435	473
15～39歳	2,881	3,211	4,821	5,665	4,869	3,948	4,123	4,452	3,948	3,007	1,562
40～64歳	43,650	46,094	43,999	46,269	56,920	65,388	66,959	63,991	64,340	64,515	62,245
65～74歳	47,892	50,697	50,115	53,110	62,854	70,221	71,801	69,008	68,765	67,957	64,280
75歳以上	1,950	2,059	1,966	2,067	2,543	2,921	2,991	2,859	2,874	2,882	2,781
合 計	4,795	4,898	4,991	5,081	5,197	5,168	5,083	4,847	4,620	4,331	3,897

◆封鎖人口（パターン②）

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～14歳	1,333	1,414	1,398	1,381	1,379	1,275	1,074	941	876	891	957
15～39歳	2,968	3,240	4,734	5,830	4,908	3,880	4,578	5,451	5,587	4,811	3,075
40～64歳	47,579	45,658	42,515	43,475	53,602	63,554	63,642	60,761	63,467	68,181	72,896
65～74歳	51,880	50,312	48,647	50,686	59,889	68,709	69,294	67,153	69,930	73,884	76,927
75歳以上	2,129	2,040	1,899	1,942	2,395	2,839	2,843	2,714	2,835	3,046	3,257
合 計	4,988	5,079	5,226	5,420	5,595	5,706	5,721	5,681	5,737	5,731	5,567

◆竹富町独自の推計（パターン③）

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
0～14歳	1,333	1,414	1,416	1,437	1,514	1,532	1,441	1,356	1,355	1,390	1,489
15～39歳	2,968	3,240	4,724	5,869	5,083	4,181	4,850	5,733	6,218	6,082	5,073
40～64歳	47,579	47,142	42,079	41,817	51,071	60,586	61,285	59,277	62,245	67,308	74,467
65～74歳	51,880	51,796	48,219	49,122	57,667	66,299	67,576	66,365	69,818	74,780	81,029
75歳以上	2,129	2,106	1,880	1,868	2,282	2,707	2,738	2,648	2,781	3,007	3,327
合 計	4,988	5,145	5,286	5,523	5,798	6,049	6,219	6,329	6,591	6,816	6,988

◆医療介護需要予測：各年の需要量を以下で計算し、2010年の介護需要量＝100として指数化

- ・各年の医療需要量＝ $0 \sim 14 \text{歳} \times 0.6 + 15 \sim 39 \text{歳} \times 0.4 + 40 \sim 64 \text{歳} \times 1.0 + 65 \sim 74 \text{歳} \times 2.3 + 75 \text{歳} \sim \times 3.9$
- ・各年の介護需要量＝ $40 \sim 64 \text{歳} \times 1.0 + 65 \sim 74 \text{歳} \times 9.7 + 75 \text{歳} \sim \times 87.3$

出典：国立社会保障・人口問題研究所（2013年3月推計）をもとに日医総研ワーキングペーパーNo. 323「地域の医療提供体制の現状と将来 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2014年度版）」の指数で推計

■産業別農業就業人口の推移

平成12(2000)年		平成17(2005)年		平成22(2010)年	
項 目	就業人口 〔人(%)〕	項 目	就業人口 〔人(%)〕	項 目	就業人口 〔人(%)〕
総就業人口	2,036 (100.0)	総就業人口	2,513 (100.0)	総就業人口	2,268 (100.0)
第1次産業	584 (28.7)	第1次産業	555 (22.1)	第1次産業	407 (17.9)
農業	524 (25.7)	農業	505 (20.1)	農業	369 (16.3)
林業	2 (0.1)	林業	5 (0.2)	林業	3 (0.1)
漁業	58 (2.8)	漁業	45 (1.8)	漁業	35 (1.5)
第2次産業	212 (10.4)	第2次産業	224 (8.9)	第2次産業	150 (6.6)
鉱業	— (—)	鉱業	— (—)	鉱業、採石業、 砂利採取業	— (—)
建設業	134 (6.6)	建設業	130 (5.2)	建設業	75 (3.3)
製造業	78 (3.8)	製造業	94 (3.7)	製造業	75 (3.3)
第3次産業	1,240 (60.9)	第3次産業	1,734 (69.0)	第3次産業	1,711 (75.4)
電気・ガス・熱供給・ 水道業	7 (0.3)	電気・ガス・熱供給・ 水道業	6 (0.2)	電気・ガス・熱供給・ 水道業	9 (0.4)
運輸・通信業	173 (8.5)	情報通信業	15 (0.6)	情報通信業	2 (0.1)
卸売・小売業 飲食店	231 (11.3)	運輸業	142 (5.7)	運輸業、郵便業	200 (8.8)
金融・保険業	1 (0.0)	卸売・小売業	153 (6.1)	卸売業、小売業	140 (6.2)
不動産業	— (—)	金融・保険業	1 (0.0)	金融業、保険業	— (—)
サービス業	802 (39.4)	不動産業	2 (0.1)	不動産業、 物品賃貸業	32 (1.4)
公務 (他に分類されないもの)	26 (1.3)	飲食店、宿泊業	645 (25.7)	学術研究、 専門・技術サービス業	24 (1.1)
—	—	医療、福祉	77 (3.1)	宿泊業、 飲食サービス業	625 (27.6)
—	—	教育、学習支援業	222 (8.8)	生活関連サービス業、 娯楽業	182 (8.0)
—	—	複合サービス事業	23 (0.9)	教育、学習支援業	175 (7.7)
—	—	サービス業	406 (16.2)	医療、福祉	86 (3.8)
—	—	公務 (他に分類されないもの)	27 (1.1)	複合サービス事業	17 (0.7)
—	—	—	—	サービス業 (他に分類されないもの)	63 (2.8)
—	—	—	—	公務 (他に分類されるものを除く)	19 (0.8)
分類不能の産業	— (—)	分類不能の産業	15 (0.6)	分類不能の産業	137 (6.0)

出典：「国勢調査」 総務省

※「分類不能の産業」は「第3次産業」に含まれる

■産業別生産額の推移

	区 分	平成18年 (2006) 〔百万円(%)〕	平成19年 (2007) 〔百万円(%)〕	平成20年 (2008) 〔百万円(%)〕	平成21年 (2009) 〔百万円(%)〕	平成22年 (2010) 〔百万円(%)〕	平成23年 (2011) 〔百万円(%)〕	平成24年 (2012) 〔百万円(%)〕
第1次産業	小計	946 (9.0)	1,178 (10.8)	897 (8.2)	987 (9.2)	1,048 (9.9)	765 (6.5)	866 (7.3)
	農業	777 (7.4)	1,032 (9.5)	776 (7.1)	851 (8.0)	937 (8.8)	651 (5.5)	738 (6.3)
	林業	4 (0.0)	4 (0.0)	5 (0.0)	4 (0.0)	3 (0.0)	3 (0.0)	4 (0.0)
	水産業	165 (1.6)	142 (1.3)	116 (1.1)	132 (1.2)	108 (1.0)	111 (0.9)	124 (1.1)
第2次産業	小計	2,037 (19.3)	1,763 (16.2)	2,241 (20.4)	2,066 (19.3)	1,677 (15.8)	3,056 (25.9)	2,415 (20.5)
	鉱業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	X (-)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	製造業	442 (4.2)	441 (4.1)	377 (3.4)	X (-)	143 (1.3)	471 (4.0)	347 (2.9)
	建設業	1,595 (15.1)	1,322 (12.2)	1,864 (17.0)	1,821 (17.0)	1,534 (14.5)	2,585 (21.9)	2,068 (17.5)
第3次産業	小計	7,580 (71.8)	7,925 (72.9)	7,821 (71.4)	7,640 (71.4)	7,872 (74.3)	7,992 (67.7)	8,519 (72.2)
	電気・ガス・水道業	77 (0.7)	75 (0.7)	70 (0.6)	85 (0.8)	67 (0.6)	87 (0.7)	84 (0.7)
	卸売・小売業	286 (2.7)	288 (2.7)	290 (2.6)	276 (2.6)	295 (2.8)	294 (2.5)	300 (2.5)
	金融・保険業	52 (0.5)	70 (0.6)	72 (0.7)	63 (0.6)	62 (0.6)	55 (0.5)	32 (0.3)
	不動産業	560 (5.3)	611 (5.6)	556 (5.1)	586 (5.5)	608 (5.7)	610 (5.2)	638 (5.4)
	運輸業	905 (8.6)	942 (8.7)	901 (8.2)	801 (7.5)	868 (8.2)	704 (6.0)	857 (7.3)
	情報通信業	34 (0.3)	41 (0.4)	38 (0.3)	25 (0.2)	26 (0.2)	22 (0.2)	24 (0.2)
	サービス業	3,571 (33.8)	3,763 (34.6)	3,808 (34.7)	3,799 (35.5)	3,968 (37.4)	4,187 (35.4)	4,522 (38.3)
	政府サービス生産者	1,987 (18.8)	2,027 (18.7)	1,975 (18.0)	1,894 (17.7)	1,859 (17.5)	1,903 (16.1)	1,925 (16.3)
	対家計民間 非営利団体	108 (1.0)	108 (1.0)	111 (1.0)	111 (1.0)	119 (1.1)	130 (1.1)	137 (1.2)
	合 計	10,563 (100.0)	10,866 (100.0)	10,959 (100.0)	10,693 (100.0)	10,597 (100.0)	11,813 (100.0)	11,800 (100.0)

出典：「沖縄県市町村所得」沖縄県企画部統計課

■ 合計特殊出生率の推移

年	全国	沖縄県	竹富町	年	全国	沖縄県	竹富町
昭和60年 (1985)	1.76	2.31	—	平成10年 (1998)	1.38	1.83	1.98
昭和61年 (1986)	1.72	2.27	—	平成11年 (1999)	1.34	1.79	
昭和62年 (1987)	1.69	2.15	—	平成12年 (2000)	1.36	1.82	
昭和63年 (1988)	1.66	2.10	—	平成13年 (2001)	1.33	1.83	
平成元年 (1989)	1.57	2.02	—	平成14年 (2002)	1.32	1.76	
平成2年 (1990)	1.54	1.95	—	平成15年 (2003)	1.29	1.72	1.65
平成3年 (1991)	1.53	2.02	—	平成16年 (2004)	1.29	1.72	
平成4年 (1992)	1.50	1.98	—	平成17年 (2005)	1.26	1.72	
平成5年 (1995)	1.46	1.94	—	平成18年 (2006)	1.32	1.74	
平成6年 (1994)	1.50	1.96	—	平成19年 (2007)	1.34	1.75	
平成7年 (1995)	1.42	1.87	—	平成20年 (2008)	1.37	1.78	1.87
平成8年 (1996)	1.43	1.86	—	平成21年 (2009)	1.37	1.79	
平成9年 (1997)	1.39	1.81	—	平成22年 (2010)	1.39	1.87	
				平成23年 (2011)	1.39	1.86	
				平成24年 (2012)	1.41	1.90	

※竹富町の値は、平成10(1998)年以降5年毎

出典：「人口動態調査」厚生労働省、「RESAS(地域経済分析システム)」まち・ひと・しごと創生本部

■ 本町の入域観光客数の推移

年	竹富島 〔人〕	黒島 〔人〕	小浜島 〔人〕	新城島 〔人〕	西表島東部 〔人〕	西表島西部 〔人〕	鳩間島 〔人〕	波照間島 〔人〕	嘉弥真島 〔人〕	合 計 〔人〕
昭和50年(1975)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119,938
昭和51年(1976)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107,328
昭和52年(1977)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123,140
昭和53年(1978)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	181,085
昭和54年(1979)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	185,154
昭和55年(1980)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200,131
昭和56年(1981)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	193,076
昭和57年(1982)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	174,397
昭和58年(1983)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180,190
昭和59年(1984)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	188,457
昭和60年(1985)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	207,927
昭和61年(1986)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	233,616
昭和62年(1987)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	207,489
昭和63年(1988)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230,121
平成元年(1989)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	285,930
平成2年(1990)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	303,392
平成3年(1991)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	372,870
平成4年(1992)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	394,883
平成5年(1995)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	391,045
平成6年(1994)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360,211
平成7年(1995)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	388,601
平成8年(1996)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	395,592
平成9年(1997)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	480,594
平成10年(1998)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	524,927
平成11年(1999)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	566,816
平成12年(2000)	268,289	11,534	53,566	1,780	247,592	37,488	540	18,553	5,065	644,407
平成13年(2001)	246,265	12,280	60,217	680	238,505	33,347	140	10,116	4,692	606,242
平成14年(2002)	299,232	15,448	99,292	1,932	267,468	37,242	530	9,588	6,989	737,721
平成15年(2003)	394,581	18,146	121,750	2,103	321,112	44,993	586	12,821	7,598	923,690
平成16年(2004)	355,565	17,904	115,922	1,663	308,248	42,749	2,475	13,538	11,772	869,836
平成17年(2005)	416,438	23,245	161,455	1,240	308,744	42,087	3,162	14,354	7,298	978,023
平成18年(2006)	424,965	21,266	172,686	1,224	336,138	43,156	1,974	16,453	7,309	1,025,171
平成19年(2007)	443,656	37,492	177,783	1,874	345,094	60,552	7,962	20,555	6,722	1,101,690
平成20年(2008)	467,740	42,072	177,062	1,931	337,138	66,528	10,106	30,185	5,874	1,138,636
平成21年(2009)	382,409	34,422	145,982	2,623	280,183	60,257	9,150	26,432	4,543	946,001
平成22年(2010)	369,874	30,087	140,725	3,195	249,785	54,374	8,856	27,567	4,101	888,564
平成23年(2011)	343,063	27,319	112,988	2,596	212,624	41,387	5,419	30,597	2,818	778,811
平成24年(2012)	388,903	29,506	140,892	2,248	240,570	44,425	5,911	25,866	2,394	880,715
平成25年(2013)	457,207	28,216	182,627	3,190	290,237	56,164	7,810	29,725	1,944	1,057,120
平成26年(2014)	519,641	30,428	182,794	3,529	313,656	66,071	6,047	34,744	2,150	1,159,060

※毎年 1 月～12 月

※平成12年（2000） から島別を公表

資料：竹富町商工観光課

■ 島別・月別入域観光客数〔平成21(2009)年～平成26(2014)年の平均〕

《竹富島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1月	34,943	31,138	27,508	27,924	33,101	36,681	31,883
2月	33,137	33,565	30,200	34,355	35,086	42,385	34,788
3月	43,504	40,338	37,429	44,043	53,851	54,501	45,611
4月	37,587	33,803	24,274	39,044	45,089	49,242	38,173
5月	27,276	28,969	21,399	30,833	33,749	40,577	30,467
6月	26,909	26,591	20,779	26,495	31,774	36,702	28,208
7月	33,568	32,013	28,961	32,448	35,920	43,627	34,423
8月	32,346	35,280	32,289	30,814	40,599	52,192	37,253
9月	32,367	31,567	32,580	30,296	38,846	47,828	35,581
10月	27,312	26,870	30,430	31,473	36,125	37,332	31,590
11月	29,575	28,692	31,419	29,947	41,545	42,820	34,000
12月	23,885	21,048	25,795	31,231	31,522	35,754	28,206
合 計	382,409	369,874	343,063	388,903	457,207	519,641	410,183

資料：竹富町商工観光課

《黒島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1月	2,804	1,739	1,433	1,933	1,449	2,136	1,916
2月	3,467	3,333	3,139	2,889	3,365	3,593	3,298
3月	2,691	2,253	2,486	2,003	1,932	2,623	2,331
4月	2,448	2,492	1,510	2,171	1,991	2,214	2,138
5月	2,844	2,474	1,698	2,566	2,001	2,208	2,299
6月	2,660	2,212	1,462	2,245	2,246	2,362	2,198
7月	3,752	3,058	2,912	3,815	3,057	3,106	3,283
8月	4,043	3,883	3,058	3,472	3,299	3,712	3,578
9月	3,696	3,222	3,871	3,140	2,531	2,669	3,188
10月	2,297	2,329	2,088	1,964	2,134	2,150	2,160
11月	1,786	1,681	1,770	1,698	2,177	1,897	1,835
12月	1,934	1,411	1,892	1,610	2,034	1,758	1,773
合 計	34,422	30,087	27,319	29,506	28,216	30,428	29,996

資料：竹富町商工観光課

《小浜島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1 月	14,752	15,123	10,928	9,898	14,532	15,793	13,504
2 月	15,022	15,753	13,029	12,561	16,320	16,743	14,905
3 月	19,837	17,904	15,996	17,663	22,115	21,498	19,169
4 月	13,636	15,063	7,978	14,240	19,025	17,656	14,600
5 月	10,499	13,091	6,171	11,378	14,085	14,987	11,702
6 月	9,378	8,550	6,825	8,546	13,314	12,977	9,932
7 月	9,859	8,459	7,016	9,365	12,249	11,431	9,730
8 月	9,479	9,372	7,323	9,331	12,274	12,692	10,079
9 月	9,847	7,653	7,587	8,553	12,727	11,358	9,621
10月	10,032	8,901	9,333	12,306	14,141	13,914	11,438
11月	13,072	11,408	10,820	13,384	16,112	17,422	13,703
12月	10,569	9,448	9,982	13,667	15,733	16,323	12,620
合 計	145,982	140,725	112,988	140,892	182,627	182,794	151,001

資料：竹富町商工観光課

《新城島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1 月	97	77	162	93	58	125	102
2 月	36	121	219	41	109	99	104
3 月	76	196	165	110	139	128	136
4 月	149	141	172	79	152	239	155
5 月	361	300	319	245	253	317	299
6 月	184	352	278	206	370	474	311
7 月	785	735	541	588	502	765	653
8 月	264	353	241	314	730	691	432
9 月	407	387	250	250	461	408	361
10月	145	227	129	170	246	143	177
11月	50	113	77	70	99	82	82
12月	69	193	43	82	71	58	86
合 計	2,623	3,195	2,596	2,248	3,190	3,529	2,897

資料：竹富町商工観光課

《西表島東部》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1月	36,563	26,496	26,269	22,805	27,417	30,138	28,281
2月	33,869	29,332	27,462	27,619	30,613	37,270	31,028
3月	42,463	36,763	30,091	32,235	42,583	45,106	38,207
4月	28,800	29,144	16,747	27,180	32,669	32,239	27,797
5月	20,830	18,544	11,833	16,871	20,509	23,936	18,754
6月	14,543	13,169	9,434	12,520	15,743	17,036	13,741
7月	13,787	11,325	9,113	11,529	14,317	14,395	12,411
8月	12,122	12,166	11,339	10,615	16,117	17,307	13,278
9月	12,363	11,419	11,674	10,733	15,898	14,093	12,697
10月	17,566	17,894	17,268	20,008	21,840	22,671	19,541
11月	25,627	23,695	22,039	22,971	23,724	29,902	24,660
12月	21,650	19,838	19,355	25,484	28,807	29,563	24,116
合 計	280,183	249,785	212,624	240,570	290,237	313,656	264,509

資料：竹富町商工観光課

《西表島西部》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1月	1,407	1,513	1,034	796	994	1,899	1,274
2月	2,903	1,721	1,883	1,452	2,092	2,708	2,127
3月	3,078	3,620	2,760	2,125	3,215	4,154	3,159
4月	3,693	3,334	2,985	3,797	4,396	5,906	4,019
5月	5,655	5,382	3,546	4,734	4,477	5,866	4,943
6月	6,347	5,657	3,841	4,478	6,416	7,429	5,695
7月	10,373	9,158	7,188	8,202	8,130	9,893	8,824
8月	10,551	9,989	8,000	7,767	9,126	12,936	9,728
9月	8,857	7,628	5,430	5,580	7,882	8,841	7,370
10月	3,480	2,988	2,594	2,713	5,249	2,804	3,305
11月	2,087	1,630	1,442	1,792	2,598	2,519	2,011
12月	1,826	1,754	684	989	1,589	1,116	1,326
合 計	60,257	54,374	41,387	44,425	56,164	66,071	53,780

資料：竹富町商工観光課

《鳩間島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1 月	162	192	76	71	63	163	121
2 月	357	251	224	90	169	179	212
3 月	442	510	277	279	256	253	336
4 月	648	552	504	557	845	526	605
5 月	1,625	1,399	890	1,231	1,281	1,001	1,238
6 月	954	866	566	642	876	724	771
7 月	1,351	1,640	906	1,084	1,182	953	1,186
8 月	1,402	1,291	729	712	1,235	1,089	1,076
9 月	1,231	1,223	643	719	1,200	787	967
10月	401	449	300	298	410	159	336
11月	320	282	248	148	199	184	230
12月	257	201	56	80	94	29	120
合 計	9,150	8,856	5,419	5,911	7,810	6,047	7,199

資料：竹富町商工観光課

《波照間島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1 月	1,027	1,014	1,188	1,114	1,004	1,651	1,166
2 月	1,628	1,038	1,495	1,216	1,392	1,225	1,332
3 月	1,826	1,828	1,607	1,980	2,637	2,659	2,090
4 月	1,830	1,865	1,985	2,150	2,495	2,896	2,204
5 月	2,048	2,252	2,159	2,352	2,768	2,541	2,353
6 月	1,824	2,562	2,395	2,077	2,525	2,626	2,335
7 月	4,041	3,806	5,249	3,806	3,717	5,028	4,275
8 月	4,141	4,555	4,737	3,119	4,230	6,054	4,473
9 月	4,663	4,361	5,119	4,106	3,832	5,754	4,639
10月	1,169	1,356	1,958	1,624	2,291	1,932	1,722
11月	1,145	1,884	1,626	1,328	1,825	1,515	1,554
12月	1,090	1,046	1,079	994	1,009	863	1,014
合 計	26,432	27,567	30,597	25,866	29,725	34,744	29,155

資料：竹富町商工観光課

《嘉弥真島》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1 月	95	700	125	168	55	0	191
2 月	431	36	99	88	98	88	140
3 月	248	384	380	196	121	167	249
4 月	162	73	18	39	16	8	53
5 月	409	359	388	346	336	308	358
6 月	206	208	224	54	44	242	163
7 月	478	415	198	194	180	123	265
8 月	563	544	351	207	224	99	331
9 月	387	203	107	115	84	43	157
10月	220	504	174	170	164	324	259
11月	681	346	323	281	338	390	393
12月	663	329	431	536	284	358	434
合 計	4,543	4,101	2,818	2,394	1,944	2,150	2,992

資料：竹富町商工観光課

《竹富町合計》

年	平成21年 (2009) 〔人〕	平成22 (2010)年 〔人〕	平成23年 (2011) 〔人〕	平成24年 (2012) 〔人〕	平成25年 (2013) 〔人〕	平成26年 (2014) 〔人〕	平均 〔人〕
1 月	91,850	77,992	68,723	64,802	78,673	88,586	78,438
2 月	90,850	85,150	77,750	80,311	89,244	104,290	87,933
3 月	114,165	103,796	91,191	100,634	126,849	131,089	111,287
4 月	88,953	86,467	56,173	89,257	106,678	110,926	89,742
5 月	71,547	72,770	48,403	70,556	79,459	91,741	72,413
6 月	63,005	60,167	45,804	57,263	73,308	80,572	63,353
7 月	77,994	70,609	62,084	71,031	79,254	89,321	75,049
8 月	74,911	77,433	68,067	66,351	87,834	106,772	80,228
9 月	73,818	67,663	67,261	63,492	83,461	91,781	74,579
10月	62,622	61,518	64,274	70,726	82,600	81,429	70,528
11月	74,343	69,731	69,764	71,619	88,617	96,731	78,468
12月	61,943	55,268	59,317	74,673	81,143	85,822	69,694
合 計	946,001	888,564	778,811	880,715	1,057,120	1,159,060	951,712

資料：竹富町商工観光課

■八重山圏域で人手不足が生じている業種(有効求人倍率)

期 間	平成26(2014)年 10～12月	平成27(2015)年 1～3月	平成27(2015)年 4～6月	平成27(2015)年 7～9月
職業計	1.04	1.08	0.94	1.02
A 管理的職業	4.00	2.00	—	—
B 専門的・技術的職業	0.88	1.23	1.11	1.18
09 建築・土木技術者等	1.40	0.91	1.20	1.46
10 情報処理・通信技術者	0.14	0.40	0.14	1.60
11 医師・薬剤師等	5.00	7.00	2.00	0.60
13 保健師・助産師・看護師等	1.19	1.76	1.56	1.19
14 医療技術者	5.00	5.33	3.60	3.33
15 その他の保健医療	2.00	1.67	0.75	0.40
16 社会福祉の専門的職業	0.66	1.70	1.35	1.00
22 美術家・デザイナー等	0.46	0.07	0.55	0.57
その他の専門的職業	0.81	0.90	0.52	1.20
C 事務的職業	0.23	0.30	0.36	0.43
25 一般事務の職業	0.16	0.23	0.24	0.25
26 会計事務の職業	0.80	0.91	1.38	1.07
27 生産関連事務の職業	—	—	5.00	1.00
28 営業、販売関連事務の職業	1.33	2.00	1.43	0.50
30 運輸・郵便事務の職業	2.50	—	7.00	—
31 事務用機械操作の職業	—	—	—	6.67
D 販売の職業	2.23	1.82	0.94	1.54
32 商品販売の職業	2.31	1.57	0.86	1.78
33 販売類似の職業	—	4.00	—	—
34 営業の職業	1.75	2.69	1.29	0.90
E サービスの職業	2.25	2.33	1.77	2.35
36 介護サービスの職業	1.48	1.76	1.30	2.11
37 保健医療サービスの職業	1.92	2.83	1.67	3.75
38 生活衛生サービスの職業	0.60	0.58	0.33	0.67
39 飲食物調理の職業	2.11	1.96	2.13	2.85
40 接客・給仕の職業	3.45	3.12	2.50	2.89
41 居住施設・ビルの管理の職業	—	—	1.00	1.25
42 その他のサービスの職業	2.10	2.55	0.67	1.45
F 保安の職業	—	1.00	0.67	0.33
G 農林漁業の職業	1.17	1.33	1.69	2.17
H 生産工程の職業	0.98	1.21	0.71	0.84
52 金属材料製造等の職業	1.50	3.00	0.50	—
54 製品製造・加工処理の職業	1.00	1.28	0.72	1.13
57 機械組立の職業	—	2.00	0.71	0.50
60 機械整備・修理の職業	0.89	0.78	1.14	1.00
64 生産関連・生産類似の職業	1.00	0.67	—	—
I 輸送・機械運転の職業	2.33	1.26	2.04	1.70
66 自動車運転の職業	2.00	0.88	1.88	1.42
67 船舶・航空機運転の職業	4.00	4.00	—	—
68 その他の輸送の職業	4.00	0.50	—	0.50
69 定置・建設機械運転の職業	2.38	2.00	1.75	2.00
J 建設・採掘の職業	0.22	0.57	0.38	0.83
71 建設の職業(建設躯体工事除く)	—	1.50	2.00	0.75
72 電気工事の職業	0.50	1.00	0.33	1.20
73 土木の職業	—	0.38	0.11	0.67
K 運搬・清掃等の職業	0.95	0.96	1.19	0.87
75 運搬の職業	0.64	1.18	1.00	0.61
76 清掃の職業	0.81	0.64	0.90	0.61
78 その他の運搬等の職業	1.14	1.16	1.48	1.11
I T 関連職業合計	0.14	0.38	0.13	1.71
福祉関連職業合計(うち介護関係)	1.29(1.42)	1.86(1.96)	1.52(1.38)	1.78(2.03)

※ゴシック太字は平均して2.0倍の求人がある職種

出典:「雇用の動き」厚生労働省沖縄労働局ハローワーク八重山

■イリオモテヤマネコの交通事故記録

年	幼獣〔件〕	成獣〔件〕	合計〔件〕
昭和56年(1981)	1	－	1
昭和57年(1982)	1	－	1
昭和58年(1983)	－	1	1
昭和59年(1984)	1	1	2
昭和60年(1985)	－	1	1
昭和61年(1986)	－	2	2
昭和62年(1987)	－	3	3
昭和63年(1988)	－	1	1
平成元年(1989)	－	2	2
平成2年(1990)	－	1	1
平成3年(1991)	－	2	2
平成4年(1992)	－	1	1
平成5年(1993)	－	2	2
平成6年(1994)	－	－	0
平成7年(1995)	1	2	3
平成8年(1996)	1	1	2
平成9年(1997)	－	1	1
平成10年(1998)	－	－	0
平成11年(1999)	1	－	1
平成12年(2000)	－	1	1
平成13年(2001)	－	5	5
平成14年(2002)	－	1	1
平成15年(2003)	－	3	3
平成16年(2004)	－	1	1
平成17年(2005)	－	1	1
平成18年(2006)	2	－	2
平成19年(2007)	－	1	1
平成20年(2008)	－	3	3
平成21年(2009)	1	－	1
平成22年(2010)	2	3	5
平成23年(2011)	1	1	2
平成24年(2012)	1	1	2
平成25年(2013)	3	3	6
平成26年(2014)	2	2	4
平成27年(2015)	2	－	2

※平成27(2015)年4月23日現在
出典：那覇自然環境事務所

■ 本町のごみ排出量の推移

年	ごみ総排出量 〔 t 〕	1 人 1 日あたり の排出量 〔 g / 人 ・ 日 〕
平成19年(2007)	864	560
平成20年(2008)	812	540
平成21年(2009)	808	543
平成22年(2010)	689	465
平成23年(2011)	524	355
平成24年(2012)	729	495
平成25年(2013)	694	449

※ ごみ総排出量：計画収集量+直接搬入量+集団回収量
出典：「一般廃棄物処理実態調査」環境省

資料編

■竹富町地方創生推進イメージ……………	資料-2
■竹富町総合戦略策定推進委員会名簿……………	資料-3
■竹富町人口ビジョン及び総合戦略策定までの取り組み……………	資料-4
■成案提出……………	資料-5
■議案の可決……………	資料-6

■竹富町地方創生推進イメージ

竹富町地方創生推進イメージ

①「まち・ひと・しごと創生法」

⇒【竹富町地方創生推進本部】を設置

②竹富町計画策定委員会設置要綱

⇒【竹富町総合戦略策定検討委員会】(課長級)を設置

③国の指針に基づき、各界の参画

⇒【竹富町総合戦略策定推進委員会】(有識者)を設置

竹富町地方創生推進本部

- まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施
- 関連施策の成果の客観的検証

報告

竹富町総合戦略策定
検討委員会

■所掌事項

- ・人口ビジョン、総合戦略の策定に関する事項
- ・各施策の推進に関する事項

■メンバー

- ・副町長、教育長、各課(局)長

報告

竹富町総合戦略策定
推進委員会

■所掌事項

- ・人口ビジョン、総合戦略の策定に関する事項への意見・助言
- ・各施策の実施状況の総合的な検証に関する事項への意見・助言

■メンバー

- ・「委員会名簿」参照

助言

■竹富町総合戦略策定推進委員会名簿

属 性	所 属 ・ 職 名	氏 名	備 考
産	石垣エスエスグループ 代表取締役社長 (八重山経済人会議代表幹事)	オオハマ イチロウ 大浜 一郎	委員長
	竹富町商工会 会長	ウエセド タモツ 上勢頭 保	副委員長
	竹富町観光協会 会長	ウエカメ ナオユキ 上亀 直之	
	株式会社 由布島 代表取締役	イリオモテ シンサク 西 表 晋作	
官	沖縄県八重山事務所 所長 (総務部八重山事務所総務課総務振興班)	タケダ サトシ 武田 智	
学	琉球大学名誉教授	ツチヤ マコト 土屋 誠	
金	沖縄振興開発金融公庫 八重山支店長	フルゲン ムネトシ 古堅 宗俊	
言	フリージャーナリスト 竹富町史編集委員	ミ キ タケシ 三木 健	
民	竹富町議会 議長	アラ ヒロフミ 新 博文	
	竹富町公民館連合会 会長	タカダ ケンリョウ 高田 見 諒	
	竹富町青年団協議会 会長	オオハマ カズマサ 大浜 一将	
町	竹富町 副町長	ウエサト イタル 上里 至	
女性	竹富町婦人連合会 会長	ヤマシタ カ ヨ コ 山下 賀代子	第2回から 参画
	竹富町保育士会 代表	インガキ トモコ 石垣 智子	第2回から 参画

■竹富町人口ビジョン及び総合戦略策定までの取り組み

日 時	内 容
平成27年 5 月 25 日	策定支援業務委託を締結（N T C コンサルタンツ株式会社）
6 月 30 日	竹富町総合戦略策定検討委員会（第 1 回）開催〔課長級〕
7 月 17 日	竹富町総合戦略策定推進委員会（第 1 回）開催〔有識者〕
7 月 21 日	全世帯アンケート発送
8 月 20 日	中学 3 年生向けアンケート発送
10 月 8 日	住民説明会 船浮、西部地区
10 月 9 日	住民説明会 鳩間、上原地区
10 月 13 日	住民説明会 小浜地区
10 月 14 日	住民説明会 竹富地区
10 月 16 日	竹富町総合戦略策定検討委員会（第 2 回）開催〔課長級〕
10 月 19 日	住民説明会 黒島地区
10 月 20 日	住民説明会 東部地区
10 月 29 日	住民説明会 波照間地区
11 月 6 日	竹富町総合戦略策定推進委員会（第 2 回）開催〔有識者〕
平成28年 1 月 18 日	竹富町総合戦略策定検討委員会（第 3 回）開催〔課長級〕
2 月 19 日	竹富町総合戦略策定推進委員会（第 3 回）開催〔有識者〕
2 月 24 日	竹富町総合戦略策定推進委員長より成案提出
3 月 3 日	竹富町議会議員説明会 開催
3 月 4 日	平成28年第 1 回（3 月）竹富町議会定例会 議案提出
3 月 18 日	平成28年第 1 回（3 月）竹富町議会定例会 原案可決

■成案提出

平成28年2月24日

竹富町総合戦略推進本部長
竹富町長 川満 栄長 殿

竹富町総合戦略策定推進委員会
委員長 大浜 一郎

竹富町人口ビジョンおよび竹富町総合戦略の策定について

平成27年度、当委員会は3回にわたる議論を行い、基準年次を平成27(2015)年とする、50年間の指針である「竹富町人口ビジョン」と、5年間の諸施策計画である「竹富町総合戦略」の成案を別添えのとおり取りまとめました。

記

1. 意見

この計画は「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、竹富町の長期的人口推計と、それを踏まえた短期的目標値及び諸施策を提案するものです。

策定に際しては、各界有識者及び住民代表の意見を聴取するとともに、各地区の住民説明会及び全世帯アンケートを実施し、広く意見を募りました。

消滅自治体と報道されている竹富町ですが、実際に推計等を行ったところ、今以上に発展する可能性が見出されました。その実現に向けて、様々な施策と数値目標を設定しておりますので、当計画の決定に際しては、本成案を反映するよう提言いたします。

以上

■議案の可決



議案第22号

竹富町人口ビジョン及び総合戦略の策定について

竹富町人口ビジョン及び総合戦略について、別添のとおり策定したいので、地方自治法第96条第2項の規定に基づく議会の議決すべき事件に関する条例（平成23年竹富町条例第16号）第2条第3号に基づき、議会の議決を求めます。

平成28年3月4日提出

竹富町長 川満 栄長



提案理由

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、竹富町の長期的人口推計である「竹富町人口ビジョン」と、それを踏まえた短期的目標値及び諸施策である「竹富町総合戦略」を策定するため、地方自治法第96条第2項に基づく議会の議決すべき事件に関する条例第2条第3号の規定により、議会の議決を必要とするものであります。

これが、この議案を提出する理由であります。

平成28年3月18日 **可 決**

竹富町議会議長 新 博文



この写は、議決書の原本と相違ないことを証明する。

平成28年3月18日

竹富町議会議長 新 博文



竹富町人口ビジョン

発行年月／平成28年 3 月

発行／竹富町役場 企画財政課

〒907-8503 沖縄県石垣市美崎町11番地 1

電話／0980-82-6191(代表)

編集／N T C コンサルタンツ株式会社